

決算に係る主要な  
施策の成果説明書

## 目 次

### ○ 決算に係る主要な施策の成果説明書

一 般 会 計	
議 会 費	1
総 務 費	2
民 生 費	20
衛 生 費	44
労 働 費	55
農 林 水 産 業 費	57
商 工 費	68
観 光 費	74
土 木 費	81
消 防 費	96
教 育 費	102
災 害 復 旧 費	127
公 債 費	129
国民健康保険特別会計	130
後期高齢者医療特別会計	133
介護保険特別会計	134
観光交通対策特別会計	139
都市計画税の充当状況	140
費目別不納欠損の状況	141
地方消費税交付金（社会保障財源化分）充当事業	143
入湯税の使途状況	144

# 主 要 な 施 策 の 成 果

## 【一般会計】

(款) 1. 議会費 (項) 1. 議会費 (目) 1. 議会費

(単位 千円)

予 算 現 額 356,704 千円  
決 算 額 350,271 千円

決 算 額 の 財 源 内 訳				
国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
				350,271

### 議 会 事 務 局

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決算書
1. 政務活動費	5,676	市議会各会派の市政に関する調査研究を推進し、議員活動の充実を図るため、月額30,000円に会派構成議員数を乗じた額を会派に対して交付した。 なお、必要経費を支出した後、残余がある会派からは、当該残余額の返還を受けた。	頁 91
2. 議会広報経費	8,875	○「いせ市議会だより」発行 市議会活動を市民に広報するため、「いせ市議会だより」及び「伊勢市議会アンケート調査結果報告書」を発行、各戸配布等を行った。 年間発行 5回 ○市議会放映 市議会活動を市民に広報するため、市議会本会議と予算・決算特別委員会をケーブルテレビで録画放送した。 会議があった日の翌日午後2時と午後7時からの2回放送及び定例会終了日の翌々日午後8時から再放送 本会議放映 20日分 予算・決算特別委員会放映 9日分	91

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 1. 一般管理費

(単位 千円)

予算現額 1,951,982 千円  
 決算額 1,909,988 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,133	4,397		36,042	1,863,416

情報調査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 行財政改革推進事業	83	平成26年度に策定した行財政改革指針に基づく取組項目(取組期間：平成29年度までの4年間)の進行管理を行った。 平成27年度の取組結果を行政改革推進委員会及び市議会(各常任委員協議会)に報告し、ホームページを通じ市民に公表した。	93

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 4. 人材育成推進費

(単位 千円)

予算現額 9,266 千円  
 決算額 7,982 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			84	7,898

職員課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 職員研修事業	7,982	伊勢市職員としての意識の向上及び必要な知識の習得を図るため、一般研修を行った。また、職員の職務遂行能力を高めるために、専門研修等に派遣した。 (1) 実施実績 ①一般研修(人材育成カレッジ除く) 研修数22回 受講者数 1,548名 ②一般研修(人材育成カレッジ) 研修回数11回 受講者数 688名 ③派遣研修 研修数79回 受講者数 172名 (2) 研修評価(受講者自身による評価) ①業務向上度 研修全体 83.4% 一般研修 82.8% 派遣研修 98.3% ②意識向上度 研修全体 61.6% 一般研修 58.9% 派遣研修 94.2%	95

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 5. 広報広聴費

(単位 千円)

予算現額 56,548 千円  
 決算額 54,915 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,911	52,004

広報広聴課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 広報いせ発行事業	31,656	「広報いせ」を毎月1日と15日に発行し、市政方針や事業計画・各種制度の概要、行事予定、市民活動情報などを広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。	95
2. CATV広報いせ放送事業	16,659	行政情報番組「お知らせ番組(毎週更新)と特集番組(毎月更新)」を制作し放送した。特集番組は、YouTubeへの掲載も行った。	95
3. インターネット情報発信事業	4,051	各所属からの情報をいち早く掲載するとともに、モバイル端末での利便性向上、ウェブアクセシビリティに準拠したホームページ環境の整備に努めた。	95

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 7. 電算事務管理費

(単位 千円)

予算現額 360,316 千円  
 決算額 314,356 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
29,005			75,628	209,723

総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 住民情報システム管理経費	145,091	住民基本台帳、税及び福祉サービス等の基幹システムである総合住民情報システムの保守管理等を行い、システムの安定稼働を図った。 また、市税等に関する各種帳票の印刷業務並びに総合住民情報システムの稼働において必要となる各種資料・情報を作成するためのイメージデータの読取業務やデータ穿孔業務等について、外部委託を行い、業務を適正に執行した。 さらに、社会保障・税番号(マイナンバー)制度に対応するため、団体内連携や他機関との情報連携について確認を行う総合テスト、総合運用テスト等を行った。	95
2. 行政情報システム管理経費	51,493	財務会計・文書管理・人事給与・庶務事務・グループウェア等の行政情報システム(内部情報系)、インターネットシステム及びネットワークシステムの保守管理等を行い、各システムの安定稼働を図った。	95

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. ITセキュリティ 対策事業	12,980	パソコン運用管理システム、サーバ室入室認証装置の機器更新や、ウイルス対策ソフトの更新等を行い、市民の大切な情報資産の安全管理と情報セキュリティの維持、向上を推進した。	95
4. ITセキュリティ 強化対策事業	99,526	「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化」に対応するために、インターネットのネットワーク環境の分離や、それに伴う仮想デスクトップ基盤の構築を行うとともに、インターネット利用のためのクライアントパソコン等の整備を行った。 また、マイナンバーを取り扱う住民情報システムにおいて、二要素認証の仕組みの導入を行った。	95

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 8. 企画費

(単位 千円)

予算現額 239,300 千円  
決算額 157,452 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
33,000	20,103		57,146	47,203

情報調査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>公共施設マネジメント事業</u>	1,603	<p>公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うため、庁内に公共施設等マネジメント推進会議を設置した。また、知識経験を有する者等による附属機関として施設類型別計画検討委員会を設置した。</p> <p>公共施設等総合管理計画の実施計画となる施設類型別計画の策定に向け、全庁的な協議・調整を行うとともに、検討委員会の意見を聞きながら、市の考え方を一旦まとめるものとして(素案)の策定作業を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検討委員会開催経費 183,720円</li> <li>・先進地視察、職員研修講師旅費 82,040円</li> <li>・公共施設等総合管理計画印刷製本費 388,800円</li> <li>・市民アンケート業務委託料等 948,921円</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】 公共施設マネジメント事業 2,555,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検討委員会、推進会議、各作業部会の設置及び開催</li> <li>・先進地視察、職員研修の実施</li> <li>・公共施設等総合管理計画の印刷製本</li> <li>・公共施設に関する市民アンケートの実施</li> </ul> <p>【過去2カ年度の実績】 平成27年度 202,920円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設等総合管理計画検討委員会の開催等</li> </ul> <p>平成26年度 116,120円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設等総合管理計画検討委員会の開催等</li> </ul> <p>【事業を取りまく状況等】 施設類型別計画の策定にあたり、議会との協議・調整のほか、まちづくり協議会や総連合自治会、地域審議会と意見交換を行い、順に調整しながら同計画を策定していく。</p>	97

企 画 調 整 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 総合計画推進事業	198	<p>本市のまちづくりの基本理念を明らかにするとともに、様々なまちの課題の解決に向けて、市としてどう取り組んでいくかという方針を示すことを目的に平成26年に策定した第2次伊勢市総合計画の進行管理を総合計画審議会における審議を経て実施した。</p> <p>○伊勢市総合計画審議会を3回開催</p>	97
2. 定住自立圏構想推進事業	152	<p>定住自立圏構想推進要綱に基づき、本市を中心市として、生活圏や経済圏を共にする鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町の3市5町で形成する伊勢志摩定住自立圏について、圏域の関係者17名で構成される懇談会における協議等を経て、圏域が目指す将来像及びその実現のために必要な具体的取組等を明らかにする「伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン」の変更を行った。</p> <p>また、取組内容の拡充を図るため、圏域市町の首長を構成員とする伊勢志摩定住自立圏推進協議会における協議等を経て、定住自立圏形成協定の変更を行った。</p> <p>○平成28年6月 伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンを変更 ○平成29年3月 2市5町と協定変更 ○伊勢志摩定住自立圏推進協議会（総会）を開催 ○伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会を2回開催</p>	97
3. <u>シティプロモーション推進事業</u>	15,035	<p>本市が市民及び国内外の人々から選ばれる自治体となるよう、平成28年2月に策定した「伊勢市シティプロモーション推進計画」に従い、本市のシティプロモーションを考えるワークショップの開催、伊勢をPRする国際放送番組の制作と放映、職員向け研修を行った。</p> <p>○ワークショップを開催（全3回） ○国際放送番組「Pride of Ise」を世界約150ヶ国に向けて放映（12月） ○職員向け研修「自治体シティプロモーションの理論と実践」（講師：東海大学文学部広報メディア学科教授 河井孝仁氏） ○サミット記念ベンチの製作(160脚)</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 13,922千円 ・ワークショップ及び職員研修開催に係る経費 ・国際放送番組の制作及び放送に係る委託経費 ・移住PRパンフレットの印刷製本に係る経費</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成26年度 実績なし（平成27年度新規事業のため） 平成27年度 8,368,892円 ・伊勢市シティプロモーション推進計画の策定等</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 シティプロモーションの意義を職員へ浸透させるとともに、市民の方に理解いただいたうえ、計画に基づいた効果的なプロモーション活動を実施する必要がある。</p>	97

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 伊勢志摩サミット 推進事業	30,611	<p>伊勢志摩サミットの公式行事や県民会議の行事の実施に向けた支援・協力を行ったほか、サミットに関連して来訪される方々を受け入れるための準備を行った。</p> <p>また、サミットの取材を予定している国内外のメディア等に、本市の魅力を伝え、自然や歴史、店舗、食、観光などの情報を取材してもらい、情報発信を促進することを目的に伊勢市情報発信センターを開設し、独自のプレスツアーや首都圏でのプレスイベント、そして首都圏に向けての積極的なプレスリリース他、本市を訪れる国内外のメディア等に対して情報発信を行った。</p> <p>また、伊勢志摩サミットの記憶を後世に引き継ぐとともに、本市の今後の取組に役立てるため、サミットの準備段階から開催までの経過や取組をまとめた、「伊勢志摩サミット報告書」を作成した。</p>	97
5. 地方版総合戦略推 進事業	123	<p>まち・ひと・しごと創生法に基づき、国及び県の総合戦略を勘案し、また「伊勢市人口ビジョン」が描く将来像へ向け、人口減少の克服、持続可能な地域づくりを実現するために策定された伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理を行った。進行管理については、産官学金労言の各分野の関係者で構成される伊勢市まち・ひと・しごと創生会議において、取組の進捗状況の確認及び市の現状について意見交換等を実施した。</p> <p>○伊勢市まち・ひと・しごと創生会議を2回開催</p>	97

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 出会い・結婚支援 事業	10,359	<p>○結婚を希望する人等の相談業務、出会いの場や情報の提供、結婚に向けたセミナー研修等を行う場として「いせ出会い支援センター」の運営を委託した。 委託先：株式会社デルタスタジオ 委託料：7,556,583円 利用件数：3,068件（訪問・電話・メール・チラシ） セミナー開催：9回（延べ48人） 出会いイベント開催：2回（延べ121人）</p> <p>○伊勢市オリジナルデザインの婚姻届及び出生届を専用サイトからダウンロードで提供することにより、結婚や出産のイメージアップを図った。 委託先：株式会社リクルートホールディングス 委託料：200,000円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 12,117,000円 ・出会い支援センター運営 9,617,000円 ・シンポジウム等の開催 1,000,000円 ・伊勢市版婚姻届・出生届の提供 1,500,000円</p> <p>【過去2カ年度の実績】 （センター運営 ※平成27年10月21日～） 利用件数：1,055件（訪問・電話・メール・チラシ） セミナー開催：4回（延べ21人） 出会いイベント開催：1回（60人）</p> <p>【事業を取りまく状況等】 結婚を希望する人等の相談業務、出会いの場や情報の提供、結婚に向けたセミナー研修等を行う場としてセンターを開設し、市民の好評を得ている。今後は、定住自立圏域内市町の企業に従業員の結婚の応援を働きかけ、安心して出産・子育てができる社会づくりを目指す。</p>	97

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢志摩サミット 推進事業	263	<p>当市提案によりG7伊勢志摩サミット配偶者プログラムでの伊勢音頭披露が採択されたことから、それに伴う各種調整を行った。 平成28年5月26日（木）にミキモト真珠島にて、平成27年度『「伊勢っ子」育て事業』参加児童23名と伊勢音頭保存会によりG7首脳配偶者に伊勢音頭を披露した。</p>	97
2. 地方創生加速化交 付金事業	14,964	<p>地域の資源を最大限に活用し、着地側から新たな観光事業を展開するために、伊勢まちづくり（株）を代表とした日本版DMO組織の構築支援を行った。 観光庁への日本版DMO候補法人登録申請のほか、伊勢まちづくり（株）と締結した協定に基づき体験型旅行商品の企画及び造成、販売促進、市場調査等を実施するための支援を行った。</p>	97

## 観光誘客課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢志摩サミット 推進事業	5,041	日本及び伊勢志摩が世界的に注目される伊勢志摩サミットの開催直前の時期を捉え、皇學館大学、神社本庁、神宮司庁、観光庁、J N T O、外務省等関係機関との調整を経て、4月18日にロンドン市内の在英国日本国大使館において、大使館関係者、現地の旅行関係者及びマスコミ関係者を対象とした伊勢の観光P Rイベントを実施した。	97
2. 地方創生加速化交付金事業	41,710	伊勢志摩サミット開催後の効果的かつ継続的な情報発信及び誘客強化策として、テレビ番組による伊勢の観光P R、若年層向け体験型コンテンツの造成による宿泊促進キャンペーン（「コト旅in伊勢」）を実施した。 「全国菓子大博覧会・三重」開催中における市内の渋滞緩和を図るため、近鉄主要駅に公共交通機関利用促進のポスター及びデジタルサイネージの掲出を実施した。	97

## 消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢志摩サミット 推進事業	20,066	伊勢志摩サミット開催にあたり、伊勢市及び国際メディアセンター等における火災等の未然防止と災害発生時の活動に万全を期すため、対応にあたった。 【警戒期間】 平成28年5月24日（火）～5月29日（日） 【警戒本部】 伊勢市消防本部に『伊勢地区警戒本部』を設置し、三重県広域防災拠点に『国際メディアセンター現地警戒本部』を設置した。 【体制】 伊勢市消防本部は、他市他県の消防隊救急隊等の応援を受け24時間体制で国際メディアセンターにおける警戒及び首脳等が伊勢神宮を訪問する際等の移動警戒を実施した。 【実績】 『国際メディアセンター現地警戒本部』を設置するため次のとおり事業を行った。 ○ メディアセンター現地警戒本部仮施設借上げ 18,360千円 ○ 伊勢志摩サミットにかかるバス借上げ 545千円 このほか、メディアセンター現地警戒本部仮施設の運営管理や警戒活動における維持を行った。	97

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 9. 男女共同参画推進費

(単位 千円)

予算現額 3,809 千円  
 決算額 3,651 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,651

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 男女共同参画推進都市事業	3,411	<p>市民団体「NPO男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託し市民への意識啓発を実施した。また、企業への啓発のため、事業所訪問と企業向けセミナーの開催、及び事業所等における男女共同参画の取り組みを促進するため、積極的に取り組んでいる事業所等を表彰した。</p> <p>○市民向けの取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映画祭、講演会、各種講座、街頭啓発など</li> <li>・広報いせへ啓発記事掲載</li> <li>・伊勢市男女共同参画都市宣言10周年記念イベント</li> </ul> <p>○企業向けの取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問17社</li> <li>・企業対象セミナー開催 1回 参加者11人</li> <li>・男女共同参画推進事業者等の表彰</li> </ul> <p>〈女性の活躍推進「きらり」賞〉                      有限会社 南勢建築設計</p> <p>〈仕事と生活の調和实践賞〉                      有限会社 くらべ 株式会社 赤福</p> <p>〈特別賞〉                      一般社団法人ELLY</p> <p>〈奨励賞〉                      いせ丸(合同会社伊勢路商店) 株式会社 リブネット</p>	97

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 16. 財産管理費

(単位 千円)

予算現額 291,991 千円  
 決算額 269,993 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		25,200	24,719	220,074

管財契約課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>本庁舎改修事業</u>	125,989	<p>築52年が経過した本庁舎本館の長寿命化及び市の防災拠点としての耐震性能の向上等を図るため、平成26年度に策定した庁舎改修基本計画に基づき、平成30年夏季の完工に向けた整備を進めた。</p> <p>【平成28年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本館等改修工事設計業務委託 26,578千円</li> <li>・引越業務委託 8,244千円</li> <li>・仮移転先事務所設置工事 53,751千円</li> <li>・仮移転先事務所電話設備移設工事 19,391千円</li> <li>・仮移転先事務所通信設備移設工事 627千円</li> <li>・仮移転先事務所維持管理経費等 17,398千円</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>繰越予算額 25,466千円                      当初予算額 117,745千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本館等改修工事設計業務委託</li> <li>・引越業務委託</li> <li>・仮移転先仮事務所設置工事</li> <li>・仮移転先仮事務所電話設備移設工事</li> <li>・仮移転先仮事務所通信設備移設工事</li> <li>・仮移転先仮事務所維持管理経費等</li> </ul> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成27年度 24,836千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本館等改修工事設計業務委託 10,100千円</li> <li>・仮移転先改修工事設計業務委託 5,026千円</li> <li>・仮移転先仮事務所設置工事 9,710千円</li> </ul> <p>※平成27年度新規事業のため平成26年度の実績なし</p> <p>※仮移転先：小俣総合支所、御薊総合支所、旧消防本部及び消防署、旧さくらぎ保育所、東庁舎</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>老朽化等現在の庁舎が抱える問題を解消し、市民等が安心及び満足できるような環境づくりが早期に求められている。</p>	101

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 18. 市民交流推進費

(単位 千円)

予算現額 106,389 千円  
 決算額 81,487 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			125	81,362

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市民活動促進事業	27,477	平成16年4月に「いせ市民活動センター」を開設し、同年7月から指定管理者制度を導入して運営している。また、平成29年度から第5期(3ヵ年)指定管理者の更新に向けて選定を行い、特定非営利活動法人いせコンビニネットが管理運営を行うこととなった。 平成28年度指定管理料 11,924,324円	103
2. 活性化活動事業補助金	731	市内で活動する地域グループや活動団体が、元気で活気溢れる地域づくりに貢献し、市民自治の担い手として継続的に活動できるよう、その経費の一部を補助した。 〔交付団体数〕7団体 〔交付金額〕680,000円	103
3. 伊勢のまつり開催事業	8,125	市民が「見て」「参加して」楽しめる行事を通じて、市民の一体感の醸成を図るとともに市民文化の向上に寄与し、ふるさとづくりの推進を図ることを目的に開催した。 〔開催日〕10月8日(土)、9日(日) 〔会場〕高柳商店街周辺～県道鳥羽松阪線～伊勢市駅周辺 〔参加団体数〕延べ226団体(5,161人) 〔来場者数〕約14万人	103

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 19. 地域自治推進費

(単位 千円)

予算現額 267,695 千円  
 決算額 261,362 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			11,900	249,462

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>地域自治推進事業</u>	177,171	<p>平成27年度から本格稼働した「ふるさと未来づくり」制度に基づき設置された「まちづくり協議会」が実施する事務事業の財源として、ふるさと未来づくり資金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務運営費・活動事業費(基本額) 82,401,014円 (23団体)</li> <li>・一括交付金化事業 93,223,750円 (15団体)</li> <li>計 175,624,764円</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】                      当初予算額 184,803,000円                      ・まちづくり講演会                      ・まちづくり人材養成講座                      ・市民活動補償制度                      ・ふるさと未来づくり資金 など</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】                      平成27年度                      ・事務運営費・活動事業費(基本額) 79,057,534円 (23団体)                      ・一括交付金化事業 68,975,200円 (11団体)                      計 148,032,734円                      事業全体 150,814,405円                      平成26年度 事務運営費・活動事業費(基本額) 76,075,245円 (23団体)                      事業全体 84,152,794円</p> <p>【事業を取りまく状況等】                      ・条例が施行され市の制度としての位置づけも新たに本格稼働したが、財政支援については、緩やかな移行期間として選択性を設けており、調整が必要な地域がある。</p>	103
2. 区長謝礼事業	7,360	<p>市内175自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。</p>	103

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 自治会集会所建設 事業補助金	9,810	<p>地域のコミュニティ活動の場を確保することや自治会の負担軽減、集会所の長寿命化のため、自治会等が活動拠点として所有し、維持管理する集会所の建設、改築、増築、修繕、バリアフリー改修及び購入を行った自治会に補助金を交付した。</p> <p>交付金額 9,810,000円(7自治会)</p> <p>&lt;内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入 1,333,000円(1自治会)</li> <li>・改築 4,955,000円(1自治会)</li> <li>・修繕 1,710,000円(2自治会)</li> <li>・バリアフリー改修 1,812,000円(3自治会)</li> </ul>	103
4. コミュニティ助成 事業補助金	11,900	<p>(一財)自治総合センターからの助成金を財源とし、コミュニティ組織である自治会等に補助金を交付した。</p> <p>〔交付団体数〕自治会…4団体 まちづくり協議会…1団体</p>	103
5. 自治会コミュニ ティ放送整備補助 事業	1,418	<p>地域住民のコミュニティ活動の推進を図るため、地域活動の活性化及び地域内の情報伝達手段として自治会コミュニティ放送設備等を整備する自治会に対して、補助金を交付した。</p> <p>交付金額 1,418,000円(15自治会)</p> <p>&lt;内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拡声放送 828,000円(2自治会)</li> <li>・戸別受信機 514,000円(12自治会)</li> <li>・メール配信 76,000円(1自治会)</li> </ul>	103
6. 自治会活動補助事 業	52,272	<p>○元気なまちづくり協働事業補助金 市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。〔交付自治会数〕56自治会</p> <p>○振興助成金 地域における自治活動を支援・推進するため、助成金を交付した。〔交付自治会数〕68自治会</p> <p>○広報配布等事業 市の広報紙等の配布事業等を行う自治会に対して交付金を交付した。〔交付自治会数〕68自治会</p>	105
7. 総連合自治会運営 補助金	1,430	<p>市内165自治会が加盟する伊勢市総連合自治会の事業活動を支援するため補助金を交付した。</p>	105

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 20. 国際交流事業費

(単位 千円)

予算現額 4,409 千円  
 決算額 4,020 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	796		9	3,215

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 国際交流推進事業	1,959	伊勢市国際交流協会を通じ、国際交流の趣旨普及、情報提供及びボランティア活動の推進に努めた。また、国際感覚の醸成を目的とした国際交流フェスティバルを開催した。	105
2. 多文化共生事業	2,061	外国人住民の生活を支援するための事業として、「外国人をサポートするための避難所運営訓練」や市内外国人世帯への情報提供等を行った。	105

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 22. 防犯活動推進費

(単位 千円)

予算現額 59,628 千円  
 決算額 47,881 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				47,881

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 防犯啓発事業	4,147	<p>「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するため、地域安全活動を推進した。</p> <p>○地域安全講習会の開催 各自治会・老人会等を対象に地域安全講習会を開催し、防犯意識の高揚と自主的な防犯活動の啓発に努めた。 ・平成28年度の講演会開催回数 31回 1,087名参加</p> <p>○街頭啓発活動の実施 振り込め詐欺及び街頭犯罪被害防止のため、伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員と街頭啓発を実施した。 ・平成28年度の街頭啓発活動実施回数 55回</p> <p>○地域安全展の開催 伊勢度会地区生活安全協会と共催で、伊勢まつり会場内に「地域安全展」のコーナーを設け、幼児から高齢者を対象に防犯・暴力団排除意識の高揚に努めた。 開催日 平成28年10月9日(日) 内容 ・防犯啓発チラシ及び啓発物品の配布 ・似顔絵コーナー ・防犯機器等の展示</p>	105

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 防犯灯設置等補助金	33,600	<p>夜間の犯罪を防止し、安全な市民生活の確保を図るため、自治会が実施する防犯灯の整備に対して補助金及び助成金を交付した。平成24年度から概ね10年計画で、経済面・環境面・効率面で優れたLED防犯灯への取替を推進していく。</p> <p>合計 33,600,280円 (15,880灯)  内訳 整備 2,731,970円 (114灯)  修繕 1,313,520円 (1,140灯)  LED取替 16,422,090円 (1,666灯)  電気 13,132,700円 (12,960灯)</p>	105

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 23. 交通対策費

(単位 千円)

予算現額 144,841 千円  
決算額 137,661 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,852			39	134,770

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 交通安全啓発事業	4,366	伊勢市交通安全条例の趣旨に沿って、市内における交通事故の防止を図るため、伊勢市交通安全都市推進協議会及び伊勢・度会地区交通安全対策協議会に負担金を支出し、交通安全の啓発を行った。	107
2. 駐輪場管理事業	9,540	<p>鉄道駅周辺市営駐輪場の巡回・整理や、平成26年7月1日に施行された伊勢市自転車等の放置防止及び適正な処理に関する条例の規定により、自転車等放置禁止区域（伊勢市駅、宇治山田駅周辺）、鉄道駅周辺市営駐輪場、その他公共の場所の放置自転車の撤去を行い、美観の確保、駐輪場利用者の利便性の確保並びに道路の安全通行の確保に努めた。</p> <p>放置自転車撤去  実施場所 自転車等放置禁止区域、駅周辺駐輪場、  その他公共の場所  撤去台数 589台</p>	107
3. 交通安全活動団体 推進事業	2,135	市内小学校・幼稚園・保育所単位で構成される交通安全母の会等交通安全活動推進団体に対し、交通安全活動推進事業交付金を交付し、交通事故のない地域づくりを推進した。	107

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. コミュニティバス 運行事業	67,264	<p>コミュニティバスの運行により、現況の鉄道・バス路線網を最大限活用することで、市全体における公共交通体系を構築し、市民生活の利便向上を図った。</p> <p>また、地域住民との検討会や、学識者・運行事業者との伊勢地域公共交通会議により、多様化するニーズや、限られた財源の中で、より効果的・効率的な公共交通サービスを提供するため、運行の在り方を検討した。</p> <p>コミュニティバス運行事業 67,264,071円  ・コミュニティバス運行業務 61,035,011円  ・コミュニティバスその他の経費 212,976円  ・コミュニティバスデマンド運行業務 5,013,084円  ・伊勢地域公共交通会議負担金 1,003,000円  ○利用者数 76,792人  (バス:73,766人、デマンド:3,026人)</p>	107
5. 路線バス運行維持 事業	5,881	<p>廃止路線代替バスの運行を維持し、地域住民の交通手段の確保を行った。</p> <p>廃止路線代替バス(玉城線) 5,880,600円</p>	107
6. 自主運行バス運行 事業	10,348	<p>沼木地区では、高齢化が進み、車など自ら移動手段を持たない高齢者が多く、買い物、通院などの市民生活を行う上で、既存の公共交通では支障をきたしていたため、地域住民の主体的な取り組みにより、交通弱者(高齢者、小中学生等)の移動手段を確保した。</p> <p>自主運行バス運行事業 10,348,220円  ・自主運行バス運行業務 8,083,895円  ・その他の経費 2,264,325円  ○利用者数 6,061人</p>	107
7. 伊勢鉄道安全対策 支援事業	38,127	<p>伊勢鉄道(河原田駅～津駅22.3km)は、旧国鉄から無償で供与された施設整備の老朽化が進んでいることから、鉄道事業の根幹である安全な運行を確保するために平成26年に中期安全設備整備計画を策定した。</p> <p>この計画による設備投資の費用は、国の補助事業を活用するが、公共交通における安全運行が強く要請される中、施設整備の老朽化に対処し、鉄道事業継続のため財政支援を行った。</p> <p>三重県地域交通体系整備基金市町負担金 38,127,000円</p>	107

(款) 2. 総務費 (項) 2. 徴税費 (目) 1. 税務総務費

(単位 千円)

予算現額 308,103 千円  
 決算額 302,203 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	203,997		13,780	84,426

収納推進課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 口座振替事務費	1,874	納税者の利便性向上のため、市県民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税について、口座振替納付を行っている。 ・口座振替での収納税額 4,950,871,682円 ・支出経費 金融機関口座振替取扱手数料 1,627,984円 ゆうちょ銀行郵便振替取扱手数料 65,010円 ゆうちょ銀行自動払込取扱手数料 181,360円	107

(款) 2. 総務費 (項) 2. 徴税費 (目) 2. 賦課徴収費

(単位 千円)

予算現額 204,226 千円  
 決算額 196,932 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			123	196,809

課税課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 固定資産評価システム経費	88,782	適正・公平な課税を行うため、以下の主要な業務を行い、その経費を支出した。 ○固定資産土地評価及び地番図・家屋図修正業務委託 41,040千円 土地分合筆、家屋新增築及び滅失等に伴う地番図・家屋図データの更新と固定資産評価システムへの取り込みと平成30年度評価替え作業のため ○土地鑑定評価業務委託 31,590千円 平成30年度評価替えに向け、平成29年1月1日を価格基準日とする市内750地点の標準宅地について、土地鑑定評価を実施 ○土地鑑定評価(時点修正)業務委託 10,044千円 平成27年度評価替え用に決定した鑑定評価額は、平成26年1月1日の価格基準日における評価額のため、地価下落等に伴う変動を反映させ、現状に則した価格とするための時点修正(平成28年7月1日時点) ○家屋評価計算業務委託 5,566千円 家屋評価計算及び家屋平面図等、計算の根拠となる資料のイメージデータ作成	109

収 納 推 進 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. コンビニ収納経費	5,181	<p>納税者の利便性向上のため、市民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税について、コンビニエンスストアでの収納を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニエンスストアでの収納税額 1,088,422,653円</li> <li>・支出経費 <ul style="list-style-type: none"> <li>収納代行手数料 5,130,272円</li> <li>電話回線使用料 50,313円</li> </ul> </li> </ul>	109
2. 徴収管理一般経費	48,967	<p>高額滞納者等、整理困難事案を三重地方税管理回収機構へ移管し、収納率の向上を図った。</p> <p>(徴収第一課分：高額案件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移管実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>移管件数 54件</li> <li>移管総額 68,651,250円 (H28年度移管事案分)</li> </ul> </li> <li>・収納額実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳 63,027,898円</li> <li>28,704,394円 (H27年度移管事案分)</li> <li>34,323,504円 (H28年度移管事案分)</li> </ul> </li> <li>・負担金 <ul style="list-style-type: none"> <li>均等割額 100,000円</li> <li>処理件数割額 7,560,000円</li> <li>徴収実績割額 14,545,000円</li> <li>計 22,205,000円</li> </ul> </li> </ul> <p>(徴収第二課分：少額案件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移管実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>移管件数 270件</li> <li>移管総額 47,973,375円 (H28年度移管事案分)</li> </ul> </li> <li>・収納額実績 52,428,225円</li> </ul>	109
3. <u>滞納管理システム</u> <u>導入経費</u>	34,863	<p>効率的・効果的な滞納整理を行うことで、より一層の税収入を確保するため、滞納管理システムを導入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム導入委託料 26,416,800円</li> <li>・システム連携委託料 8,446,680円</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 35,000,000円 滞納管理システムの導入及び導入に伴う基幹システムからのデータ抽出(連携)の経費。</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成28年度新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納額が多くなればなるほど債権回収は困難となるため、早期の対応が重要となっている。</li> <li>・職員1人あたりに担当する滞納者数が多いため、効率的・効果的な滞納整理の必要がある。</li> <li>・滞納者の多様性に富む情報を一元管理し、現況把握を容易に行い、計画的に処理する必要がある。</li> </ul>	109

(款) 2. 総務費 (項) 3. 戸籍住民基本台帳費 (目) 1. 戸籍住民基本台帳費

(単位 千円)

予算現額 248,163 千円  
 決算額 221,995 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
20,491	135		42,044	159,325

戸籍住民課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 戸籍住民関係窓口業務等委託事業	57,309	戸籍住民課の窓口業務等を民間事業者へ委託した。 ・ 委託内容 戸籍届出・住民異動届の受付・入力業務 証明書交付請求の受付・発行・交付等 ・ 履行期間 平成27年1月1日～平成29年12月31日 (3年間)	109

(款) 2. 総務費 (項) 6. 監査委員費 (目) 1. 監査委員費

(単位 千円)

予算現額 32,363 千円  
 決算額 32,040 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				32,040

監査委員事務局

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 工事等技術調査委託経費	98	公共工事の品質の確保・向上に役立てるため、工事監査を2件実施した。監査の執行にあたっては専門知識を有する外部に委託したことにより、監査手法の向上を図った。 設計金額1億円以上の工事1件、300万円以上1億円未満の工事1件  監査実施工事名 宮川・沼木統合中学校(仮称)建設工事(校舎建築工事) 農道佐八中之垣外線ほか配水本管布設替工事	113

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 1. 社会福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 2,435,689 千円  
 決算額 1,975,440 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
667,063	405,203		22,028	881,146

地域包括ケア推進課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>健幸ポイント事業</u>	27,997	<p>運動・スポーツ無関心層を含む40歳以上の市民に対し、インセンティブを付与することで、ウォーキングをはじめとする運動や健康づくりを促し、将来的な健康寿命の延伸(介護予防)及び、超高齢化や人口減少社会にも対応可能な地域づくりを図った。</p> <p>事業参加者 1,000人(応募者1,446人より抽選)                      業務委託先 株式会社つくばウエルネスリサーチ                      業務委託料 16,470,000円                      共通プラットフォーム利用委託 5,886,000円                      事業推進支援業務委託 10,584,000円                      ポイント還元報償費 2,331,920円</p> <p>【当初予算における内容、計画】                      当初予算額 35,664,000円                      ・事業参加者 1,000人                      ・ICTの活用                      ・魅力あるポイント交換商品の提供</p> <p>【過去2カ年度の実績】                      平成28年度からの新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】                      今後の展望                      ・参加者枠の拡大                      ・事業取組み終了後の支援策の構築                      事業執行に伴う課題                      ・今年度は地方スポーツ振興費国補助金を受けて事業を施行した。今後は継続的な事業運用のための財源確保が求められる。</p>	117

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生活困窮者自立支援事業	20,088	<p>生活困窮者が抱える複合的な生活課題を包括的支援により解決することを目的として、必須事業と任意事業を実施した。</p> <p>1 自立相談支援事業 (必須事業)                      相談者数 実 218人 (延べ322件)                      うち自立相談支援プラン作成 実 19人                      生活保護申請 実 104人                      他法他施策や情報提供のみ 実 95人</p> <p>2 住居確保給付金の給付事業 (必須事業)                      実7世帯支給 延べ33か月分を給付                      給付金額合計 835,200円                      就職決定者数 6人</p> <p>3 就労準備支援事業 (任意事業)                      支援者数 26人                      相談回数 延299回                      進路決定者数 7人</p>	117

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>生活困窮家庭学習支援等事業</u>	5,065	<p>生活に困窮する家庭に対し、的確な相談や学習支援を提供することにより、困窮状態からの脱却を図り、かつ将来の貧困の連鎖の防止に努めた。</p> <p>1 生活困窮家庭学習支援事業（直営）            学習支援員1名を配置し、小・中・高校生相当の子どもがいる生活困窮世帯を家庭訪問し、相談及び学習環境と習慣の確立、進路に関する情報の提供等の支援を行った。            対象者 小学生から高校生相当 実67人            相談回数 実37人 延べ146回            継続支援 実32人</p> <p>2 生活困窮家庭の子ども学習サポート事業（委託）            被保護世帯及び準要保護世帯を対象に、教室形式による学習支援を行うことにより、子どもの基礎学力を補い、貧困の連鎖の防止に努めた。            開催回数 合計165回            （小学生81回、中学生84回）            受講者数 合計 実73人 延べ613回            （小学生実27人 延べ263回、            中学生実46人 延べ350回）</p> <p>【当初予算における内容、計画】            当初予算額 11,412,000円            ・生活困窮家庭学習支援事業            ・生活困窮家庭の子ども学習サポート事業</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】            平成26年度 生活困窮家庭学習支援モデル事業            対象者 中学生と高校生 54人            訪問件数 41人 延べ66回            継続支援 20人            平成27年度 生活困窮家庭学習支援事業            対象者 小学生から高校生相当            訪問件数 37人 延べ146回            継続支援 32人</p> <p>【事業をとりまく状況等】            学習支援員1名の体制に加えて、学習指導部分を委託することにより、より多くの対象者に対し学習支援を実施した。</p>	117

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 福祉ボランティア 育成事業	15,957	<p>ボランティア活動を活性化し、地域福祉の理念「支え合い・助け合いによるまちづくり」を進めるため、伊勢市ボランティアセンターの活動を支援した。</p> <p>平成27年度からは、ボランティアコーディネーターを3名に増員し、情報の発信、養成講座の開催、災害ボランティアネットワークの推進、ボランティア登録・斡旋、ボランティア養成、活動団体への助成などを実施した。</p> <p>【当初予算における内容・計画】 当初予算額 18,158,000円 決算額 15,956,665円</p> <p>【過去2カ年の実績】 平成27年度 決算額 14,392,733円 平成26年度 決算額 14,482,224円 ※うちリニューアルに伴う費用 748,224円</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 少子化、高齢化、人口流出等が懸念される中、地域包括ケアシステムの下、「自助・共助」による地域づくりが進められている。今後、支え合い、助け合いによるまちづくりを進め、地域力を高めていくうえで、地域で活動するボランティア、地域の担い手づくりと地域内の連携が課題となっている。</p>	115
2. 民生委員児童委員 活動経費	22,163	<p>平成28年12月1日付け民生委員・児童委員一斉改選に伴う改選事務を行い、同日、委嘱状伝達式を開催した。</p> <p>民生委員・児童委員、主任児童委員が各地域で実施する日常の見守り活動、相談・助言活動、資質向上のための研修活動を支援した。</p> <p>委員数 289名 (平成29年3月31日現在)</p>	115
3. 福祉健康センター 管理事業	40,090	<p>指定管理者による管理運営を実施し、利用者の利便性向上に努めた。また、昭和63年建設以降、相当年数を経過しているため、設備等のメンテナンス、老朽化による施設の不具合を解消した。</p> <p>【主な施設改修の状況】 ・ひまわり作業所LED照明更新工事 1,188,000円 ・歯科休日応急診療所外壁防水改修工事 888,840円</p>	115
4. ハートプラザみそ の等管理事業	48,345	<p>指定管理者による管理運営を実施し、利用者の利便性向上に努めた。また、平成4年建設以降、相当年数を経過しているため、設備等のメンテナンス、老朽化による施設の不具合を解消した。</p> <p>【主な施設改修の状況】 ・多目的ホール棟空調機ほか改修工事 6,771,600円 ・多目的ホールステージほか改修工事 3,456,000円</p>	115
5. 社会福祉協議会運 営事業負担金	85,000	<p>市民の多様な福祉ニーズに対応するとともに、小地域における福祉活動を推進するため、伊勢市社会福祉協議会に負担金を支出し、地域ぐるみで支え合い・助け合いできるしくみづくりに努めた。</p> <p>また、平成29年度からの「いせライフセーフティネット事業」の実施に向け、制度のはざまに苦しむ「声なき声」に耳を傾けそっと寄り添う「コミュニティ・ソーシャル・ワーカー」の配置に向けた準備を行った。</p>	115

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 権利擁護事業負担金	579	<p>日常生活において判断能力に不安のある認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者の方に対する日常的な金銭管理、各種サービスの利用手続きの代行、金銭管理等のサービス（日常生活自立支援事業）の実施に際し、市民税非課税者がサービスを利用する場合の利用料の負担を軽減した。</p> <p>【利用実績】（利用人数） 延べ152人・1,159件 579,000円</p> <p>【過去3年間の実績】 平成27年度 延べ120人・1,106件 553,000円 平成26年度 延べ98人・842件 421,000円 平成25年度 延べ80人・845件 422,500円</p>	115
7. 地域福祉計画推進事業	123	<p>「伊勢市地域福祉計画・地域福祉活動計画（平成26年度から平成30年度）」に基づき、皇學館大学・市・社会福祉協議会が連携し、自治会等を対象に地域懇談会を実施し、地域と情報を共有するとともに、地域課題の解決に向けた具体的な方策の検討を行った。また、進行管理のため、「伊勢市地域福祉計画推進会議」を開催した。</p>	117
8. 高齢者用年金生活者等支援臨時福祉給付金事業	391,920	<p>社会保障・税一体改革の一環として、平成29年度から実施される年金生活者支援給付金の前倒し的な位置付けとなる、高齢者用の年金生活者等支援臨時福祉給付金を給付した。</p> <p>給付金額 391,920,000円（30,000円×13,064人）</p> <p>【当初予算における内容・計画】 当初予算額 434,670,000円（30,000円×14,489人） 決算額 391,920,000円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・対象者には、過去の給付金と同様の周知啓発を行ったが、問い合わせ等も多く、申請率は94.1%と高かった。</p>	117

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. 障害・遺族基礎年金等受給者用年金生活者等支援臨時福祉給付金事業	88,614	<p>社会保障・税一体改革の一環として、平成29年度から実施される年金生活者支援給付金の前倒し的な位置付けとなる、障害・遺族基礎年金等受給者用の年金生活者等支援臨時福祉給付金と、消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響に鑑み、一体改革の枠組みの中で講じる社会保障の充実のための措置と併せ、低所得者に対する適切な配慮を行うための暫定的・臨時的な措置として、臨時福祉給付金を給付した。</p> <p>給付金額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年金生活者等支援臨時福祉給付金 23,520,000円 (30,000円×784人)</li> <li>・臨時福祉給付金 58,752,000円 (3,000円×19,584人)</li> </ul> <p>【当初予算における内容・計画】</p> <p>当初予算額 128,154,000円 (30,000円×1,732人) (3,000円×25,398人)</p> <p>決算額 88,614,000円 内訳 給付金額 82,272,000円 前年度補助金返還額 6,342,000円</p> <p>【過去の実績】</p> <p>平成26年度 262,010,000円 (基本額 10,000円×20,084人) (加算額 5,000円×12,234人)</p> <p>平成27年度 122,844,000円 (6,000円×20,474人)</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者には、過去の給付金と同様の周知啓発を行ったが、全体の申請率は78.4%に留まった。</li> <li>・臨時福祉給付金（経済対策分）として給付されることとなり、いかにして申請率を上げるかが課題となる。</li> </ul>	117

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 保健福祉会館管理事業	15,331	高齢者をはじめ住民の健康増進・教養の向上およびレクリエーション等の場として、小俣町内6カ所にある保健福祉会館の維持管理にあたった。	115

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 2. 障害者福祉費

(単位 千円)

予算現額 2,600,179 千円  
 決算額 2,537,801 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,189,154	573,220		324	775,103

高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 障害者地域生活支援事業	140,217	<p>障がいのある人が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう地域生活支援事業を実施した。</p> <p><b>【主な事業】</b></p> <p>1. 障がい種別や年齢に関わらない一次相談やアウトリーチによる相談を行う東地域及び西地域の2箇所の地域相談支援センターを、また、地域相談支援センターとしての機能に加え、伊勢市地域自立支援協議会の運営、権利擁護や相談支援専門員の人材育成など地域の中核的な役割を担う基幹相談支援センター機能を有する伊勢市障害者総合相談支援センター「フクシア」をそれぞれの社会福祉法人に運営を委託し、相談支援の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢市障害者総合相談支援センター「フクシア」 委託先 社会福祉法人 三重済美学院 委託金額 28,011,000円</li> <li>・伊勢市障害者西地域相談支援センター 委託先 社会福祉法人 四季の里 委託金額 10,150,000円</li> <li>・伊勢市障害者東地域相談支援センター 委託先 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会 委託金額 10,150,000円</li> </ul> <p>2. 日常生活用具給付事業 在宅の重度心身障がい者（児）等に対し、特殊マット、入浴補助用具等を給付することにより、日常生活の安定を図った。</p> <p>給付件数 2,701件 給付費 30,465,484円</p> <p><b>【当初予算における内容、計画】</b> 当初予算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者相談支援センター運営事業 48,311,000円</li> <li>・日常生活用具給付費 27,984,000円</li> </ul> <p><b>【過去2カ年度の実績】</b></p> <p>平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者相談支援センター運営事業 45,906,000円</li> <li>・日常生活用具給付事業 給付件数 2,480件 給付費 28,311,832円</li> </ul> <p>平成26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者相談支援センター運営事業 28,990,000円</li> <li>・日常生活用具給付事業 給付件数 2,435件 給付費 26,409,445円</li> </ul> <p><b>【事業を取りまく状況等】</b> 相談支援事業や日常生活用具給付事業など、障がいのある人が安心して地域で生活するためには必要な事業である。</p>	117

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>意思疎通支援等事業</u>	12,337	<p>(1) 手話通訳設置事業            庁内に手話通訳者を配置し、聴覚障がいのある人とその他の人の意思疎通を仲介することにより、コミュニケーション支援の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口対応件数 本庁145件、小俣総合支所48件</li> <li>・設置人数 本庁 常勤2名 小俣総合支所 非常勤1名</li> <li>・事業費 10,097,913円</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】            当初予算額 10,202,140円</p> <p>【過去2カ年度の実績】            平成26年度 6,630,428円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口対応件数 194件</li> <li>・設置人数 常勤2名</li> </ul> <p>平成27年度 5,225,754円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口対応件数 176件</li> <li>・設置人数 常勤1名、非常勤1名</li> </ul> <p>(2) 手話通訳者・要約筆記者派遣事業            聴覚障がい等のある人とその他の人の意思疎通を仲介するために手話通訳者・要約筆記者を派遣することにより、聴覚障がい等のある人の社会参加の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話通訳者派遣件数124件、登録通訳者数13名</li> <li>・要約筆記者派遣件数66件、登録通訳者数9名</li> <li>・事業費 1,001,314円</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】            当初予算額 2,208,995円</p> <p>【過去2カ年度の実績】            平成26年度 967,195円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話通訳者派遣件数109件、登録通訳者数8名</li> <li>・要約筆記者派遣件数27件、登録通訳者数13名</li> </ul> <p>平成27年度 776,751円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話通訳者派遣件数85件、登録通訳者数11名</li> <li>・要約筆記者派遣件数34件、登録通訳者数13名</li> </ul> <p>(3) 手話奉仕員養成事業            聴覚障がいや手話に関する基礎的な知識について学び、聴覚障がいのある人の社会参加を支援する手話奉仕員の育成を目的として手話奉仕員養成講座基礎編を、手話通訳資格を取得し伊勢市手話通訳者派遣事業登録通訳者として活動するため、三重県主催手話通訳者養成講座の受講を目指す者の更なるレベルアップを目的として手話奉仕員ステップアップ講座を開催した。(奉仕員：コミュニケーションがとれるもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話奉仕員養成講座基礎編 4月～3月、全30講座、20名受講</li> <li>・手話奉仕員ステップアップ講座 4月～3月、全12回、10名受講</li> <li>・事業費 509,360円</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】            当初予算額 600,400円</p> <p>【過去2カ年度の実績】            平成26年度 147,162円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話奉仕員養成講座基礎課程 4月～11月、全30講座、14名受講</li> </ul> <p>平成27年度 180,851円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話奉仕員養成講座入門編 7月～3月、全23講座、26名受講</li> <li>・手話奉仕員ステップアップ講座 4月～3月、全12回、11名受講</li> </ul>	117

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p>(4) 手話言語条例関連施策 手話は言語であるという認識に基づき、手話の理解及び普及並びに地域における手話を使用しやすい環境の構築に関し、総合的かつ計画的に施策を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 239,588円</li> <li>・講演（関係各課職員対象）</li> <li>・市ホームページへ手話動画『みんなで手話』を掲載</li> <li>・手話リーフレットの作成、配布（5,000部）</li> <li>・手話啓発クリアファイルの作成、配布（2,500枚）</li> <li>・手話体験講座（全4回実施、48名参加）</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 188,040円</p> <p>(5) 点字広報・声の広報発行事業 広報を点字及び朗読することにより、視覚障がい者の情報保障の充実を図った。</p> <p>点字広報発行事業発行人数 13人 声の広報発行事業発行人数 42人 事業費 350,000円</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 伊勢市手話言語条例と同日に障害者差別解消法が施行された相乗効果により、講演会やイベント等、不特定多数の市民が参加対象となるものへの手話通訳者の派遣が大幅に増えた。また、市民等から「手話を学ぶ場」についての問合せが急増した。</p>	
3. <u>障害者サポーター事業</u>	1,960	<p>これまで障がいについて知る機会がなかったり、障がいのある人と接する機会がなかった市民に、サポーターの活動を通じて障がいへの理解を深めてもらい、障がいのある人への支援につなげるため、平成28年12月、平成29年3月にそれぞれサポーター研修会を開催し、サポーターの啓発行事等を実施した。</p>	117
4. 障害者外出支援事業	12,780	<p>1. 重度障害者タクシー料金助成事業 在宅の重度障がいのある人に対し、タクシー料金を助成することにより、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 タクシー券利用枚数 14,767枚</p> <p>2. 重度身体障害者リフト付タクシー料金助成事業 下肢、体幹機能の障がいがあり車いすを利用する方を対象に、リフト付タクシーの利用料金を助成し、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 リフト付タクシー券利用枚数 2,056枚</p>	117
5. 障害者生活環境等整備事業	324	<p>1. 心身障害者訪問理美容サービス事業 寝たきり状態等のため、理・美容院に出向くことが困難な身体障がいのある人に対し、理美容業者の出張料相当分を助成した。 支給人数 9人 支給額 19,000円</p> <p>2. 重度心身障害者紙おむつ等支給事業 寝たきり若しくは排泄の告知が困難な心身障がいのある人に対し、紙おむつ等の購入に要する経費の一部について、紙おむつ等利用券を支給した。 支給人数 10人 支給額 304,500円</p>	117

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 障害者福祉運営対策経費	81,125	<p>1. 身体障害者福祉センター運営事業 社会適応訓練（パソコン教室等）等を行うとともに、身体障害者福祉センターを利用する障がいのある人の利便性の向上や、社会参加を促進するため、身体障害者福祉センターの運営を伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 年間利用人数 1,086人（身体障害者デイサービス事業）</p> <p>2. 重度身体障害者デイサービスセンター運営事業 創作的活動又は生産活動の機会の提供、その他の身体機能又は生活能力の向上のための支援を行う生活介護事業を実施するため、重度身体障害者デイサービスセンター「くじら」の運営を伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 平均利用人数 16.9人</p> <p>3. 障がい者就労支援施設運営事業 雇用されることの困難な障がいのある人に就労・生産活動の機会を提供するとともに、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な支援を行う就労継続支援事業を実施するため、障がい者就労支援施設「ひまわり」、「工房そみん」、「小俣さくら園」、「御菌しらぎく園」の運営を伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 平均利用人数 ひまわり 13.5人 工房そみん 12.5人 小俣さくら園 16.3人 御菌しらぎく園 8.0人</p> <p>4. 自立更生事業補助金 市内の障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員の自立更生を図った。 助成団体 8団体</p>	119
7. 障害者手当等給付事業	69,779	<p>在宅で重度の障がいのある人に対し、その障がいによって生じる負担軽減を図り、その福祉を増進するため、特別障害者手当等を支給した。</p>	119
8. 社会的事業所創業支援事業補助金	3,550	<p>三重県社会的事業所設置運営要綱に基づく社会的事業所の設置又は運営を支援し、障がい者の地域社会に根ざした就労の促進及び社会的かつ経済的な自立の促進を図るため、補助金を交付した。</p>	119
9. おひさま児童園整備事業	1,242	<p>みそのデイサービスセンターを改修し、児童福祉法に規定する障害児通所支援事業による理学療法などの機能訓練を実施する、こども発達支援施設おひさま児童園を新たに設置するための改修工事に伴う設計業務を委託した。</p>	119
10. 障害者介護給付等事業	2,156,742	<p>障害福祉サービス等の利用について、介護給付費等の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。</p>	119
11. 障害支援区分認定事業	10,154	<p>伊勢市介護給付費等の支給に関する審査会を設置し、障害支援区分認定等に係る審査業務を行った。 委員数 10人、開催回数 23回 判定件数 233件 認定調査件数 296件（含 訓練給付のみを利用 63件）</p>	119

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
12. 補装具費支給事業	26,320	日常生活や社会生活の向上を図るため、補装具費の支給(購入及び修理)を次のとおり実施した。 支給件数 305件 補装具費支給事業扶助費 26,319,552円	119
13. 身体障害者医療給付事業	21,272	身体に障がいがあるか、現存する疾患の治療を行わないと将来において重度の障がいを遺すと認められ、また、確実な治療効果が期待できる18歳未満の児童および、身体に障がいのある18歳以上の人の障がいの除去又は軽減を図るため、医療費を給付した。	119

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 3. 医療支給費

(単位 千円)

予算現額 886,703 千円  
決算額 886,638 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	341,994			544,644

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 障害者医療費支給事業	251,398	身体障害者手帳1級～4級または療育手帳A1～B1の方で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。また、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費を助成した。 1 医療費の助成 ・助成額 240,550千円 ・助成件数 58,094件 2 証明書料の助成 ・助成額 10,848千円 ・助成件数 54,240件	119
2. 65歳以上障害者医療費支給事業	167,084	後期高齢者医療被保険者である身体障害者手帳1級～4級、療育手帳A1～B1の方で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。また、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費を助成した。 1 医療費の助成 ・助成額 167,084千円 ・助成件数 71,713件	119
3. 子ども医療費支給事業	341,766	出生から15歳になった日以降の最初の3月31日までの子どもで、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 1 医療費の助成 ・助成額 308,187千円 ・助成件数 170,918件 2 証明書料の助成 ・助成額 33,579千円 ・助成件数 167,894件	119

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 一人親家庭等医療費支給事業	80,589	<p>18歳の年度末までの子どもを養育している配偶者のいない父母およびその子ども、または父母のいない18歳の年度末までの子どもで、受給資格のある方に対して医療費を助成した。</p> <p>1 医療費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成額 74,298千円</li> <li>・助成件数 32,103件</li> </ul> <p>2 証明書料の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成額 6,291千円</li> <li>・助成件数 31,453件</li> </ul>	119
5. 寡婦医療費支給事業	154	<p>現在婚姻していない60歳～69歳の女性で、配偶者と死別し、その時に20歳未満の子を扶養していた方であつて、受給資格のある方に対して医療費の一部を助成した。</p> <p>1 医療費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成額 150千円</li> <li>・助成件数 21件</li> </ul> <p>2 証明書料の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成額 4千円</li> <li>・助成件数 19件</li> </ul>	119

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 4. 遺家族等援護費

(単位 千円)

予算現額 9,224 千円

決算額 8,764 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13		2	8,749

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 追悼式開催事業	1,336	<p>戦争犠牲者を追悼し、恒久平和を祈念することを目的に伊勢市戦争犠牲者追悼式を挙行了た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 平成28年10月29日(土) 10:00～</li> <li>・会場 伊勢市生涯学習センターいせトピア 多目的ホール</li> </ul> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年々、遺族の高齢化による参加者の減少が課題であったため、平成26年度から臨時バス・マイクロバスの運行方法を再検討し、参列しやすい環境づくりに努めた。</li> </ul>	119

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 5. 心身障害児通園施設費

(単位 千円)

予算現額 58,703 千円  
 決算額 57,973 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			36,119	21,854

こども発達支援室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. おおぞら児童園運営事業	22,537	障がいのある児童の発達の促進と障がいの軽減を図るため、通園による訓練や療育、相談等を行った。 発達療育：延べ739人、感覚運動遊び：延べ1,184人 放課後等デイサービス：延べ639人 作業療法：延べ637人、言語療法：延べ452人 心理療法：延べ65人、機能回復訓練：延べ18人 発達や療育についての相談：延べ481人	121
2. おおぞら児童園管理事業	3,789	おおぞら児童園の施設を維持管理し、通園児の安全かつ快適な施設利用を図った。	121
3. 障害児相談支援事業	9,372	障がい児が地域において自立した日常生活又は社会生活を送り、適切な福祉サービス等が提供されるよう障害児支援利用計画の作成等を行った。 利用計画作成延べ件数 320件 モニタリング延べ件数 678件	121

(款) 3. 民生費 (項) 2. 老人福祉費 (目) 1. 老人福祉推進費

(単位 千円)

予算現額 3,879,466 千円  
 決算額 3,854,770 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
17,616	262,049		76,229	3,498,876

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉施設等整備事業	17,017	伊勢市第7次老人福祉計画・第6期介護保険事業計画に基づき、市が選定した法人が行う地域密着型サービス施設の整備に係る必要経費に対する補助及び利用者の安心・安全を確保するため市内に所在する介護施設等が行う防災改修に係る経費に対して補助を行った。  ・地域密着型サービス等整備助成事業 1件 【認知症対応型通所介護事業所の整備】 補助金額 11,300,000円 ・既存施設のスプリンクラー設備等整備事業 4件 補助金額 5,717,000円	123
2. 介護未経験者研修支援事業	473	介護に従事する人材の確保及び介護職員の資質の向上を図るため、介護職員初任者研修に係る費用の一部を助成した。 初任者研修受講者：10人(5法人)	123

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 介護ロボット等導入促進事業	892	介護従事者の負担の軽減等を図るため介護サービス事業者が介護ロボットを導入する際の経費に対して補助を行った。 対象：離床アシストベッド 1台	123

### 地域包括ケア推進課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生きがい活動支援通所事業	2,524	在宅の高齢者で、介護保険で「非該当」と認定された者、又は自立とみなされる閉じこもりがちで虚弱な方々を対象に、デイサービスセンターへの通所により、教養講座・日常動作訓練・趣味創作活動等のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消・心身機能の維持を図るとともに、要介護状態への進行の予防を図った。	121
2. 軽度生活援助事業	409	老衰や心身の障がい及び傷病等の理由により日常生活の援助が必要な高齢者に対して、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、在宅での生活の継続を図った。	121
3. <u>介護予防・日常生活支援モデル事業</u>	3,000	<p>地域住民組織等が行う地域の支え合い体制を構築し、平成29年4月1日から始まる介護予防・日常生活支援総合事業への円滑な移行及び安定的な運営を図るための補助金を交付した。</p> <p>【補助交付金額】3,000,000円 (訪問型) 厚生地区まちづくりの会 600,000円</p> <p>(通所型1) 一色町「食」支援の会 800,000円 集いの場・みやがわ 800,000円 南本町清和会 800,000円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算 4,034,000円 ・訪問型 2件 ・通所型1 1件 ・通所型2 5件 ・通所型3 1件</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成28年度からの新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】 平成29年4月1日から介護予防・日常生活支援総合事業(介護保険特別会計)に移行するため、単年度事業。</p>	123

## 福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. デイサービスセンター管理経費	32,249	<p>みなとデイサービスセンター、二見デイサービスセンターについて、指定管理者による管理運営を実施し、利用者の利便性向上に努めた。また、設備等のメンテナンスを行い、老朽化による施設の不具合を解消した。</p> <p>【主な施設改修の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなとデイサービスセンター空調機更新工事 9,234,000円</li> </ul>	123

## 高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 外出支援サービス事業	21,487	<p>65歳以上の寝たきり及び歩行が全介助状態である下肢の不自由な高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な者に対し、移送用車両（リフト付タクシー等）の利用を支援し、高齢者の福祉の増進を図った。</p> <p>利用枚数 21,093枚</p>	121
2. 緊急通報体制等整備事業	3,356	<p>虚弱な一人暮らし高齢者や重度身体障がい者に対し、緊急通報装置の貸与を行うことにより、緊急事態発生時に迅速かつ適切に対処できる体制を整備し、一人暮らし高齢者等の日常生活の安全確保を図った。</p>	121
3. 老人乗合バス運賃助成事業	21,904	<p>75歳以上の高齢者を対象に、市内全線有効の寿バス乗車券（100円券40枚または1回乗りきり乗車券12枚）（※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及び第1種の手帳をお持ちの方の介護者で希望の方は、「50円券×80枚」も選択可）を交付し、定期バス乗車運賃の助成を行い、高齢者の外出を容易にして社会参加の促進及び心身の健康の保持増進を図った。</p> <p>寿バス乗車券 交付者数 10,287人            (内訳) 100円券 8,782人                      50円券 255人                      乗りきり券 1,250人</p>	121
4. 老人クラブ補助金	11,031	<p>伊勢市老人クラブ連合会及び各地区単位老人クラブの社会奉仕活動や健康増進等に対して、補助金を交付し、生きがいの場としてのクラブ活動を充実させた。</p>	121
5. 敬老祝品贈呈事業	2,273	<p>市内に在住する年度末時点で満88歳・100歳・最高齢の高齢者に対し、敬老と長寿を祝福し、感謝の意を表するため敬老祝品を贈呈した。（最高齢者への贈呈は生涯に1回）</p> <p>88歳 5,000円相当 804人            100歳 10,000円相当 36人            最高齢 15,000円相当 1人</p>	121

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 救急医療情報キット 配備事業	562	一人暮らし高齢者等の要援護者に対し救急時の対策として、要援護者に係る情報を救急隊員や病院関係者へ迅速・的確に伝えるため、救急医療情報キットを配備した。 配備件数（平成29年3月31日時点） 3, 251件	123
7. 老人ホーム入所措 置事業	208,916	65歳以上の高齢者で、居宅において養護を受けることが困難な者を、養護老人ホームへ入所措置した。  入所施設数 5施設 年度当初入所者数 118名 年度途中異動者数 入所者 13名 退所者 14名 年度末入所者数 117名	123

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 保健福祉会館運営 事業	1,920	地域住民で組織する各保健福祉会館運営委員会において計画する事業の実施及び保健福祉会館を会場に、高齢者を対象とした健康体操教室を開催した。	123

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 1. 児童福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 616,463 千円  
決算額 578,631 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
60,787	87,937		3,541	426,366

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童送迎バス負担 金	2,000	へん地にある保育所の児童送迎にかかる負担を軽減するために、社会福祉法人一宇郷福祉会みどり保育園の送迎バス運行経費の一部を負担した。	125
2. 子育て支援ショ ートステイ事業	254	保護者の疾病等により家庭で児童の養育が一時的に困難となった場合や経済的理由等により緊急一時的に母子の保護を必要とする場合に、委託施設において養育又は保護を行った。 実利用児童数 5人 延べ利用日数 38日	125
3. 病児・病後児保育 事業	14,273	児童が病気あるいは病気回復期にあるために集団保育が困難である間、当該児童を専用スペースで預かることにより、保護者の子育てと就労の両立支援を行った。 延べ利用人数 950人	125
4. ファミリーサポ ートセンター事業	8,770	会員間の相互援助活動により、仕事と子育ての両立を図るため一時的に子どもを預かる会員組織である「いせファミリー・サポート・センター」の運営を行った。 年度末会員数 428人 活動件数 1,980件	125

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. <u>放課後児童対策事業</u>	253,666	<p>保護者が仕事などにより昼間家庭にいない小学生を対象に、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 放課後児童クラブ数 27箇所</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 275,780,000円 ・指定管理料（公設：二見、小俣、明野、御菌） ・業務委託料（公設：二見第2、小俣第2、御菌第2） ・民間クラブ運営委託料（20箇所） など</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成27年度 決算額 193,194,507円（27箇所） 平成26年度 決算額 163,825,158円（25箇所）</p> <p>【事業を取りまく状況等】 年々利用児童が増加しているため、ニーズの高い地域において、クラブの増設や定員の拡充に取り組んでいく。</p>	125
6. 一般保育事業補助金	40,765	<p>公立保育所等職員と民間保育所等職員の給与の格差等を是正するため、民間保育所等に対し補助した。 民間保育所等 19箇所</p>	125
7. 延長保育促進事業補助金	2,006	<p>短時間認定児童および標準時間認定児童に対し通常の保育時間を超えて長時間保育を実施している民間保育所等に対しその経費を補助した。 民間保育所等 6箇所</p>	125
8. 地域活動事業補助金	4,745	<p>保育所等を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促進を図るための事業を実施する民間保育所等に対し活動にかかる経費を補助した。 民間保育所等 19箇所</p>	125
9. 障害児保育事業補助金	20,645	<p>保育所等での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童を受け入れている民間保育所等で、基準を超える保育士配置に必要な経費及び運営の健全化を図るための経費を補助した。 民間保育所等 9箇所 対象児童（中度）15人（重度）3人</p>	125
10. 一時保育事業補助金	1,473	<p>保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のための一時的な保育を行う保育所に対しその経費を補助した。 延べ利用児童数 1日利用 96人 半日利用 5人</p>	125
11. アレルギー等対応特別給食提供事業補助金	13,022	<p>食物アレルギー等があり保育所等における給食に特別な配慮が必要な児童への安全な給食提供のため、民間保育所等における調理員の加配、代替食材、研修等にかかる費用を補助した。 民間保育所等 15箇所 対象児童数 77人</p>	125

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
12. 低年齢児保育充実 事業補助金	7,117	延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、定員もしくは入所児童数のいずれか多い方の1割以上の0・1歳児が入所する保育所に対して、0・1歳児保育の推進を図り待機児童の発生を防ぐため、基準を超えて配置する保育士に必要な経費を補助した。 民間保育所 8箇所	125
13. 子ども家庭支援 ネットワーク事業	436	伊勢市子ども家庭支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）を設置して、要保護児童とその家族の早期発見と適切な支援のため、関係機関との連携を図り児童虐待の防止に努めた。	125
14. こども家庭相談セ ンター事業	12,469	保健師、社会福祉士及び保育士（みえ発達障がい支援システムアドバイザー）、家庭児童相談員、女性相談員、臨床心理士（非常勤）を配置し、児童虐待通告や子育て相談、DV（配偶者等による暴力）等の女性相談に対する助言指導等を行った。 ・児童相談：延べ1,165件（424人、うち新規193人） ・女性相談：延べ 467件（ 97人、うち新規 63人）	125
15. 民間認定こども園 施設整備事業費補 助金	32,965	認定こども園施設の機能の維持及び向上を図るため、民間認定こども園が行う工事の施行に対し補助金を交付した。 ・修道こども園太陽光発電設備設置工事 9,558,000円 ・（仮）ゆたかこども園改修工事 22,613,100円 ・暁の星こども園フェンス改修工事 793,800円	125

こども発達支援室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>1. <u>子ども発達支援事業</u></p>	<p>6,428</p>	<p>みえ発達障がい支援システムアドバイザーが、子どもの発達や育ちに関する相談に対し支援を行い、必要なサービスや関連機関へのコーディネートを行った。</p> <p>また、発達障がい児の早期発見・早期支援に向け、市内の保育所（園）・幼稚園・認定こども園を巡回して、保護者や保育士・教員等からの相談を受け、助言を行うとともに、必要に応じて、療育や専門機関につなげ連携を図った。</p> <p>また、途切れのない発達支援や発達障がいについての理解を深めるための講演会を2回実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達支援相談件数 平成28年度 延べ 428件</li> </ul> <p>子どもへの途切れのない支援を行う拠点であるこども発達支援室を平成29年4月から設置するため、福祉健康センター3階の一部を改修した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども発達支援室設置工事 3,480,840円</li> </ul> <p><b>【当初予算における内容、計画】</b> 発達支援相談業務、発達障がいに関する講演会の開催、「こども発達支援室」の29年度の設置に向けた体制整備、こども発達支援室設置工事</p> <p><b>【過去2カ年度の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達支援相談件数 平成27年度 延べ 751件 平成26年度 延べ 648件</li> </ul> <p><b>【事業を取り巻く状況等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がいに関する相談内容の多様化など、相談体制の強化が求められる。</li> <li>・子どもの発達支援については、保健・福祉・教育が連携したサポート体制の強化や、相談のワンストップ化が社会ニーズとしても求められている。</li> </ul>	<p>125</p>

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 2. 児童措置費

(単位 千円)

予算現額 3,740,653 千円  
 決算額 3,662,933 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,889,412	623,317		266,730	883,474

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童入所施設措置事業	9,108	児童の福祉に欠ける世帯の母子を母子生活支援施設に入所措置することで、家庭生活の安定保護を図るとともに、自立への支援を行った。また、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を入所措置した。 母子生活支援施設利用件数 3件 助産施設利用件数 1件	127
2. 児童手当支給事業	1,868,765	子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するという趣旨のもとに、中学3年生までの子どもを養育する保護者に対し児童手当を支給した。 受給者数 8,621人 対象児童延べ人数 171,509人	127

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 3. 父母子福祉費

(単位 千円)

予算現額 553,798 千円  
 決算額 551,307 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
187,443				363,864

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 高等職業訓練給付金等事業	9,938	ひとり親家庭の自立の促進を図るために、看護師等の資格養成機関で修業する一人親家庭の父又は母に対し、生活費の負担減を図るための補助金を支給した。 高等職業訓練促進給付金 9人 高等職業訓練修了支援給付 5人	127
2. 児童扶養手当支給事業	538,502	父又は母と生計を同じくしていない児童を養育しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るために、手当を支給した。 受給資格者数 1,367人	127

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 4. 児童福祉施設費

(単位 千円)

予算現額 1,553,972 千円  
 決算額 1,501,884 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
14,969	13,742	42,100	278,998	1,152,075

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 保育所地域活動事業	1,945	保育所を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促進を図るための事業を実施した。 市立保育所 12箇所	127
2. 地域子育て支援センター事業	57,233	子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル支援などを行った。 子育て支援センターきらら館、小保子育て支援センター明倫保育所、二見浦保育園、しごうこども園	127
3. 障害児保育事業	65,216	保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童の入所する保育所に保育士及び保育補助員を加配した。 市立保育所等 13箇所 対象児童 (中度) 27人 (重度) 17人	127
4. 延長保育促進事業	9,035	11時間を超えて長時間の保育を実施した。 市立保育所 2箇所 (大世古保育所、保育所きらら館)	127
5. 休日保育事業	3,493	日曜日、祝日等の保護者の就労等により、家庭で子どもの保育が困難な場合に、保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、休日保育を行った。 市立保育所 1箇所 (保育所きらら館)	127
6. 一時保育事業	14,656	保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行った。 保育所きらら館、小保子育て支援センター しごうこども園 延べ利用児童数 1日利用 2,087人 半日利用 644人	127
7. 市立保育所施設整備事業	51,038	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設整備を行い、安全かつ快適な環境の整備を図った。 【主な工事】 ・御菌第二保育園冷却塔取替工事 1,274,400円 ・きらら館園庭及び駐車場拡張工事 15,431,040円 ・浜郷保育所テラス側溝蓋取替工事 1,153,440円 ・御菌第二保育園砂場改修工事 1,188,000円	127

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
8. 市立認定こども園 施設整備事業	542	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設整備を行い、安全かつ快適な環境の整備を図った。 【主な工事】 ・しごうこども園園庭フェンス扉設置工事 248,400円	129

(款) 3. 民生費 (項) 4. 生活保護費 (目) 2. 扶助費

(単位 千円)

予算現額 2,083,855 千円  
決算額 2,051,466 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,496,852	60,420			494,194

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種扶助事業	2,051,466	<p>健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長することを目的とした生活保護法の理念に基づいて、適正な保護の実施に努めた。</p> <p>平成28年度実績 被保護世帯数 926世帯 被保護人員 1,160人 被保護率 9.1‰</p> <p>種別 円 生活扶助 539,768,737 就労自立給付金 96,364 住宅扶助 236,660,247 教育扶助 6,840,085 介護扶助 83,184,777 医療扶助 1,145,359,547 出産扶助 23,640 生業扶助 3,846,808 葬祭扶助 3,808,329 保護施設事務費 31,877,220 合計 2,051,465,754</p> <p>平成27年度実績 被保護世帯数 964世帯 被保護人員 1,223人 被保護率 9.6‰</p> <p>種別 円 生活扶助 573,564,060 就労自立給付金 147,597 住宅扶助 244,308,541 教育扶助 7,825,079 介護扶助 72,417,399 医療扶助 1,176,522,410 生業扶助 5,152,186 葬祭扶助 1,520,299 保護施設事務費 37,552,188 合計 2,119,009,759</p>	131

(款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 1. 人権施策管理費

(単位 千円)

予算現額 69,318 千円  
 決算額 65,081 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	17,578			47,503

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権施策推進事業	947	伊勢市人権施策推進協議会と協力し、人権尊重啓発ポスター・人権尊重啓発標語の募集、人権セミナー開催等の各種事業の展開を通じて、市民の人権意識の高揚に努めた。	131
2. 市民館講座開催事業	106	人権問題に関する理解と認識を深めるため、成人学習講座をはじめとする各種講座を開催し、市民に学習の場と気づきの機会を提供した。	131

(款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 2. 人権啓発推進費

(単位 千円)

予算現額 4,328 千円  
 決算額 3,872 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	647			3,225

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権啓発推進事業	1,032	人権啓発パンフレット・啓発物品を作成し、「差別をなくす強調月間」及び「人権週間」を中心に、企業訪問、街頭啓発などで配布した。2月には人権映画祭を開催し、市民の人権意識の高揚に努めた。	131
2. 非核平和推進事業	645	非核・平和第38回空襲展を実施し、戦争の悲惨さと平和の大切さを訴えていくことで平和推進に努めた。平和首長会議からのポスターを活用した原爆被災ポスター展を実施し、非核平和宣言都市の名入り折紙も設置し平和を祈念し折鶴を折ってもらうなど市民へ非核・平和の周知を行った。広島市・長崎市主催の「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」に共催し、原爆被爆の実相と悲惨さを伝え、恒久平和を訴えた。また、両市から授与された、被爆樹木二世苗木を伊勢フットボールヴィレッジに植樹し、今後も平和啓発に取り組んでいく。	131
3. 講演会開催事業	1,104	7月の「人権を考える市民の集い」では、講師に桂才賀さんを迎え「子どもを叱れない大人たちへ ～少年院面接委員が語る現代青少年の心～」、12月の「伊勢市人権講演会」では、渡部陽一さんを迎え「戦場の現場から祈りを捧ぐ ～命の大切さ 互いを愛し、敬いあうこと～」をテーマに講演会を開催し、人権啓発推進に努めた。	131

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 小学校区別人権・ 同和教育推進連絡 協議会事業	896	市内23の各協議会にて、講演会、人権展、啓発紙の発行等の活動を行った。3月には今後の取組の充実を図るため、全協議会参加による交流会を開催し、地域での人権啓発推進に努めた。	131
5. 人権啓発講座開催 事業	195	小中PTA会員と一般からの受講者を募集し、4回講座を持った。回ごとにテーマと講師を変え、講師による講演後、グループ討議を行い、人権問題を広く学習する機会を提供した。延べ189名の参加があり、人権啓発に努めた。	133

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

(単位 千円)

予算現額 595,419 千円  
 決算額 523,003 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
19,737	13,737	46,800	5,360	437,369

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 伊勢広域環境組合負担金(斎場)	39,779	1市3町で構成する伊勢広域環境組合斎場で火葬業務を行った。 共通経費 395千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 30,553千円(実績割100%) 建設経費 8,831千円(平等割10%人口割90%)	133
2. 伊勢広域環境組合負担金(し尿)	206,291	1市2町で構成する伊勢広域環境組合クリーンセンターでし尿等の適正処理を行った。 共通経費 2,326千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 179,745千円(実績割100%) 建設経費 10,819千円(平等割10%人口割90%) 公債費 13,401千円(元利補給金)	133
3. 生活排水対策啓発事業	336	伊勢市環境会議にて、各家庭における生活排水対策の啓発活動等に取り組んだ。 実施事業：勢田川七夕大そうじ、水生生物による水質調査、エコクッキング教室等	133
4. 狂犬病予防事業	1,239	狂犬病予防法に基づき、獣医師会等と協力して、畜犬登録と狂犬病予防注射を行った。 畜犬新規登録件数 459頭 狂犬病予防注射接種件数 4,775頭	133
5. 合併処理浄化槽設置整備事業補助金	85,455	公共用水域の汚濁防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、合併処理浄化槽設置者に対し補助し、合併処理浄化槽の普及に努めた。 公共下水道認可区域外 283基 80,195千円 公共下水道認可区域内 44基 5,260千円	133
6. 共同汚水処理施設修繕工事補助金	3,384	共同汚水処理施設の適正な維持管理を推進するため、住民で組織する団体が管理し、設置後7年以上が経過した共同汚水処理施設の修繕工事(当該修繕工事に要する経費が1件当たり30万円以上のものに限る)を実施した管理団体に対し補助を行った。 補助件数：4件	135

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 太陽光発電普及促進事業	4,960	地球温暖化の防止に寄与するため、太陽光発電システム設備設置に対し1件あたり60千円を補助した。 平成28年度 ・補助金 66件 3,960千円 平成27年度からの繰越 ・補助金 16件 960千円	135
8. エコドライブ普及推進事業	321	市域運輸部門の温室効果ガス排出量を削減するために、エコドライブ講習会を実施した。 市民向け3回実施 28人(内マイカー1回) 職員向け3回実施 44人	135
9. 犬猫不妊手術費等補助金	2,080	適正な飼育を図るため、不妊手術費の一部助成を行った。 補助金交付件数 犬159頭 猫491頭	135
10. 環境フェア等開催事業	819	環境問題に対する意識啓発のため、また、環境に関する市の取組への理解と協力を得るため、環境フェアを開催した。(伊勢志摩国立公園指定70周年記念として開催) 開催日 平成28年10月9日(日) 開催場所 三重県営サンアリーナ	135
11. 環境教育推進事業	200	持続可能な社会づくりに貢献する人材育成のため、事業者や大学と連携し、環境教育の出前講座等を実施した。 ・事業者: 14校 22クラス ・大学: 5校 12クラス	135

### 小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 離宮の湯管理運営事業	18,373	地域住民の福祉の充実及び公衆衛生の向上を目的に、平成17年4月1日から営業を開始した。また、平成19年4月1日からは民間のノウハウを生かすために指定管理者制度を導入し管理運営を行っている。毎月6回程度のかわり湯を実施し、利用拡大に努め、市民の憩いの場として多くの方に利用していただいた。 平成28年度利用者数 44,067人	135

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 2. 保健センター費

(単位 千円)

予算現額 3,042,152 千円  
 決算額 1,690,675 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	558	231,900	27,181	1,431,036

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 病院事業会計繰出金	1,181,902	病院事業に対して、繰出基準に基づく繰出しのほか、資金不足改善のため、繰出しを行なった。 ・通常分 651,902千円 ・資金不足改善分 530,000千円	135
2. 病院事業出資金	231,900	新病院建設事業費のうち企業債対象事業の1/4相当額を出資金として支出した。(合併特例債を100%充当) 【事業費内訳】 建設地造成工事 342,647千円 建設工事 570,000千円 建設工事設計業務 40,820千円 建設工事監理業務 16,200千円	137

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 健康・医療電話相談事業	7,420	市民の安心と救急医療体制の保持を図るため、健康、医療をはじめ、介護、育児やメンタルヘルスなどの、市民の心と体の様々な相談に、医師や看護師などの専門家による24時間年中無休、通話料無料の電話相談サービスを委託し実施した。16,174件の相談があった。	135
2. 一次救急医療事業	4,027	休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び毎夜間における一次救急医療体制の確保を図るとともに、救急医療体制を確保するため、市民に救急業務に関する正しい知識と理解を深めてもらうよう周知に努めた。	135
3. 病院群輪番制病院運営費補助金	34,596	病院群輪番制は、一次救急医療体制に併せ、市内の2病院(伊勢赤十字病院、市立伊勢総合病院)が、輪番制により、休日及び夜間における重症救急患者の受け入れに対応する二次救急体制を確保するためのものであり、この補助金はその運営費を補助するものである。 平成28年度は18,270人の受け入れがあり、市民の安心・安全確保に大きく貢献した。	135

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 健康文化都市推進事業	1,527	生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざして、第2期健康づくり指針に基づき生活習慣病の発症予防と重症化予防を中心に健康づくり活動を推進した。健康文化週間及び健康の日の啓発事業、健康づくりのリーダーとなる健康づくりアドバイザー養成講座等を開催した。重点事業への取組みとして、身体活動・運動習慣を増やすことを目的に「いせし健康体操」を作成した。また、ウォーキング講座の開催やウォーキングコースの健康増進効果の検証とマップ作成、野菜の普及啓発を実施した。	135
5. 食生活改善推進事業	977	健康づくりの基本となる食生活を適正なものにするため、食生活改善推進員の養成と、推進員の自主的な活動に対する支援を行った。	135
6. 連携リハビリテーション医学講座設置事業	24,000	<p>平成28年度に市と藤田保健衛生大学で第2期目(1期目は平成25年10月から平成28年3月)の協定を締結し、地域医療(主に回復期リハビリテーション)の充実を目的に設置した寄附講座により、市立伊勢総合病院へ医師が派遣され、スタッフへの指導、教育を含めリハビリテーション環境の充実を図った。</p> <p><b>【当初予算における内容、計画】</b>  当初予算額 24,000,000円  ・継続的なリハビリテーション科医師派遣  (常勤医師1名派遣)  ・スタッフへの指導・教育を通じたネットワーク構築  (医療従事者向け講演会、リハビリテーション研修等)</p> <p><b>【過去2ヵ年度の実績】</b>  平成26年度 24,000,000円  ・継続的なリハビリテーション科医師派遣  (非常勤医師派遣3名)  ・スタッフへの指導・教育を通じたネットワーク構築  (医療従事者向け講演会、リハビリテーション研修等)  平成27年度 24,000,000円  ・継続的なリハビリテーション科医師派遣  (常勤医師1名派遣)  ・スタッフへの指導・教育を通じたネットワーク構築  (医療従事者向け講演会、リハビリテーション研修等)</p> <p><b>【事業を取りまく状況等】</b>  ・寄附講座の設置によって、継続的なリハビリテーション科医師派遣の仕組みの構築及びコメディカルスタッフの指導・教育等リハビリテーション環境の充実が図られる。</p>	135

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. <u>公的病院支援事業補助金</u>	30,000	<p>不採算医療分野のうち、公的病院である伊勢赤十字病院が市内で唯一保有する小児医療病床及び周産期医療病床の運営経費を一部補助し、地域医療体制の確保を図り、市民の安心・安全な医療の提供につなげた。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 30,000,000円 ・小児医療病床及び周産期医療病床の運営経費の補助</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成26年度 10,000,000円 平成27年度 10,000,000円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 伊勢赤十字病院は地域小児医療センター病院に位置づけられ、伊勢地区の小児入院医療は平成17年に伊勢赤十字病院に集約されており、今後も地域における小児入院医療の確保維持を図る必要がある。</p>	137

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 3. 予防費

(単位 千円)

予算現額 351,395 千円  
決算額 326,123 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,840		1	322,282

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 予防接種事業	326,119	<p>全ての定期予防接種を県内の実施医療機関で実施し、対象者に接種を行うとともに、未接種者に対し勧奨通知を送付し、接種率の向上を図った。法改正に伴い、平成28年10月1日からB型肝炎ワクチンを定期予防接種として実施した。また、28年度から、里帰り出産等の理由により県外で子どもの定期予防接種を受けた場合の費用助成を開始し、65件の助成を行った。</p>	137

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 4. 成人保健推進費

(単位 千円)

予算現額 283,404 千円  
決算額 272,595 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
616	6,834		1,667	263,478

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 成人健康診査事業	13,462	<p>40歳以上の保険が無い方を対象にした健康増進法健康診査と、40・45・50・55・60歳及び65歳～70歳の女性に骨粗しょう症検診等を実施して、生活習慣病を早期発見し、市民の健康増進に努めた。</p>	137

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. がん検診事業	252,460	市内の医療機関、保健センター及び地域において、胃・子宮・大腸・乳・前立腺及び肺がん検診を実施した。日本人の死因第1位であるがん（悪性新生物）を早期発見し、早期治療につながるよう努めた。	137
3. 歯周疾患検診事業	5,468	40歳～50歳及び55歳、60歳、65歳、70歳の市民を対象に、市内及び度会郡内の実施歯科医院で歯周疾患の検診を実施した。 2,034人が受診し、歯周疾患の早期発見、早期治療に寄与し、8020運動を推進した。	137
4. 成人健康相談事業	701	40歳以上の市民を対象に、血圧測定、検尿をはじめ、個別の健康相談、栄養相談を行い、疾病の早期発見及び健康の増進に努めた。 延べ349人の相談を行った。	137
5. 訪問指導事業	504	保健師等が家庭訪問を行い、本人及びその家族254人に対し、生活習慣病の予防や介護予防に関するアドバイス、保健サービスと医療・福祉等のサービスの調整を図った。	137

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 5. 母子保健推進費

(単位 千円)

予算現額 174,252 千円  
決算額 160,000 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,702	5,156		1,768	143,374

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 子育て支援教室事業	377	乳幼児期に離乳食教室等を実施し、子育てに関する正しい知識の普及や子育ての不安の解消、仲間づくりの支援を図った。952人の参加があった。	137
2. 発達支援教室事業	2,605	1歳6か月児健康診査等により、言語発達等に観察が必要な親子に対し、育児支援・助言を行い、健全育成を図るとともに、子育てに悩みを持つ保護者のネットワークづくりに努めた。また、育てにくさを感じる親に寄り添う支援として生後4か月児健診の結果等から育てにくさや育児への不安が強い親とその乳児に対して、ふれあい遊びや音楽遊び、交流会等の内容で親支援の教室を開催した。688人の参加があった。	137
3. 幼児歯科保健事業	3,383	1歳6か月児健康診査から3歳児健康診査までの2年間に、むし歯が急速に増加するため、むし歯予防の教室を開催した。 ・むし歯バイバイ教室 773人 ・3歳児フッ化物塗布 665人	137

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 子育て相談事業	943	乳幼児を持つ保護者を対象に、育児上の悩みや離乳食などについて適切なアドバイスを行い、自信を持って育児ができるように援助を行った。保健センターや地域等で開催し、延べ3, 254人の相談に対応した。	137
5. 新生児等訪問指導事業	4,080	新生児をはじめ乳幼児、妊産婦のいる家庭を訪問し、相談に応じることで不安や悩みの解消、異常の早期発見に努めた。新生児871人、乳幼児590人、妊産婦921人、育児支援191人の訪問を実施した。	137
6. 妊婦・乳児健康診査事業	100,282	妊娠中に14回及び乳児期に2回(4か月、10か月)計16回、県下の委託医療機関で健康診査を実施した。妊婦は延べ10,960人(県外助成を含む)、乳児は延べ1,775人受診した。このことにより、妊婦・乳児の異常の早期発見と健康の保持増進を図った。	137
7. 1歳6か月児健康診査事業	2,887	身体発育、精神発達の面で歩行や言語発達の標識が容易に得られる1歳6か月時に健康診査を実施し、952人が受診した。また、児童虐待の徴候を早期発見し、育児不安等の解消と児童虐待の防止に努めた。	137
8. 3歳児健康診査事業	4,684	身体発育及び精神発達の面で最も重要な時期である3歳の時点において、総合的な健康診査を実施し、931人が受診した。また、児童虐待の徴候を早期発見し、育児不安等の解消と児童虐待の防止に努めた。	137
9. 妊婦歯科健康診査事業	910	歯周疾患の早期発見、早期治療により早産や低出生体重児の出生を予防し、健やかな子育てが開始できるよう、市内及び度会郡内の実施歯科医院で、336人の妊婦に歯科健康診査を実施した。	137
10. 新生児聴覚検査助成事業	2,104	新生児聴覚検査にかかる費用の一部助成(上限3,000円)をすることにより、経済的負担の軽減と先天性聴覚障がい等の早期発見と支援にむけた体制整備を行い、乳幼児の健康の保持増進を図った。703件に助成を行った。	139
11. 母子健康手帳交付事業	612	妊娠の届出を行った872人の妊婦に対し、窓口で母子健康手帳を交付した。また、妊娠中からの保健指導を行い、母子の健康の保持増進を図った。	139
12. 不妊不育治療費助成事業	13,566	医師が必要と認めた不妊不育治療を受けた夫婦に対し、不妊不育治療費に要する費用の一部助成(費用の2分の1で年間10万円を限度とし通算5回まで)を行った。不妊治療197件、不育治療6件に助成を行った。	139
13. 未熟児養育医療事業	6,939	入院養育が必要な未熟児25人に対して、医療の給付に要する経費を補助することにより、経済的負担の軽減と未熟児の健康の保持増進を図った。	139

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
14. <u>妊娠出産包括支援事業</u>	16,626	<p>安心して妊娠・出産・子育てができるよう、中央保健センターを拠点に、母子保健コーディネーター（保健師）や助産師が中心となって、妊娠期からの切れ目ない支援の充実を図った。</p> <p>(1)母子保健相談支援事業 母子保健コーディネーターが、妊娠期からの相談や訪問、「ママ安心サポートプラン」の作成など、母子健康手帳交付時からの継続した支援を実施した。</p> <p>(2)産前・産後サポート事業 助産師が中心となり、お母さんの悩みや不安に寄り添う支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パパとママの教室（5回/年） 137人</li> <li>・おめでとうコール（産後2～3週目の産婦） 783人</li> <li>・おっぱい相談会（1回/週） 121人</li> <li>・おしゃべりタイム（1回/週） 301人</li> </ul> <p>(3)産後ケア事業 産科医療機関等において母体ケア、育児相談等の産後のケアを10月から実施した。宿泊型 1件</p> <p>(4)拠点整備 産前産後の母親が気軽に立ち寄って相談できる拠点『ママほっとテラス』の整備を行い、12月から利用を開始した。440人の利用があった。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 23,166,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健相談支援事業の実施</li> <li>・産前産後サポート事業の実施</li> <li>・産後ケア事業の開始</li> <li>・拠点整備</li> </ul> <p>【過去2カ年度の実績】 平成27年度からの実施 11,644,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おめでとうコール（7月から実施） 685人</li> <li>・おっぱい相談会（10月から実施） 106人 （おしゃべりタイム含む）</li> </ul> <p>【事業を取りまく状況等】 地域のつながりの希薄化等により、妊産婦等が孤立し不安感を抱えやすくなっていると考えられることから、妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援の強化を図ることが重要である。</p>	139

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 6. 墓地費

(単位 千円)

予算現額 9,001 千円  
決算額 8,715 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,205	5,510

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 共同墓地整備事業 補助金	5,510	<p>共同墓地内の環境改善を図るため、自治会等が行う共同墓地整備事業に対し補助を行った。</p> <p>補助金交付件数 9件</p>	139

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 7. 診療所費

(単位 千円)

予算現額 121,155 千円  
 決算額 97,508 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			93,785	3,723

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 医科診療所運営事業	90,619	夜間や休日などに救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所（内科・小児科）を開設し、一次救急医療を確保することにより、市民の健康管理を図った。	139
2. 歯科診療所運営事業	6,889	休日の救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所（歯科）を開設し、一次救急医療を確保することにより、市民の健康管理を図った。	139

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 8. 公害対策費

(単位 千円)

予算現額 4,318 千円  
 決算額 3,713 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,713

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 調査事業	3,713	公害防止、環境保全に努めるため、水質・騒音・振動・悪臭等について調査し現状把握を行った。	139

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 1. 清掃総務費

(単位 千円)

予算現額 985,987 千円  
 決算額 983,565 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			145	983,420

清掃課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢広域環境組合負担金(ごみ)	918,022	1市3町で構成する伊勢広域環境組合清掃工場にて、ごみの適正処理を行った。 ○共通経費 6,908千円 (平等割10%加入事務数割90%) ○運営経費 533,888千円(実績割100%) ○建設経費 158,494千円 (平等割10%人口割90%) ○公債費 215,584千円(元利補給金) ○清掃事業所分担金 3,148.2千円	141
2. 廃棄物集積所設置補助金	4,597	ごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保することを目的として、廃棄物集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。 ○交付申請団体数 のべ33団体 ○補助金交付基数 54基 ○補助率 利用世帯数に応じて補助金限度額の設定	141
3. 不法投棄防止対策推進事業	912	市有地等に不法投棄された家電4品目及び処理困難物を適正に処理した。 ○主な不法投棄物の回収実績: テレビ83台、冷蔵庫16台、洗濯機21台、エアコン1台、タイヤ90本他	141

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 2. 資源循環推進費

(単位 千円)

予算現額 16,541 千円  
 決算額 12,783 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,839	9,944

清掃課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再生資源回収推進事業	6,672	自治会、PTA等資源物の集団回収事業を行う団体に対して、回収量に応じ再生資源回収事業奨励金を交付することにより、ごみの減量・資源化を図った。 ○交付団体数 146団体 ○回収量 2,221t (内訳) 紙類2,122t、布類44t、缶類55t ○回収量(瓶) 2,800本 ※1kg当たり3円の奨励金 瓶については、1本当たり3円の奨励金	141

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. ごみ減量化容器設置補助金	1,478	生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入し、設置した者に対し補助金を交付した。 ○家庭用 85件 88基	141

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 3. じん芥処理費

(単位 千円)

予算現額 740,537 千円  
決算額 732,437 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		14,800	17,149	700,488

清 掃 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再資源分別回収事業	340,191	ごみの減量・資源化のため、缶・金属類、資源びん(無色、茶色、その他の色)、紙・布類(新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類)、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類、乾電池及び蛍光管の分別回収を行った。 ○市内ステーション設置状況 ・資源ステーション 1,004箇所 ・資源拠点ステーション 19箇所 (内訳) 伊勢中央、宇治、船江、城田、中島、佐八、明倫、神社、厚生、早修、北浜、宮本、沼木、大湊、いせトピア、二見、小俣、明野、御菌	141
2. じん芥収集車購入事業	20,767	耐用年数が経過し、老朽化により収集業務に支障が出るため、車両を順次買い替え業務の効率化を図った。 ○購入車両 2tダンプ 1台 2tパッカー(回転板式) 1台 2tパッカー(プレス式) 2台 ○収集車両台数 計 36台	141
3. じん芥収集一般事業	29,074	ごみ収集業務のほか、市民から搬入されたガレキ類(ブロック、レンガ、瓦、コンクリート)の適正処理を行い、環境保全の推進を行った。 また、小俣廃棄物投棄場浸出水処理施設の維持管理を行い、投棄場の環境保全を行った。 ○伊勢年間搬入量 625,868kg ○小俣年間搬入量 34,850kg	141

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 1. 労働諸費

(単位 千円)

予算現額 62,180 千円  
 決算額 59,701 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			8,602	51,099

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 若年求職者等支援事業	4,274	いせ若者就業サポートステーションと連携し、若年求職者・無業者を対象に個別ケースにあわせた支援を実施し、早期就職の実現を図った。 ○伊勢市若者就職総合支援事業 ・臨床心理士を配した面談による心理カウンセリング ・適職診断等を用いた若者キャリア開発プログラム ・講演会 ・セミナー・講座 ・就労体験 ・ボランティア体験 ・市内事業所見学会 ・ネットワーク会議	143
2. <u>就労支援事業</u>	606	○女性の再就職支援 結婚、出産、育児などにより離職した女性の再就職を支援するため、セミナーを実施した。参加者は16名であった。  ○障がい者雇用促進 伊勢公共職業安定所と連携し、10事業所を訪問し、障がい者雇用を促した。 また、障がい者雇用に関する理解を深めてもらうため、事業所等を対象に、セミナーを実施した。参加者は47名であった。  ○若者資格取得事業補助金 若者の雇用の安定を図るため、就職等に有利となる資格を取得することを目的に受講した教育訓練の経費の一部を助成した。補助金実績 37,000円 (2件)  【当初予算における内容、計画】 当初予算額 3,552,000円 主な経費内訳 講師謝礼：3人 1,213千円 チラシ印刷 318千円 補助金 1,500千円  【過去2カ年度の実績】 女性の再就職支援 (セミナー参加者) 平成27年度 12名 障がい者雇用促進 (訪問事業所数) 平成26年度 10事業所 平成27年度 12事業所  【事業を取りまく状況等】 ・新たに始めた若者資格取得事業補助金について、より一層の活用を促すため、補助制度の周知に努める。 ・障がい者雇用に関し、平成30年4月より法定雇用率の算定基礎に新たに精神障がい者が加えられることとなったため、周知を図る必要がある。	143

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター補助金	13,284	中小企業で働く勤労者の福祉制度の充実を推進し、併せて中小企業の発展を図るため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターに対し、管理運営費の補助を行った。	143
4. 勤労者ふれあい事業	1,200	10月9日(日)県営サンアリーナにて、一般社団法人伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催で、福祉フェスティバル「勤労者ゆとりT・I・M・E you・ゆう・遊ing」を開催した。市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約25,000人の参加があり、ゆとりと豊かさの実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。	143
5. 高齢者労働能力活用事業費補助金	17,964	社会の高齢化が急速に進む中、高齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した公益社団法人伊勢市シルバー人材センターに対し、管理運営費の補助を行った。	143
6. サンライフ管理運営事業	13,240	勤労者の健康増進、体力及び教養文化の向上を図るため、会議室、体育室等の貸室、維持管理を行った。また、趣味づくり、健康づくり講座を開催した。平成18年9月から指定管理者による運営となっている。	143
7. 労働福祉会館管理運営事業	6,515	労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与するため、会議室の貸室、維持管理を行った。	143
8. 勤労者持家促進資金貸付金	2,190	東海労働金庫と協調し、市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入時に、その利子の軽減を実施することで勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。	143

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 2. 農業総務費

(単位 千円)

予算現額 136,738 千円  
 決算額 136,261 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	12		4	136,245

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢地域農業共済事務組合負担金	41,560	農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成7市町で負担した。	145

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費

(単位 千円)

予算現額 39,213 千円  
 決算額 33,623 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	26,524		567	6,532

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 農業近代化資金等利子補給補助金	590	地域農業の担い手として活躍が期待できる認定農業者を支援するため、その経営規模拡大等のため借り入れた資金の利子補給を行った。	145
2. 遊休農地活用事業	747	遊休農地の解消を図るため、地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、その再開に必要な草刈りや耕起など、営農可能な状態に回復するための支援を行った。	145
3. 新規就農者総合支援事業	14,250	経営の不安定な就農初期の青年就農者に対する給付金を給付し、青年就農者の増加及び就農後の定着を図った。	145
4. 農業経営法人化等支援事業	400	地域の中心となる経営体の育成確保のため、集落営農組織の法人化を支援した。	147
5. 農業振興地域整備促進経費	128	農業振興地域整備計画に基づき地域内の計画的土地利用を進める中、農業諸情勢の変化に対応して、地域の土地利用の動向、他の土地利用との調整を図り、地域の特性及び課題に応えるべく、農用地の見直しを行った。	147

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 農業振興補助金	182	農業が持続的に営まれることにより、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農村振興に資する取り組みを支援することで後継者の育成確保や生産活動強化を図った。	147
7. 経営所得安定対策 推進事業	6,153	意欲ある農業者が需要のある作物を生産することに対して交付金を交付することにより、農業経営の安定や農地の有効利用を図った。	147
8. <u>6次産業化推進事業</u>	1,040	<p>6次産業化による農業者の経営向上に関する取り組みの検討・推進を図った。また、6次産業化支援事業補助金を創設し、6次産業化に必要な機械の導入等について、支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化ステップアップ研修会等への参加</li> <li>・6次産業化支援事業補助金による支援</li> <li>・市と各種団体が共同で取り組む6次産品試作</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初予算額 2,080,000円</li> <li>・6次産業化支援事業補助金</li> <li>・市と各種団体が共同で取り組む6次産品試作の材料費</li> </ul> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成27年度 361,724円 平成26年度 102,126円</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化・地産地消法が創設され、国庫事業でも6次産業化の取り組みに対して支援され始めてきている。</li> <li>・6次産業化の主たる目的は農業者の所得向上であるが、観光、外食業など異業種と連携して特産物等の開発に繋がれば、地域の活性化にも期待できる。</li> </ul>	147
9. <u>農地中間管理事業</u>	6,216	<p>今後、農業者の減少により耕作者のいない農地の増加が見込まれるため、農地の中間受け皿となる農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化に対する周知・定着を図った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 33,091,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地中間管理事業業務</li> <li>・機構集積協力金</li> </ul> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成27年度 農地中間管理事業業務 218,150円 ※平成27年度開始事業のため平成26年度実績はなし。</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、農業者の高齢化や減少により耕作者のいない農地の増加が見込まれる。そこで、「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」と連携しつつ、担い手に農地を集積・集約し、耕作放棄地の発生防止や生産コストの低減を推進する必要がある。</li> </ul>	147

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
10. 農産物ブランド化 推進事業	1,067	市において振興を図っている農作物のブランド化を推進するために、生産量増加に必要な機械や販促資材等の導入を支援した。	147
11. <u>地産地消推進事業</u>	2,224	市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知するとともに、ブランド化を推進している農水産物の紹介パンフレットを作成し、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。 また、農産物直売所事業に対して消耗品や資材面で支援を行うことにより、地域農業における農村コミュニティの再構築や地域農業の維持発展を図った。 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 2,863,000円 ・地産地消認定委員会×2回 ・地産地消認定店PR資材・食材購入 ・地産地消認定店リフレット更新 ・学校給食における地元産食材の提供 ・市内産農水産物の紹介パンフレット作成 ・産直市・加工品試作支援  【過去2ヵ年度の実績】 平成27年度 445,297円 平成26年度 354,874円  【事業を取りまく状況等】 ・近年、消費者の食の安全・安心に関する意識が高まり、地域でとれた新鮮な農林水産物の需要も高まっている。 ・市内産の農林水産物の紹介や購入できる場所のPRを行い、消費や需要に繋げることにより一次産業者の所得向上が見込まれる。	147
12. 特色ある農産物づくり支援事業	250	有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。	147
13. 農業体験学習事業	377	食育推進の一環として、農業体験を含む食育の機会を設け、食の大切さ、食を育む産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。	147

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農業用施設管理費

(単位 千円)

予算現額 173,195 千円  
決算額 171,242 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	103,305		5,044	62,893

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 二見しょうぶロマンの森維持管理経費	7,479	指定管理者により伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設の管理運営を行った。 ・指定管理者 一般社団法人 民話の駅 蘇民 ・開館日数 359日 ・来客人数 150,146人	147

事業名	決算額	施策の成果	決算書
2. 伊勢市都市農山村 交流促進施設維持 管理経費	3,264	<p>横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者 横輪町活性化委員会</li> <li>・開館日数 264日</li> <li>・来客人数 8,814人</li> </ul>	<p style="text-align: right;">頁</p> <p style="text-align: center;">147</p>
3. 多面的機能支払交 付金事業	137,780	<p>農業者又は地域住民を含めた組織等で取り組む農用地、水路、農道等の地域資源の基礎的な保全活動や推進活動に対し支援を行う『農地維持支払交付金』と水路、農道等の施設の軽微な補修や農村環境保全活動等の取組みに対し支援を行う『資源向上支払交付金（共同活動）』と老朽化が進む農地周りの農業用排水路、農道等の施設の長寿命化のための補修・更新等の活動に対し支援を行う『資源向上支払交付金（施設の長寿命化）』を支払った。</p> <p>各交付金の詳細は以下のとおりである。</p> <p>◆農地維持支払交付金 実施地区 26組織（一色、西豊浜町森区、有滝、村松、柏、上地、栗野、鹿海、上野、円座、伊勢北部（植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松）、津村、楠部、佐八、中須、馬瀬、通、小俣、磯、二見町西、西豊浜町上区、東大淀、黒瀬、西豊浜町小川区、田尻町、小木町）</p> <p>実施面積 1,695.84 ha 支援金総額 48,742,616円 （伊勢市負担分12,185,654円） 負担割合 国50% 県25% 市25%</p> <p>◆資源向上支払交付金（共同活動） 実施地区 24組織（一色、西豊浜町森区、有滝、村松、柏、上地、栗野、鹿海、上野、円座、伊勢北部（植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松）、津村、楠部、佐八、中須、馬瀬、通、小俣、磯、二見町西、西豊浜町上区、東大淀、黒瀬、西豊浜町小川区）</p> <p>実施面積 1,651.44ha 支援金総額 28,275,492円 （伊勢市負担分 7,068,873円） 負担割合 国50% 県25% 市25%</p> <p>◆資源向上支払交付金（施設の長寿命化のための活動） 実施地区 18組織（一色、村松、柏、上地、栗野、上野、円座、伊勢北部（植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松）、津村、楠部、中須、馬瀬、小俣、磯、二見町西、西豊浜町上区、東大淀、黒瀬）</p> <p>実施面積 1,392.67ha 支援金総額 57,808,480円 （伊勢市負担分 14,452,120円） 負担割合 国50% 県25% 市25%</p>	<p style="text-align: center;">147</p>

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 5. 畜産業費

(単位 千円)

予算現額 3,392 千円  
 決算額 3,392 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,392

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 畜産振興事業	3,392	食内の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、伊勢市を含む主要株主により支援を行った。	147

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 6. 農地費

(単位 千円)

予算現額 330,188 千円  
 決算額 243,909 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	20,890	116,200	4,547	102,272

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 土地改良事業補助金	33,789	土地改良区等の実施する事業に対して市の基準による補助金を交付し、農業農村の基盤整備や農業経営の安定を図った。 交付件数・・・13件	149
2. 県営事業負担金	34,261	<p>県営かんがい排水事業負担金</p> <p>○宮川4工区                      事業期間 平成18年度～平成29年度                      事業内容 用水路工 517m、測量設計 一式                      用地補償 一式                      事業費 433,000千円                      負担区分                      ・幹線                      国50% 県25% 市町15% 宮川用水10%                      ・支線                      国50% 県25% 市町8.333% 宮川用水16.667%                      →伊勢市負担額 63,856,612円                      →うち現年26,059,980円 繰越37,796,632円</p> <p>○有爾中・明星地区                      事業期間 平成27年度～平成32年度                      事業内容 用水路工 2,060m、測量設計 一式                      用地補償 一式                      事業費 150,000千円                      負担区分 国55% 県25% 市町12.5% 宮川用水7.5%                      →受益面積割 伊勢市0.056%                      →伊勢市負担額 84,000円                      →うち現年17,920円 繰越66,080円</p>	149

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p>○田丸地区  事業期間 平成27年度～平成32年度  事業内容 用水路工 50m、測量設計 一式  事業費 15,000千円  負担区分 国55% 県25% 市町12.5% 宮川用水7.5%  →受益面積割 伊勢市7.215%  →伊勢市負担額 1,082,250円  →うち現年555,555円 繰越526,695円</p> <p>高度水利機能確保基盤整備事業負担金</p> <p>○小俣地区  事業期間 平成21年度～平成30年度  事業内容 用水路工 2,100m、測量設計 一式  用地補償 一式  事業費 150,000千円  負担区分 ・幹線  国55% 県27.5% 市10% 宮川用水7.5%  ・支線  国55% 県27.5% 市3.15% 小俣改14.35%  ・農道  国55% 県27.5% 市17.5%  →伊勢市負担額 4,725,000円  →うち現年819,000円 繰越3,906,000円</p> <p>○宮川左岸地区  事業期間 平成26年度～平成31年度  事業内容 用水路工 1,800m、測量設計 一式  用地補償 一式  事業費 480,000千円  負担区分 国55% 県27.5% 市町10% 地元7.5%  →受益面積割 伊勢市 幹線4.888%  支線1.8682%  →伊勢市負担額 22,340,382円  →うち現年 6,808,562円  繰越15,531,820円</p> <p>農業用施設アスベスト対策事業負担金</p> <p>○城田・下外城田地区  事業期間 平成26年度～平成31年度  事業内容 用水路工 4,700m、測量設計 一式  事業費 268,000千円  負担区分 国55% 県35% 市町5% 地元5%  →受益面積割 伊勢市2.426%  →伊勢市負担額 5,340,552円  →うち現年0円 繰越5,340,552円</p>	

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 県営かんがい排水 事業負担金	79,550	<p>県営かんがい排水事業負担金【H27繰越】</p> <p>○宮川4工区 事業期間 平成18年度～平成29年度 事業内容 用水路工 909m、測量設計 一式 用地補償 一式 事業費 834,000千円 負担区分 ・幹線 国50% 県25% 市町15% 宮川用水10% ・支線 国50% 県25% 市町8.333% 宮川用水16.667% →伊勢市負担額 118,557,752円 うちH27繰越 77,324,532円</p> <p>○有爾中・明星地区 事業期間 平成27年度～平成32年度 事業内容 測量設計 一式 事業費 19,000千円 負担区分 国55% 県25% 市町12.5% 宮川用水7.5% →受益面積割 伊勢市0.056% →伊勢市負担額 10,640円 うちH27繰越 5,919円</p> <p>高度水利機能確保基盤整備事業負担金【H27繰越】</p> <p>○宮川左岸地区 事業期間 平成26年度～平成31年度 事業内容 用水路工 1,745m、測量設計 一式 事業費 198,000千円 負担区分 国55% 県27.5% 市町10% 地元7.5% →受益面積割 伊勢市 幹線4.888% 支線1.8682% →伊勢市負担額 9,414,564円 →うちH27繰越 2,219,152円</p>	149
4. 経営体育成基盤整 備事業負担金	8,698	<p>高度水利機能確保基盤整備事業負担金【H27繰越】</p> <p>○小俣地区 事業期間 平成21年度～平成30年度 事業内容 用水路工 4,269m、測量設計 一式 事業費 209,500千円 負担区分 ・幹線 国55% 県27.5% 市10% 宮川用水7.5% ・支線 国55% 県27.5% 市3.15% 小俣改14.35% ・農道 国55% 県27.5% 市17.5% →伊勢市負担額 9,647,500円 うちH27繰越 8,697,500円</p>	149
5. 農道整備事業	8,726	<p>【市単独事業】 農道を整備することで、農道機能を保持し農村環境の整備を図った。 ・西豊浜町地内 西豊浜町農道舗装工事ほか3件</p>	149
6. 農業用排水路整備 事業	37,428	<p>【市単独事業】 農業用排水路を整備することで、排水路の機能回復と農村環境の整備を図った。 ・檜原町地内 檜原町排水路整備工事ほか4件</p>	149

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 農道整備事業	13,457	【補助事業】 農道を整備することで、農道機能を保持し農村環境の整備を図った。 ・東豊浜町地内 東豊浜町農道舗装工事ほか5件 ・移転補償1件 ◇農業基盤整備促進事業	149
8. 農業用排水路整備事業	11,924	【補助事業】 農業用排水路を整備することで、排水路の機能回復と農村環境の整備を図った。 ・円座町地内ほか 円座町ほか排水路整備工事ほか1件 ◇農業基盤整備促進事業	149
9. 農村地域防災減災事業	16,076	災害に強い農村づくりを進めるため、農業用ため池の耐震点検照査や実施計画書、ハザードマップ作成を行った。 ・津村町地内ほか ため池耐震点検照査業務委託ほか4件	149

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 7. 湛水防除事業費

(単位 千円)

予算現額 118,981 千円  
決算額 104,714 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	120		39,480	65,114

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水機等補修事業	46,231	排水機場の設備の定期的な整備補修、更新等を実施することにより、施設の機能保持を図り、流域への湛水による被害の未然防止を図ることを目的とする。  土地改良施設維持管理適正化事業で整備を実施 事業費の90%が交付金対象 (国：30%、県：30%、市：30%) 90%のうち市負担30%及び事務費2.5%を5年間で均等に三重県土地改良事業団体連合会へ拠出している。 (概要) 平成28年度現年分 東豊浜第二排水機場 設計業務 一式 1件 エンジン分解整備及び補機整備等 一式 1件  楠部第二排水機場 設計業務 一式 1件 主ポンプ用エンジン及び主ポンプの整備等 一式 1件  柏排水機場 設計業務 一式 1件 主ポンプ用エンジン整備及び水中ポンプ取替え等 一式 1件	149

維 持 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水機等補修事業	4,341	<p>排水機場の設備の定期的な整備補修、更新等を実施することにより、施設の機能保持を図り、流域への湛水による被害の未然防止を図ることを目的とする。</p> <p>土地改良施設維持管理適正化事業で整備を実施 事業費の90%が交付金対象 (国：30%、県：30%、市：30%) 90%のうち市負担30%及び事務費2.5%を5年間で均等に三重県土地改良事業団体連合会へ拠出している。 (概要) 平成27年度から一部繰越 村松排水機場 ポンプ設備整備等 一式 1件</p>	149

(款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 2. 林業振興費

(単位 千円)

予算現額 29,068 千円  
決算額 26,225 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	952		563	24,710

農 林 水 産 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 森林病虫害防除事業	3,506	<p>海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。 地上散布6.25ha 伐倒破砕36.4m<sup>3</sup> 下刈3.9ha</p>	151
2. 獣害防止事業	5,682	<p>増加傾向にある野生鳥獣による農作物等被害防止を目的に、伊勢市鳥獣被害防止対策協議会が実施する事業に対して負担金を支出し、集落を含む関係機関が一体となって鳥獣害防止総合対策事業に取り組んだ。 また、伊勢地区猟友会に有害獣(猪・鹿・猿)捕獲を委託し、農林作物及び生活環境等の被害軽減に努めた。</p>	151
3. 森林環境創造事業	659	<p>音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行っている。平成14年度からいせしま森林組合に委託しており、本年度は2.06ha実施した。</p>	151
4. 森林整備事業	1,107	<p>みえ森と緑の県民税市町交付金事業を活用して、松くい虫防除(樹幹注入)を実施し、暮らしに身近な森林づくりを行った。 樹幹注入 140本</p>	151

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 2. 水産振興費

(単位 千円)

予算現額 7,784 千円  
 決算額 7,291 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,600			4,691

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 種苗放流事業補助金	1,381	伊勢湾・宮川各漁業協同組合が実施するアサリ、クルマエビ、アユ等の種苗放流事業に対して支援し、資源の増大・確保と漁家経営の安定を図った。	151
2. 水産教室実施事業	106	水産業を将来就く職業の一つとして考えてもらうために、市立東大淀小学校5年生(22名)、宮山小学校5年生(42名)、佐八小学校5年生(13名)、早修小学校5年生(14人)に対して、漁業に関する講習を行い、体験実習・施設見学をしてもらうことで、漁村・漁業への興味の高揚を図った。	151
3. 干潟等保全活動支援事業	652	地区漁業者を中心とした干潟保全活動(伊勢干潟保全会・村松浅場保全会・豊北干潟保全会)に対しアサリ着底基盤材等の購入に係る費用を支援し干潟機能の回復と漁場環境の改善を図った。	151
4. 漁業近代化資金利子補給補助金	99	東日本大震災で被害を受けた漁業者の資金借りに生じる利子を補給し、復旧に必要な資金の借りに円滑化と漁業経営の再生を図った。	151
5. <u>水産振興事業</u>	5,052	<p>伊勢湾漁業協同組合の移動販売車導入に係る費用に補助することにより、市内及び県内で水揚げされた新鮮な水産物を地元消費者に直接届けるとともに水産物の知名度向上、漁業者の収入増を図った。</p> <p>交付金額 5,000,000円                      ※うち2,500,000円は県補助金                      販売箇所8箇所                      利用者数：約6,700人                      ※H28.7月～H29.3月までの9箇月間</p> <p>【当初予算における内容、計画】                      当初予算額 5,062,000円                      ※先進地視察に伴う旅費61,920円を含む</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】                      平成28年度開始事業のため過去2ヵ年度の実績はなし。</p> <p>【事業を取りまく状況等】                      ・地域へ新鮮な水産物を提供でき、漁業者の収入増にも繋がった。                      ・専属の職員1名が新規雇用された。</p>	151

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 3. 漁港管理費

(単位 千円)

予算現額 128,964 千円  
 決算額 84,141 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	28,120	17,500	14,121	24,400

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 水産物供給基盤機能保全事業	77,314	豊北漁港において機能保全計画に基づき老朽化した施設の保全工事を行った。 ・豊北漁港有滝物揚場保全工事 ほか3件 江漁港において機能保全計画を策定した。 ・江漁港機能保全計画書作成業務委託 松下漁港において保全工事に先立ち測量及び設計業務を行った。 また、航路及び泊地の浚渫を実施している。 ・松下漁港-1.5m物揚場測量業務委託ほか1件 ・松下漁港浚渫工事→平成29年度へ一部繰越	153

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 1. 商工総務費

(単位 千円)

予算現額 85,941 千円  
 決算額 84,711 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,709			80,002

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消費生活センター運営事業	8,541	架空請求や悪質商法、多重債務など消費生活に関するトラブルについて、専門相談員による相談を行った。また、被害を未然に防ぐため、紙芝居などを活用し、高齢者クラブを中心にわかりやすい出前講座を9回実施したほか、子どもの頃からの消費者教育の重要性を認識し、放課後児童クラブ等で4回出前授業を実施した。また、伊勢市消費生活センターの周知のため市内のイベントにブース出展した。 消費生活相談件数751件	153

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 2. 商工業振興費

(単位 千円)

予算現額 89,611 千円  
 決算額 78,442 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	599		1,890	75,953

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小規模事業資金保証料補給補助金	5,970	伊勢商工会議所または小俣町商工会の斡旋により三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金または小規模借換資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行った。 (補助件数：195件)	153
2. 中小企業経営力強化資金利子補給補助金	936	中小企業・小規模企業の事業発展を促し、地域経済の活性化を図るため、新規開業及び異分野の中小企業と連携した新事業分野の開拓や第二創業などを行う中小企業・小規模企業が、日本政策金融公庫(国民生活事業)の中小企業経営力強化資金の融資を受けた場合に、その融資にかかる利息の一部の補給補助を行った。(補助件数：14件)	153

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 経営改善普及事業	18,955	<p>地域経済を支える中小企業・小規模企業の経営改善及び経営基盤の強化を支援するため、また、中小企業等への相談や指導の充実化を図るため、伊勢中小企業相談所（伊勢商工会議所内）及び小俣町商工会が行う経営指導事業や専門家派遣事業等に要する経費に対して補助金を交付し、中小企業の振興に寄与した。</p> <p>経営改善普及事業補助金 補助件数 2件            専門家派遣事業補助金 補助件数 2件</p>	153
4. 商店街等振興対策事業	6,990	<p>地域のコミュニティの担い手としての役割が期待されている中心市街地商店街等の活性化を図るために、商店街空店舗対策事業、商店街活性化対策事業、商店街PR支援事業を実施した。</p> <p>(1) 商店街空店舗対策事業 補助件数 8件            中心市街地商店街の空店舗の解消を図るため、伊勢まちづくり株式会社が実施する空店舗対策事業に補助金を交付した。</p> <p>(2) 商店街活性化対策事業 補助件数 3件            中心市街地商店街等の集客力及び機能回復を図るために、伊勢商工会議所が実施する商業まちづくり補助金事業に対して補助金を交付した。</p> <p>(3) 商店街PR支援事業 補助件数 1件            商店街の空店舗の解消や活性化を図るため、伊勢まちづくり株式会社が行う商店街の広報に対して補助金を交付した。</p>	153
5. 住宅・店舗リフォーム等促進事業補助金	12,000	<p>市内住宅関連産業の振興を促し、地域経済の活性化を図るために、住宅や店舗のリフォーム等を行う者に対し、補助金を交付した。(補助件数：129件)</p>	153
6. 地域産品販売促進事業	1,949	<p>伊勢の食材や特産品など地域資源の販路拡大や全国における認知度の向上を図るため、首都圏や大都市圏において、物産展や食材のPRを行った。</p> <p>また、伊勢市内の中小企業者の販路拡大及び新規需要開拓を促進するため、商談会や見本市等に出展する中小企業者に対して補助金を交付した。</p> <p>○物産展・食材PR 計10回            (県外6回、県内4回)            ○商談会等出展支援事業補助金 補助件数10件</p>	153
7. 商業活性化推進事業	3,159	<p>伊勢市内の商業振興を図るため、地域住民や観光客のニーズに応えた商業環境の整備やにぎわいの創出に新たに取り組む商業団体等に対して事業費の一部を補助する商業魅力アップ支援事業補助金を実施した。 補助件数 5件</p>	155

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
8. <u>全国菓子大博覧会・三重開催支援事業</u>	25,009	<p>平成29年に「第27回全国菓子大博覧会・三重」が伊勢市で開催されることから、菓子産業等の振興発展・地域経済の活性化等が期待できるため、全国菓子大博覧会・三重実行委員会に対し負担金を支出した。実行委員会に職員4名が駐在し、市としても物産展や各種イベントで周知するなどの広報活動を行った。また、博覧会開催の機運を高めるとともに市内の菓子産業振興のためお菓子パンフレットの作成等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催支援負担金 15,000,000円</li> <li>・実行委員会への駐在職員 4名</li> <li>・広報用物品の作成</li> <li>・物産展等でのPR 15回</li> <li>・その他の取組み</li> </ul> <p>お菓子パンフレットの作成（市内菓子店舗の紹介） 50,000部 スタンプラリー実施に向けた準備 スタンプラリー台紙の作成 30,000枚</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 34,092,000円 実行委員会へ駐在の嘱託職員を2名雇用 物産展等によるPR、懸垂幕作成 菓子パンフレットの作成、スタンプラリーの実施</p> <p>【過去1年間の実績】（平成26年度 予算無し）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催支援負担金 15,000,000円</li> <li>・実行委員会への駐在職員 1名</li> </ul> <p>【事業を取りまく状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年の伊勢志摩サミットの開催につづき、第27回全国菓子大博覧会・三重が伊勢市で開催されることに伴い伊勢市への注目度や認知度が高まった。</li> <li>・市内の菓子店舗を紹介するパンフレットを作成・配布したことにより、市内のお菓子を知っていただく機会が増えた。</li> </ul>	155

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>9. <u>クレジットカード決済機器導入促進事業</u></p>	<p>264</p>	<p>平成28年5月の伊勢志摩サミット開催に伴い、国内外からの観光客の来勢が見込まれる。観光客や外国人観光客は現金を持たず、クレジットカード決済で行うことが多いが、観光地等でクレジットカード決済ができる店舗が少ないことから、来勢する観光客の利便性の向上と伊勢の商業環境の近代化を図るため、クレジットカード決済機器を導入する者に対し整備費用の補助を行った。</p> <p>補助金件数 8件 補助金額 264,164円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 3,000,000円 補助率 10/10 上限50,000円 50,000円×60件</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成28年度 新規事業のため、過去2カ年の実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日外国人受け入れに関するアンケート（714件調査・回答率12%）によるとクレジットカード決済を「導入してみたい」との回答が9%あり、全調査件数から推計すると64件の潜在的な需要があると考えていたが、申請件数は8件であった。</li> <li>・クレジットカード会社2社に伊勢市における平成28年4月から平成29年1月までのクレジットカード決済機器の新規設置台数を聞き取ったところ45台であった。</li> <li>・新規設置台数に対して申請件数が少なかったことの原因として、補助対象となる経費をクレジットカード決済機器導入に必要となるインターネット回線整備費用（契約料及び工事費）と機器への接続工事費としていたが、それらの費用がかからず導入できる事業者がいたことが考えられる。</li> <li>・事業の周知は、広報いせ、市ホームページで行ったほか、伊勢商工会議所、小俣町商工会、伊勢市観光協会から会員へのFAX等での周知（4月、5月、9月）、商店街等への周知（9月）を行った。</li> </ul>	<p>155</p>

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
10. <u>皇學館大学地域連携拠点整備事業</u>	1,770	<p>市、伊勢商工会議所、皇學館大学が連携し、中心市街地及び商店街の賑わい、地域の活性化を図るため、宇治山田駅ショッピングセンター内の空テナントを借り上げ、皇學館大学生の地域における活動拠点を整備した。市は拠点の管理・運営を行う伊勢商工会議所に、拠点整備に係る費用の一部を補助した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 1,770,000円 ・店舗改装費 1,000,000円 ・店舗賃料 50,000円×11月 ・管理費 20,000円×11月</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成28年度 新規事業のため、過去2カ年の実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・当初は明倫商店街での拠点整備を予定していたが、学生が集まりやすいようより宇治山田駅に近い宇治山田駅ショッピングセンターの空きテナントへ拠点整備することとなった。 ・拠点の整備箇所が当初計画から変更になったことに伴い、拠点の開設も遅れることとなった。 ・今後は、皇學館大学生による拠点の管理体制を整え、拠点を活用した地域の活性化策について、大学生と地元住民、市、伊勢商工会議所と共に検討していく。</p>	155
11. タウンマネージャー設置支援事業	1,440	<p>伊勢市中心市街地活性化基本計画に掲げた事業を推進するため、まちづくり等に関する専門的知見や経験を有し、関係者との連携・調整を図りながら中心市街地の活性化に資する業務に取り組むことのできるタウンマネージャーの設置に対し伊勢商工会議所に補助金を交付した。</p>	155

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 3. 産業支援推進費

(単位 千円)

予算現額 239,491 千円  
決算額 234,951 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			17,064	217,887

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. ものづくり推進事業	2,894	<p>中小製造業者等が行う新製品・新技術の研究開発に対し、「新産業創出支援事業補助金」を、伝統工芸品産業の再生と後継者育成に繋がる事業に対し、「伝統工芸品等再生支援事業補助金」を交付した。</p> <p>また、三重県信用保証協会の保証を得て創業・再挑戦アシスト資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行った。(補助件数: 53件)</p> <p>平成27年度から地域経済の活性化と雇用の場の創出に資するため、伊勢市創業支援事業計画に基づき、創業支援事業者が実施する事業経費の一部を補助し、創業環境を整え創業支援体制の強化を図った。(補助件数: 1件 伊勢商工会議所)</p>	155

事業名	決算額	施策の成果	決算書
2. 企業立地推進一般経費	2,656	企業誘致用地の維持管理、及び企業誘致のための担当者の資質向上に努めた。	155
3. 企業立地推進事業	129,033	産業の振興、雇用の創出を図るべく、企業立地に向け、誘致活動や、市内企業への情報収集、企業立地用地の整備などを実施した。	155
4. 工場等誘致奨励事業	37,621	「伊勢市工場等立地促進条例」に基づき、奨励金を交付した。 奨励金実績 37,620,600円(11件)	155
5. 産業支援センター管理運営経費	46,195	平成24年度から、専門性を向上させ効率的・効果的に業務を進めるため、指定管理制度を導入した。指定管理者(伊勢商工会議所)は施設の管理運営と企業訪問による課題の聴き取り及び解決、起業家育成、各種講習会の開催などに取り組んだ。	155

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 1. 観光総務費

(単位 千円)

予算現額 292,640 千円  
 決算額 283,658 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			8,286	275,372

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 海水浴場管理運営事業	6,803	二見浦海水浴場の施設維持管理及び開設に伴う管理委託等を行った。 ・開設期間 : 平成28年7月9日～8月28日 ・海水浴客数(延べ) : 8,540人	155
2. バリアフリー観光向上事業	3,372	・伊勢おもてなしヘルパー事業 伊勢神宮内宮の参拝時の移動に不安、不自由のある方が安心して参拝できる仕組みを確立するため、関係団体と協議を重ねるとともに必要となる経費の負担を行った。 ・バリアフリー観光情報発信事業 平成26年度に作成したバリアフリー情報ウェブサイトに掲載している店舗情報の更新と、新規店舗の追加を行うとともに、ウェブ上で快適に伊勢市内のバリアフリー情報を得られるようウェブ環境の整備等にかかった経費の一部を負担した。	157
3. おもてなし推進事業	6,326	観光地としての質の向上を図ることを目的に、観光客をもてなすための各種事業を実施した。 【平成28年度の実績】 ・「伊勢っ子」育て事業 観光客のお出迎え活動の練習会を1回、お出迎え活動を4回実施 ・案内サイン整備事業 設置工事6件、撤去工事2件実施 ・伊勢市観光協会協働事業 観光客を対象としたイベントや観光客に携わる方を対象とした研修など4事業を実施 ・伊勢元気再生事業 外宮周辺魅力創出・発信事業、夜の魅力創出事業を実施 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 7,324,000円 「伊勢っ子」育て事業、案内サイン整備事業、伊勢市観光協会協働事業、伊勢元気再生事業 【過去2カ年度の実績】 平成27年度 3,515,134円 平成26年度 31,923,080円 【事業を取りまく状況等】 全国高等学校総合体育大会、三重とこわか国体などが予定されており、多くの方が伊勢へ訪れることが想定される。	157

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 案内ガイド連携事業	400	「案内人の質の向上」「情報共有」「一体感の醸成」を目的とした市内の観光案内ガイド団体の連絡協議会「伊勢たびナビの会」に事務局として参画し、運営を行った。 市内の受入体制の充実を図るために、観光案内時の災害対応に関する研修会の開催及び市内周遊マップの増刷・市内観光案内所等での配布を行った。	157
5. <u>外国人観光客受入 強化事業</u>	14,848	平成28年5月に伊勢志摩サミットが開催されたことにより、今後さらなる増加が予想される外国人観光客を受け入れるための環境整備等を行った。  【平成28年度の実績】 決算額 14,847,733円（繰越含む） ・伊勢志摩サミットインフォメーションの設置への協力 ・観光案内所の外国人観光客受け入れ体制強化 ・観光事業者等アンケートの実施 ・外国人観光客実態調査の実施 ・多言語まちあるきマップの作成 等  【当初予算における内容、計画】 当初予算額 15,832,000円 ・観光案内所管理運営委託 （外国人観光客受け入れ体制強化分） ・多言語まちあるきマップの作成 ・多言語まちあるきホームページの作成  繰越予算額 1,200,000円 ・サミットインフォメーション誘導看板整備  【過去2カ年度の実績】 平成27年度 2,869,393円 （平成27年度から事業開始） ・観光案内所の外国人観光客受け入れ体制強化 ・観光事業者等アンケートの実施 ・観光案内所の表示改善 ・7か国8言語マップ作成 等  【事業を取りまく状況等】 現在、国をあげて外国人観光客誘致促進に取り組んでいる。伊勢志摩サミットの効果もあり、観光事業者の関心も高い中、誘客促進とあわせて外国人観光客の受け入れ環境整備が求められている。	157
6. 案内所管理運営経費	32,332	（公社）伊勢市観光協会に業務を委託し、伊勢市駅・宇治山田駅・二見浦・外宮前・宇治浦田の各観光案内所で観光客の案内を行った。また、伊勢市駅手荷物預かり所にて、荷物の一時預かりや宿泊施設等への配送サービスを行った。	157
7. 観光協会負担金	5,265	広く市内観光産業の活性化を図れるよう（公社）伊勢市観光協会の財政基盤の安定を図った。	157
8. 観光振興基本計画 推進事業	4,192	観光客実態調査を実施し、伊勢市の観光の実態を把握した。また、その調査結果等に基づき観光振興基本計画の推進状況について振り返りを行った。	157

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. 旅客受入基盤整備 事業	5,900	観光客の市内周遊性の向上、公共交通機関の利用促進を図るため、三重交通（株）と協働で、市内観光周遊バス「参宮バス」（スカイラインルート）の運行を行った。	157

### 二見総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 賓日館管理運営事 業	11,155	<p>国指定重要文化財である賓日館の運営及び維持管理を、「NPO法人 二見浦・賓日館の会」を指定管理者とすることで、地域の雇用を創出するとともに、随時イベント等を開催し、文化水準及びまちづくり意識の向上を図り、よりの多くの集客に繋げた。また、施設の適正な管理を行い、維持向上に努めた。</p> <p>○入館者数 H28年度 33,218人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災保険料 49千円</li> <li>・指定管理委託料 7,300千円</li> <li>・AED・駐車場用地賃借料 1,660千円</li> <li>・賓日館照明設備更新工事 1,253千円</li> <li>・賓日館駐車場柵工事 91千円</li> <li>・駐車場内看板作成 44千円</li> <li>・小破修繕 97千円</li> </ul> <p>(文化振興課にて執行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕料 661千円</li> </ul>	155

### (款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 2. 旅客誘致費

(単位 千円)

予算現額 250,688 千円  
決算額 237,722 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			4,990	232,732

### 観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光情報発信事業	2,668	日本版DMO組織の代表である伊勢まちづくり（株）と市が締結した協定のうち、「商品企画・販売」の強化等を目的として、電子クーポンシステムの導入及び運用に関する支援を行った。	157
2. 広域連携事業	1,233	(一財)伊勢志摩国立公園協会、伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会、国立公園関係都市協議会に参画し、広域での連携を図った。	157

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. スポーツ誘客推進 事業	22,641	平成29年8月4日から9日に開催される第46回全国自治体職員サッカー選手権大会の効率的な運営のため、第45回大会開催地である鹿児島市の現地視察を行った。 また、市内において開催された集大会・スポーツ合宿等に補助金を交付し、スポーツ観光による誘客を行った。 ・申請件数 : 102件 ・宿泊者数(延べ) : 25,215人	157
4. 観光客受入環境創 出事業	3,777	観光客誘致を広域的かつ効果的・効率的に行うため、県内外の関係機関との連携を強化するとともに、(公社)伊勢市観光協会と協働で観光客を対象としたイベント等を実施した。	157
5. 花火大会開催負担 金	46,500	伊勢神宮奉納全国花火大会委員会へ参画し、事務局として準備等を行い、第64回大会を開催した。 本大会は日本三大競技花火大会として44業者の花火師が参加。打上花火の部44組、スターマインの部10組の2部門で競われた。また、歌手の「相川七瀬」氏が神宮に奉納された楽曲や伊勢志摩サミット公認サポーターで歌手の「平井堅」氏が制作されたサミット応援ソングに合わせたスターマインなど約1万発を打ち上げ、約23万人が観覧した。 ・開催日 : 平成28年7月16日(土) ・会場 : 宮川河川敷	157
6. お伊勢さんマラソ ン開催負担金	19,471	集客による伊勢市への経済波及効果を図るため、全国規模の大会である「野口みずき杯伊勢志摩国立公園指定70周年記念2016中日三重お伊勢さんマラソン」を開催した。全国各地から多数の参加者が伊勢を訪れた。 ・開催日 : 平成28年12月3日(土) ウォークの部、バリアフリーラン 平成28年12月4日(日) ランニングの部 ・会場 : 県営サンアリーナ周辺 ・参加者数 : 11,498人(一般の部両日合計)	157

観光誘客課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光情報発信事業	86,518	<p>誘客宣伝を目的に、新聞・雑誌等への広告出稿や、パンフレット、ホームページ等を活用した情報発信を行い、来訪者の新規開拓、リピーターの確保を図った。 また、公共交通機関とのタイアップによる誘客キャンペーン、首都圏や大阪、九州でのPR等を実施した。 ※平成27年度から御遷宮誘客宣伝事業を観光情報発信事業に集約</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 111,275,000円 ・各種広告事業(雑誌・テレビ等) ・パンフレット・ホームページ等での情報発信 ・タイアップキャンペーン、協働PR等</p> <p>【平成28年度の実績】 ・新聞や雑誌等への広告記事の掲載による情報発信 ・駅貼りポスター等での誘客宣伝及び公共交通利用促進 ・デジタルメディアを活用したタクシー車内等での広告 ・放送メディアを活用した情報発信 ・インターネットを活用した情報発信 ホームページアクセス数 1,382,767件 フェイスブック「いいね」数 約2,400件 ・パンフレット等作成による情報発信及び誘客活動 パンフレット発送数 1,218件 ・関係団体との協働によるPRキャラバン ・長距離バス、路線バス等への広告掲載 ・新観光プログラム「常若婚」の展開</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成27年度 82,298,850円 平成26年度 55,564,356円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・一部の事業について、平成27年度は国の消費喚起型交付金、先行型交付金を財源としていたが、平成28年度は一般財源により実施した。 ・今後の方向性として、広報媒体のアナログからデジタルへの移行を検討する時期となっている。</p>	157
2. 広域連携事業	7,590	伊勢熊野観光連絡協議会、(公社)三重県観光連盟、(一財)伊勢志摩国立公園協会 伊勢志摩国立公園指定70周年事業実行委員会等に参画し、事業展開を図った。	157
3. ターゲット戦略推進事業	3,780	(株)観光販売システムズに業務を委託し、伊勢の観光資源を活用した旅行商品の開発等、伊勢への誘客を積極的に推進した。	157
4. 伊勢志摩広域観光活性化事業	14,136	伊勢志摩観光の誘客宣伝・地域づくり活動のために、伊勢志摩観光振興プランの推進及び伊勢志摩キャンペーン事業等を実施した。	157

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. <u>外国人観光客誘致 推進事業</u>	27,247	<p>経済の成長力と来日規模から注目される中国・東アジア・東南アジアからの誘客について、協議会等を通じて他地域と連携しつつ、伊勢の文化に興味のある欧米諸国などについては、市単独で伊勢の知名度向上を目指した情報発信に取り組んだ。</p> <p><b>【当初予算における内容、計画】</b>            当初予算額 30,288,000円            ・広域連携協議会等協働事業            ・外国人短期留学生招聘及び情報発信事業            ・ジャパン・ハウスPR事業            ・マップ情報発信事業 等</p> <p><b>【平成28年度の実績】</b>            ・東海地区外国人観光客誘致促進協議会へ参画、昇龍道プロジェクト推進協議会の台湾PR事業へ参画。            ・伊勢志摩鳥羽インバウンド協議会へ参画し、伊勢志摩地域でビジットジャパン事業を実施。            ・イギリスのロンドン市内のイベント施設においてPRイベントを実施。            ・アメリカ合衆国のロサンゼルス市において次年度のPR事業に向けた調査を実施。            ・動画広告Web配信事業にて、イギリスをターゲットに伊勢市の動画広告をYouTubeで配信。            ・外客誘客調査事業にて、日系人社会への情報発信の可能性の調査を実施。            ・外国人短期留学生招聘及び情報発信事業にて、伊勢の学習と情報発信を促進。            ・長期滞在外国人観光客向けマップ作成事業にて、東京を起点として日本に長期滞在する外国人観光客の伊勢旅行用マップを作成し、観光案内施設等への配置を依頼。            マップ作成部数 10,000部</p> <p><b>【過去2カ年度の実績】</b>            平成27年度 8,992,619円            平成26年度 10,376,290円</p> <p><b>【事業を取りまく状況等】</b>            ・伊勢志摩サミット開催を契機とした誘客へのプラスの効果を持続させるため、継続して情報発信に取り組む必要がある。            ・国をあげてインバウンドと地方創生に取り組む中、インバウンドを切り口として、地方創生を推進していく必要がある。            ・受入環境整備と誘客促進を共に進める必要がある。</p>	157
6. スポーツ誘客推進 事業	2,160	<p>伊勢フットボールヴィレッジを全国的にPRし、市外からの利用者及びリピーターを確保するための業務を委託し、スポーツ観光誘客を行った。</p>	157

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 3. 伝統文化推進費

(単位 千円)

予算現額 5,000 千円  
 決算額 5,000 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				5,000

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢のまつりブランド化推進事業	5,000	平成28年10月15日に外宮周辺にて、日本全国の有名な祭り19団体約600名による響演「祭のまつり」を開催し、14日のサンアリーナにおける前夜祭とあわせて、多数の観客が訪れた。 ・開催日 : 平成28年10月14日(金) 15日(土) ・観客数(延べ) : 108,500人	157

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 4. 伝統文化継承費

(単位 千円)

予算現額 32,600 千円  
 決算額 31,211 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,200	30,011

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 民俗伝統行事継承事業	31,211	「お木曳行事」、「お白石持行事」の保存継承及び神宮を核とした伊勢の情報発信を行うため、第63回神宮式年遷宮に向けた事業計画に基づき、「内宮ご鎮座二〇二〇年奉祝行事」、次世代継承、誘客PRなどの事業を実施した。	157

(款) 9. 土木費 (項) 1. 土木管理費 (目) 1. 土木総務費

(単位 千円)

予算現額 457,120 千円  
 決算額 448,808 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	26,721			422,087

用地課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地籍調査推進事業	39,386	国土調査法に基づく地籍調査について、調査区域を定め、調査区域内の地籍（地番・所有者・地積・地目・境界）の整備に努めた。 (概要) 地籍調査業務 一式 8件 ○調査区域（業務内容） ①八日市場町・宮町1丁目（閲覧） 調査面積 0.07 k m <sup>2</sup> ②東豊浜町・檜原町（閲覧） 調査面積 0.18 k m <sup>2</sup> ③有滝町（調査） 調査面積 0.16 k m <sup>2</sup> ④宮町1丁目・大世古1丁目・曾祢1丁目 一之木1丁目・常磐2、3丁目・浦口2、3丁目（調査） 調査面積 0.13 k m <sup>2</sup> ⑤有滝町（測量） 調査面積 0.16 k m <sup>2</sup> ⑥宮町1丁目・大世古1丁目・曾祢1丁目 一之木1丁目・常磐2、3丁目・浦口2、3丁目（測量） 調査面積 0.13 k m <sup>2</sup> ⑦宮川1、2丁目・中島1丁目・常磐1丁目 浦口1丁目・御菌町高向（素図作成） 調査面積 0.23 k m <sup>2</sup> ⑧有滝町（素図作成） 調査面積 0.31 k m <sup>2</sup> システム保守業務 一式 1件	159

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 1. 道路橋梁総務費

(単位 千円)

予算現額 159,216 千円  
 決算額 154,070 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,260				152,810

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路管理経費	14,068	<p>適切な道路管理を行うため、道路の拡幅及び道路用地の寄附採納を行った。また、道路事業等に伴う市道の認定、改良等に基づき、道路台帳の修正業務を行った。</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路台帳修正                             <ul style="list-style-type: none"> <li>供用開始 (新規認定) 1. 9 km</li> <li>供用開始 (認定済) 0. 2 km</li> <li>供用開始 (区域変更) 0. 5 km</li> <li>未供用 (新規認定) 0. 1 km</li> <li>廃止 0. 7 km</li> <li>改良 6. 9 km</li> </ul> </li> </ul>	159

用地課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路管理経費	2,707	<p>狭あい道路の解消を図るため、建築行為等に際して、道路後退用地の寄附採納を行い、安心安全で快適なまちづくりを進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>公共用地の取得 (寄附) 6件</p> <p>○後退用地等に係る報償金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>申請者数 3名</li> <li>筆数 4筆</li> <li>面積 54.91㎡</li> <li>金額 1,129,072円</li> </ul> <p>○後退用地等に係る助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>申請者数 6名</li> <li>筆数 7筆</li> <li>面積 101.59㎡</li> <li>金額 868,220円</li> </ul>	159

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 2. 道路維持費

(単位 千円)

予算現額 590,144 千円  
 決算額 491,622 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
105,263		93,700	63,526	229,133

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路舗装事業 (防災交付金)	56,728	道路の路面を改良することにより、道路機能の回復、通行の安全確保、生活基盤及び生活環境の向上を図っている。 (概要) 道路舗装 A = 3,779㎡ 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業	161
2. 道路維持補修経費 (防災・安全交付金)	150,315	道路交通の安全性を確保する上で、現状の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の要否の判断を行い、計画的な修繕を実施することにより、道路施設の長寿命化及びそれに伴うコスト削減を図っている。 (概要) ①平成28年度現年分 調査業務 一式 4件 道路舗装 A = 9,049㎡ 3件 トンネル修繕 一式 1件 ②平成29年度へ一部繰越 トンネル修繕 一式 1件 ③平成29年度へ繰越 道路舗装 A = 2,213㎡ 3件 ◇社会資本整備総合交付金事業	161

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路舗装事業	143,220	道路路面の舗装が荒廃し、通行に支障がある箇所の舗装整備を行った。 (概要) ①平成28年度現年分 道路舗装 A = 5,722㎡ 4件 ②平成27年度から一部繰越 道路舗装 A = 18,138㎡ 2件	161

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 3. 道路新設改良費

(単位 千円)

予算現額 678,899 千円  
 決算額 577,319 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		426,900	66,211	84,208

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁																																																																														
1. <u>道路改良事業</u>	158,079	<p>市民生活に密着した道路の拡幅等改良を行うことにより道路機能の改善、生活環境基盤の整備を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成28年度現年分</p> <table> <tr><td>測量業務</td><td>一式</td><td>6件</td></tr> <tr><td>除草業務</td><td>一式</td><td>2件</td></tr> <tr><td>予備設計業務</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>詳細設計業務</td><td>一式</td><td>2件</td></tr> <tr><td>道路改良</td><td>L=323m</td><td>6件</td></tr> <tr><td>道路施設整備</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>用地</td><td>A=86.11m<sup>2</sup></td><td></td></tr> <tr><td>補償</td><td>4名(延べ人数)</td><td></td></tr> </table> <p>②平成27年度から一部繰越</p> <table> <tr><td>人道ボックス修繕</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>道路舗装</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>道路改修</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> </table> <p>③平成27年度から繰越</p> <table> <tr><td>詳細設計業務</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>道路施設整備</td><td>一式</td><td>2件</td></tr> </table> <p>【当初予算における内容・計画】</p> <p>当初予算額 425,302,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>測量業務 一式</li> <li>除草業務 一式</li> <li>建物調査業務 一式</li> <li>工作物調査業務 一式</li> <li>境界杭設置業務 一式</li> <li>詳細設計業務 一式</li> <li>概略詳細設計業務 一式</li> <li>道路改良 一式</li> <li>用地 一式</li> <li>補償 一式</li> </ul> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成27年度 115,359,132円</p> <p>①平成27年度現年分</p> <table> <tr><td>測量業務</td><td>一式</td><td>4件</td></tr> <tr><td>除草業務</td><td>一式</td><td>2件</td></tr> <tr><td>測量設計業務</td><td>一式</td><td>2件</td></tr> <tr><td>建物調査再算定業務</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>予備設計業務・検討業務</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>境界杭設置業務</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>道路改良</td><td>L=95m</td><td>4件</td></tr> <tr><td>道路舗装</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>用地</td><td>A=1,168.97m<sup>2</sup></td><td></td></tr> <tr><td>補償</td><td>4名(延べ人数)</td><td></td></tr> </table> <p>②平成28年度へ一部繰越</p> <table> <tr><td>人道ボックス修繕</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>道路舗装</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>道路改修</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> </table>	測量業務	一式	6件	除草業務	一式	2件	予備設計業務	一式	1件	詳細設計業務	一式	2件	道路改良	L=323m	6件	道路施設整備	一式	1件	用地	A=86.11m <sup>2</sup>		補償	4名(延べ人数)		人道ボックス修繕	一式	1件	道路舗装	一式	1件	道路改修	一式	1件	詳細設計業務	一式	1件	道路施設整備	一式	2件	測量業務	一式	4件	除草業務	一式	2件	測量設計業務	一式	2件	建物調査再算定業務	一式	1件	予備設計業務・検討業務	一式	1件	境界杭設置業務	一式	1件	道路改良	L=95m	4件	道路舗装	一式	1件	用地	A=1,168.97m <sup>2</sup>		補償	4名(延べ人数)		人道ボックス修繕	一式	1件	道路舗装	一式	1件	道路改修	一式	1件	161
測量業務	一式	6件																																																																															
除草業務	一式	2件																																																																															
予備設計業務	一式	1件																																																																															
詳細設計業務	一式	2件																																																																															
道路改良	L=323m	6件																																																																															
道路施設整備	一式	1件																																																																															
用地	A=86.11m <sup>2</sup>																																																																																
補償	4名(延べ人数)																																																																																
人道ボックス修繕	一式	1件																																																																															
道路舗装	一式	1件																																																																															
道路改修	一式	1件																																																																															
詳細設計業務	一式	1件																																																																															
道路施設整備	一式	2件																																																																															
測量業務	一式	4件																																																																															
除草業務	一式	2件																																																																															
測量設計業務	一式	2件																																																																															
建物調査再算定業務	一式	1件																																																																															
予備設計業務・検討業務	一式	1件																																																																															
境界杭設置業務	一式	1件																																																																															
道路改良	L=95m	4件																																																																															
道路舗装	一式	1件																																																																															
用地	A=1,168.97m <sup>2</sup>																																																																																
補償	4名(延べ人数)																																																																																
人道ボックス修繕	一式	1件																																																																															
道路舗装	一式	1件																																																																															
道路改修	一式	1件																																																																															

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		③平成28年度～繰越 詳細設計業務 一式 1件 道路施設整備 一式 2件 平成26年度 120,523,874円 測量業務 一式 2件 詳細設計業務 一式 1件 建物調査再算定業務 一式 1件 道路改良 L=780m 5件 用地 A=209.21m <sup>2</sup> 補償 5名(延べ人数)  <b>【事業を取りまく状況等】</b> ・生活道路空間に対する安全性、快適性、防災など市民ニーズが多様化している中、限られた財源をより有効で効果的かつ効果的に事業を推進していく必要がある。	

### 維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路側溝等改良事業	419,240	市民生活に密接した道路側溝等の整備を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を図った。 (概要) 測量設計業務等 一式 22件 道路改良 L=6,922m 38件	161

### (款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 4. 橋梁維持費

(単位 千円)

予算現額 59,856 千円  
 決算額 51,228 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
26,093		11,300		13,835

### 基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 橋梁長寿命化事業(防災・安全交付金)	50,352	道路交通の安全性を確保する上で、これまでの破損してから修繕するという事後的な対応から、計画的かつ予防的な対応に転換し、コスト削減を図るため、橋梁長寿命化事業を推進している。 (概要) ①平成28年度現年分 点検業務 一式 2件 立会業務 一式 1件 橋梁補修 一式 3件 ②平成29年度～繰越 点検業務 一式 1件 橋梁補修 一式 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業	161

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 5. 交通安全施設費

(単位 千円)

予算現額 44,885 千円  
 決算額 44,245 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				44,245

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 交通安全施設整備事業	16,366	交通安全施設を新たに設置し、交通事故防止、交通安全環境の確保を図った。 (概要) 道路反射鏡設置及び区画線設置等 一式	161

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 6. 道路整備事業費

(単位 千円)

予算現額 106,165 千円  
 決算額 100,077 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
32,944		57,700		9,433

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中村楠部17-1号線整備事業(交付金)	13,171	当該地域は、来訪者交通による渋滞が深刻であり、早急な対応が必要である。このことから、地域住民や来訪者交通の円滑化を図るとともに、災害時における避難ルートを確保するため、本路線の事業を推進している。 (概要) 用地 A = 315.07 m <sup>2</sup> ◇社会資本整備総合交付金事業	163
2. 一之木5丁目16号線整備事業(交付金)	996	当該地域は、道路網が未整備な上、伊勢赤十字病院や商業施設への交通によって、慢性的な渋滞が発生し、一般車両のみならず救急車両のアクセスも悪い状況である。このことから、来訪者や救急車両の交通の円滑化を図り、快適かつ安全安心なまちづくりを行うため、本路線の事業を推進している。 (概要) 建物調査業務 一式 1件	163

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁																								
3. <u>宇治山田駅周辺道路整備事業（交付金）</u>	4,877	<p>宇治山田駅への送迎車両が通行する狭隘な路線について、道路を拡幅することで、安全性・利便性を向上させ駅利用者の増加を図るため、事業を推進している。</p> <p>（概要）</p> <table border="0"> <tr> <td>測量業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>【当初予算における内容・計画】</p> <p>当初予算額 10,100,000円</p> <table border="0"> <tr> <td>・測量業務</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>・詳細設計業務</td> <td>一式</td> </tr> </table> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成27年度 実績なし 平成26年度 実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国からの予算が要望どおり配分されず財源の確保が厳しい状況にある。</li> <li>・平成29年度から用地交渉に着手し、地域住民や関係機関と調整を図りながら事業を進めていく。</li> </ul>	測量業務	一式	1件	設計業務	一式	1件	・測量業務	一式	・詳細設計業務	一式	163														
測量業務	一式	1件																									
設計業務	一式	1件																									
・測量業務	一式																										
・詳細設計業務	一式																										
4. 通学路整備事業	81,032	<p>小学校の通学路における緊急合同点検での要対策箇所をはじめ、通学路の対策を重点的に実施することで危険箇所の解消を図り、安全安心な歩行者空間を確保するため、事業を推進している。</p> <p>（概要）</p> <table border="0"> <tr> <td>測量業務</td> <td>一式</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>予備設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>詳細設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>地質調査業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>道路改良</td> <td>L = 343m</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>道路舗装</td> <td>A = 1,840㎡</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>区画線等設置</td> <td>一式</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>補償</td> <td>2名（延べ人数）</td> <td></td> </tr> </table> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	測量業務	一式	2件	予備設計業務	一式	1件	詳細設計業務	一式	1件	地質調査業務	一式	1件	道路改良	L = 343m	1件	道路舗装	A = 1,840㎡	1件	区画線等設置	一式	2件	補償	2名（延べ人数）		163
測量業務	一式	2件																									
予備設計業務	一式	1件																									
詳細設計業務	一式	1件																									
地質調査業務	一式	1件																									
道路改良	L = 343m	1件																									
道路舗装	A = 1,840㎡	1件																									
区画線等設置	一式	2件																									
補償	2名（延べ人数）																										

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 3. 河川改良費

(単位 千円)

予算現額 106,308 千円  
 決算額 106,084 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			62,765	43,319

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 河川改良事業	106,084	流下断面の不足や護岸、河床の浸食等により人家等への災害発生が危惧される河川において、河川拡幅や護岸改良を行い、浸水被害や災害の防止対策を進めている。 (概要) ①平成28年度現年分 測量設計業務 一式 2件 河川改良 L=328m 1件 量水標設置 5か所 1件 補償 3名(延べ人数) ②平成27年度から一部繰越 河川改良 L=67m 1件	163

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 4. 排水路維持費

(単位 千円)

予算現額 124,439 千円  
 決算額 116,404 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				116,404

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水機場維持管理経費(ポンプ場機能更新)	10,615	都市ポンプ場の機能診断結果に基づき長期補修計画を作成した。この計画に基づき都市ポンプ場の予防保全及び機能更新を行うことで、効率的かつ効果的なポンプ場の運用ができる。 (概要) 施設整備更新詳細設計業務 一式 1件 (ポンプ場 2機場、ポンプ施設 2施設)	163

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 5. 排水路整備費

(単位 千円)

予算現額 164,367 千円  
 決算額 150,700 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		119,900	4,235	26,565

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水施設整備事業	150,700	豪雨時の急激な増水等による浸水を防止するため、排水路の整備を進めている。また、自然排水が困難な地域においては、ポンプ場の新設・増設等を行うことで、浸水被害の防止対策を進めている。 (概要) ①平成28年度現年分 測量設計業務 一式 2件 基本設計業務 一式 3件 詳細設計業務 一式 1件 予備設計業務 一式 1件 修正設計業務 一式 1件 排水路改良 L=228m 4件 試掘工 2か所 1件 ②平成27年度から一部繰越 排水路改良 L=342m 1件 ③平成27年度から繰越 補償 2名(延べ人数)	163

(款) 9. 土木費 (項) 4. 港湾海岸費 (目) 1. 港湾海岸費

(単位 千円)

予算現額 28,037 千円  
 決算額 23,013 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,329	12,300	460	5,924

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	13,000	三重県が施行した港湾改修事業に対し、負担を行った。 (宇治山田港【大湊】) (宇治山田港【今一色】)	165

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 2. まちづくり推進費

(単位 千円)

予算現額 105,820 千円  
 決算額 105,547 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
29,591				75,956

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>中心市街地再生事業(交付金)</u>	89,410	<p>急速な人口減少と少子高齢化などの影響により、市街地の低密度化が進み、中心市街地の都市機能が低下している。そのため、多くの人にとって安全で快適に暮らせるまちづくりを実現することで、中心市街地の再生と活性化を図る。</p> <p>平成28年度は、伊勢市駅前地区の市街地再開発事業等を推進するため、A地区(三交百貨店跡地)に対し、優良建築物等整備事業により引続き支援を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>平成28年度 89,410,482円                      (住環境整備交付金) 89,410,482円                      補助金 一式 1件</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業                      【当初予算における内容、計画】                      (住環境整備交付金)                      当初予算額 167,000,000円                      工事 一式 1件                      補助金 一式 2件</p> <p>【過去2カ年度の実績】                      平成27年度 54,336,830円                      (市街地整備交付金) 3,923,640円                      まちづくり活動支援事業 一式 3件                      事後評価業務 一式 1件                      通行量調査業務 一式 1件                      (住環境整備交付金) 50,413,190円                      計画策定業務 一式 1件                      詳細設計業務 一式 1件                      補助金 一式 2件</p> <p>平成26年度 6,844,723円                      (市街地整備交付金) 1,187,683円                      まちづくり活動支援事業 一式 3件                      (住環境整備交付金) 5,657,040円                      計画策定業務 一式 1件                      測量業務 一式 1件</p> <p>【事業を取りまく状況等】                      住環境整備交付金により平成27年度から支援を行ってきた民間都市開発が完成したことにより、伊勢市駅前地区の賑わいが取り戻されつつあるが、更なる中心市街地の再生と活性化を図ることが求められているため、新たな民間都市開発に対しても、補助金等による公的支援を行い、事業の促進を図っていく必要がある。</p>	165

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 中心市街地都市機能再生促進事業	11,180	都市機能再生事業にて施行された施設に対し、「伊勢市中心市街地都市機能再生促進条例」に基づき都市機能再生奨励金の交付を行うことで、事業効果を一層促進させ、伊勢市駅前周辺の活性化を図る。 平成28年度は、都市機能再生奨励金として、2件の交付を行った。  (概要) 平成28年度 11,179,800円 都市機能再生奨励金 一式 2件	165
3. 立地適正化計画推進事業	4,957	人口減少・少子高齢化社会といった都市をめぐる環境が大きく変化する中、将来多くの人にとって利便性が高く、暮らしやすい良好なまちづくりに向け、立地適正化計画の策定を行っている。 平成28年度は、伊勢市立地適正化計画の計画案の作成を行っている。 (概要) (平成28年度～平成29年度)債務負担行為 平成28年度 4,957,200円 (集約都市形成支援事業補助金) 伊勢市立地適正化計画策定業務委託 一式	165

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 5. 街路事業費

(単位 千円)

予算現額 258,740 千円  
決算額 219,274 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,682		163,200	32,810	16,582

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	2,258	三重県が施行した街路整備事業に対し、負担を行った。 (外宮度会橋線【伊勢南島線】)	167

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 八日市場高向線ほか1線(2工区)整備事業(交付金)	65	八日市場高向線ほか1線は、市内の幹線道路として、災害時の円滑な通行可能路線に位置づけるなど、防災機能の強化、都市内交通の円滑化並びに市街地の活性化を目的として整備を進めている。 (概要) 除草業務 一式 1件	167

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 本町大湊線改良事業（交付金）	15,167	伊勢市駅と外宮をつなぐ外宮参道と交差する本路線は、電線類が景観を阻害しており、また地震による電柱の倒壊などの被害が懸念される。このため、電線類を地中化することにより、都市景観の向上と災害に強いまちづくりを進めている。 （概要） 共同溝整備 一式 1件 補償 2名（延べ人数） ◇社会資本整備総合交付金事業	167
3. 伊勢市駅北口線交通広場等整備事業	4,883	伊勢市駅北口線交通広場とそれに連なる街路整備を行い交通結節点の機能を充実させることによって、利用者の利便性の向上を図っている。 （概要） 予備設計業務 一式 1件	167
4. <u>高向小俣線整備事業</u>	31,440	現在の宮川橋は、老朽化が著しい状況であるが、橋梁の設置位置の問題から現位置での架替えが困難であるため、代替機能を持つ本路線の整備が必要である。宮川に新たに橋梁を架設し、交通の円滑化及び道路環境改善を図るため整備を進めている。（平成26・27年度事業名：高向小俣線調査事業） （概要） ①平成28年度現年分 予備設計検討業務 一式 2件 ②平成27年度から繰越 予備設計業務 一式 1件  【当初予算における内容・計画】 当初予算額 52,426,000円 ・詳細設計業務 一式 ・地質調査業務 一式 ・模型実験水理解析 一式  【過去2ヵ年度の実績】 平成27年度 7,459,560円 ・測量業務 一式 1件 ・予備設計業務 一式 1件 ・地質調査業務 一式 1件 平成26年度 13,237,560円 ・測量業務 一式 1件 ・水理解析業務 一式 1件  【事業を取りまく状況等】 ・道路、橋梁の詳細設計にあたっては、模型実験を行い橋梁の安全性や橋梁の河川への影響について協議するとともに近接するJRとも協議を行い進めていく。 ・大規模な事業である本路線には多大な事業費が必要であるが、国からの予算が要望どおり配分されず財源の確保が厳しい状況である。	167

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁																																				
5. <u>五十鈴川駅前広場 整備事業</u>	165,461	<p>近鉄五十鈴川駅は、神宮（内宮）の最寄り駅であることから、年間を通して多くの観光客が利用しているとともに、県営陸上競技場や県営サンアリーナなどの公共施設利用者も多く乗降している。しかし、現在の駅前広場は、施設等の老朽化が著しいことから誰もが利用しやすい広場となるよう、再整備を行った。</p> <p>（概要）</p> <p>①平成28年度現年分</p> <table border="0"> <tr> <td>広場整備</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>照明灯等設置</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>植栽整備</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>②平成27年度から繰越</p> <table border="0"> <tr> <td>路面清掃業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>植栽整備</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>【当初予算における内容・計画】</p> <p>当初予算額 185,814,000円</p> <table border="0"> <tr> <td>・広場整備</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・広場照明灯設置</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・広場駐輪場整備</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・広場天蓋施設設置</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> </table> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成27年度 18,758,520円</p> <table border="0"> <tr> <td>・測量業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・詳細設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・舗装工</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>平成26年度 実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備事業は平成28年度で完成した。</li> </ul>	広場整備	一式	1件	照明灯等設置	一式	1件	植栽整備	一式	1件	路面清掃業務	一式	1件	植栽整備	一式	1件	・広場整備	一式		・広場照明灯設置	一式		・広場駐輪場整備	一式		・広場天蓋施設設置	一式		・測量業務	一式	1件	・詳細設計業務	一式	1件	・舗装工	一式	1件	167
広場整備	一式	1件																																					
照明灯等設置	一式	1件																																					
植栽整備	一式	1件																																					
路面清掃業務	一式	1件																																					
植栽整備	一式	1件																																					
・広場整備	一式																																						
・広場照明灯設置	一式																																						
・広場駐輪場整備	一式																																						
・広場天蓋施設設置	一式																																						
・測量業務	一式	1件																																					
・詳細設計業務	一式	1件																																					
・舗装工	一式	1件																																					

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 6. 公園費

(単位 千円)

予算現額 69,244 千円  
 決算額 64,483 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
14,500		27,100		22,883

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁						
1. 公園整備事業（交付金）	27,618	<p>都市公園における総合的な安全・安心対策事業を計画的に実施し、子供や高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を行った。</p> <p>（概要）</p> <table border="0"> <tr> <td>便所改築工事設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>便所改築工事</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	便所改築工事設計業務	一式	1件	便所改築工事	一式	1件	167
便所改築工事設計業務	一式	1件							
便所改築工事	一式	1件							
2. 宮川河川敷公園整備事業	17,172	<p>国土交通省の宮川床上浸水対策特別緊急事業において整備された高水敷を有効利用し、憩いやスポーツレクリエーションの場としてスポーツ施設や多目的広場等の整備を進めている。</p> <p>（概要）</p> <table border="0"> <tr> <td>予備設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table>	予備設計業務	一式	1件	167			
予備設計業務	一式	1件							

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 宮川右岸河川敷公園（仮称）整備事業	4,180	国土交通省の宮川右岸堤防改修工事とあわせて宮川堤公園の一部（東詰広場）のリニューアルなど、桜の名所としてふさわしい、憩いやコミュニティ活動場として活用できる公園の整備を進めている。 （概要） 基本構想業務 一式 1件 予備設計業務 一式 1件	169
4. 公園長寿命化事業（交付金）	15,514	公園施設の安全・安心を確保しつつ、重点的・効率的な維持管理や更新投資を行っていくため、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の長寿命化を図っている。本年度は、4公園の遊具の更新を行った。 （概要） 公園改修工 一式 4件  ◇社会資本整備総合交付金事業	169

(款) 9. 土木費 (項) 6. 住宅費 (目) 1. 住宅管理費

(単位 千円)

予算現額 223,693 千円  
決算額 191,534 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,076			121,761	53,697

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公営住宅維持管理経費	95,999	平成24年10月より指定管理者による市営住宅の管理を開始し、単身高齢者等の定期巡回や、休日・夜間も含め、迅速な対応が可能となり、入居者サービスの向上に繋がった。また、住宅の調査等も定期的に行い、効率的かつ経済的な管理運営を行った。  指定管理者：FE住宅管理共同企業体 期 間：平成24年10月1日 ～平成29年3月31日 期間全体の 指定管理料：357,178,255円	169
2. 住宅等改修事業	22,084	市営住宅の機能保持と安全性確保のため、下記の工事を実施した。 （概要） 側溝及び排水柵改修 一式 1件 空家解体 一式 2件 ・横世古団地 ・やすらぎ団地	169
3. 住宅等整備事業	47,690	平成28年度に策定した「社会資本総合整備計画（地域住宅計画）」及び「伊勢市営住宅等長寿命化計画」に基づき、市営住宅の機能改善のため、下記の工事等を実施した。 また、老朽化した市営住宅の入居者に対して、他の市営住宅等への移転交渉を行い、入居者の安全確保に努めた。 （概要） 屋上防水改修等 一式 1件 屋根改修 一式 1件 老朽化市営住宅移転促進事業補償費 一式 2件	169

(款) 9. 土木費 (項) 6. 住宅費 (目) 2. 住宅対策費

(単位 千円)

予算現額 44,078 千円  
 決算額 31,472 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,518	7,368			13,586

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁																								
1. 住宅・建築物耐震 改修等促進事業	31,398	<p>阪神・淡路大震災で昭和56年の建築基準法の新耐震基準施行前に建築された木造住宅が多数倒壊したことを教訓に、南海トラフ地震による木造住宅の倒壊からの被害を最小限にするため、木造住宅の無料耐震診断を実施した。</p> <p>その結果、「倒壊の危険性が高い」と診断された木造住宅を対象として、耐震補強工事等に要した費用に対する一部補助を行った。</p> <p>さらに、伊勢市建築物耐震改修促進計画の改定により、第1次緊急輸送道路沿道の旧耐震基準の建築物の耐震診断を義務化したことに伴う耐震診断に要した費用に対する補助を行った。</p> <p>また、地震等の災害から市民の生命、身体及び財産を保護し、災害に強いまちづくりを推進するため、市内に存する危険なブロック塀等の撤去に要した費用に対する一部補助を行った。</p> <p>(概要)</p> <table border="0"> <tr> <td>・木造住宅耐震診断等業務</td> <td>一式</td> <td>80件</td> </tr> <tr> <td>・補助金</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>    耐震補強設計</td> <td>一式</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>    耐震補強工事</td> <td>一式</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>    除却工事</td> <td>一式</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td>    リフォーム工事</td> <td>一式</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>    ブロック塀等撤去費</td> <td>一式</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>    避難路沿道建築物耐震診断</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table>	・木造住宅耐震診断等業務	一式	80件	・補助金			耐震補強設計	一式	8件	耐震補強工事	一式	12件	除却工事	一式	39件	リフォーム工事	一式	12件	ブロック塀等撤去費	一式	9件	避難路沿道建築物耐震診断	一式	1件	169
・木造住宅耐震診断等業務	一式	80件																									
・補助金																											
耐震補強設計	一式	8件																									
耐震補強工事	一式	12件																									
除却工事	一式	39件																									
リフォーム工事	一式	12件																									
ブロック塀等撤去費	一式	9件																									
避難路沿道建築物耐震診断	一式	1件																									
2. <u>空家等対策事業</u>	74	<p>「空家等対策の推進に関する特別措置法」の施行に伴い、空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、空家等対策協議会を設置し、空家等対策計画を策定した。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成28年度現年分                  移住促進対策空家改修支援事業案内チラシ作成</p> <p>②平成29年度へ繰越                  伊勢市空家等対策計画策定業務委託 一式</p> <p>【当初予算における内容・計画】                  当初予算額 11,852,000円                  ・移住促進対策空家改修支援事業案内チラシ作成                  ・空家等対策計画策定業務委託 一式                  ・移住促進対策空家改修支援事業費補助金 2件</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】                  平成27年度 18,740,000円                  ・空家等実態調査業務委託 一式                  ・移住促進のための空き家リノベーション支援事業費補助金 1件                  平成26年度 実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】                  市内の空家は年々増加している状況にあり、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることから、空家等に関する対策を早急に計画し取り組む必要がある。</p>	169																								

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 1. 常備消防費

(単位 千円)

予算現額 1,959,839 千円  
 決算額 1,938,803 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			386,076	1,552,727

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 応急手当普及啓発事業	1,291	「いつでも・どこでも・誰でも」応急手当が可能となるよう、自動体外式除細動器 (AED) の取り扱いを含めた講習を行い、市民への普及を図った。  救命講習に係る消耗品 1,291千円 【実績】 平成28年度救命講習実施回数 124回 受講延人数 4,094人	171
2. 各種資機材購入経費	7,673	救急・救助・警防活動に必要な資機材の充実を図った。  軽量消防用ホース 70本 2,684千円 各署所配備 防火外套 13組 2,036千円 職員貸与補充 空気呼吸器用調整器 9台 1,468千円 各署所配備 携帯警報機 11台 416千円ほか 各署所配備	171

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 2. 非常備消防費

(単位 千円)

予算現額 119,236 千円  
 決算額 112,702 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		15,400	12,110	85,192

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種資機材購入経費	2,533	消防活動の円滑な遂行のため各種資機材を購入した。  D-1級可搬式ポンプ式 1台 1,188千円 消防団本部配備 消防団用ホース 24本 677千円ほか 各分団配備	171

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 小型動力ポンプ付積載車購入事業	19,888	消防団車両更新計画に基づき老朽化した小型動力ポンプ付積載車2台・小型動力ポンプ付軽積載車1台を更新した。  小型動力ポンプ付積載車 2台 中島分団配備 上野分団横輪班配備 小型動力ポンプ付軽積載車 1台 四郷分団一宇田班配備  19,764千円ほか	171

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 3. 消防施設費

(単位 千円)

予算現額 62,493 千円  
決算額 58,232 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,145	6,100	307	43,680

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消火栓新設負担金	6,988	市内の水道管布設工事に併せ消火栓の不足地域に消火栓を設置し、消防水利の普及を図った。  単口消火栓 8基 6,988千円	173
2. 消防水利施設整備経費	6,624	消火活動を円滑にするため消防水利の明示化を図り、また、老朽化した消防水利の改修を行った。  防火井戸埋設工事 3,128千円 消防水利蓋改修工事 2,270千円 消防水利溶着塗装工事 756千円ほか	173
3. 消防署庁舎改修経費	6,185	各消防署庁舎の機能維持と長寿命化を目的とし、各施設を改修した。  伊勢市コミュニティ消防センター空調機改修工事 2,635千円 消防署西分署車庫天井等改修工事 2,394千円 消防署小俣分署ホース乾燥施設改修工事 1,156千円	173
4. 消防団車庫建替事業	14,815	防災拠点である、消防団車庫を老朽化のため建替えし、消防力の向上を図った。  消防団北浜分団有滝班車庫新築工事 14,730千円ほか	173

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 5. 災害対策費

(単位 千円)

予算現額 887,504 千円  
 決算額 788,309 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
318,900	12,094	283,700	17,120	156,495

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 自主防災隊補助事業	16,421	伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、自主防災隊及び自治会の行う防災事業・活動に対し補助を行った。 自主防災隊訓練助成金 2,880千円 96件 防災補助金 13,541千円 119件	173
2. 地域防災力向上支援事業	5,274	①自治会、自主防災隊、企業及び小中学校等からの要請に応じ、防災講習や防災訓練を実施した。 ②住民主体で行うタウンウォッチングの説明会を行い、住民同士が危険箇所や避難経路等の情報共有を行うため、防災情報を記載した防災マップを作成した。 ③地震発生時に家具の転倒による死傷者を出さないために、高齢者等を対象に家具固定事業を実施した。 ④地域の自主防災組織活動の中心的役割を担うリーダーの育成を図るため、研修会を開催した。	173
3. 避難対策事業	6,159	①大規模災害時に市役所機能が低下した中であっても、効果的に業務を実施するための伊勢市業務継続計画（BCP）を作成するとともに、そのマネジメント（BCM）の構築を行った。 ②プロジェクト型災害対策本部体制の習熟度を上げ、防災センターでの災害対策業務を経験することを目的として、図上訓練を実施した。（参加職員162名） ③二見地区において、地域が主体となった津波避難訓練を実施した。（参加者1,626名）	175
4. <u>防災センター運営事業</u>	11,140	市民が防災センター内の体験学習室で様々な災害体験をすることにより、また、イベント等を通じて、防災に関する知識の普及や防災意識の高揚を図った。 ①年間利用者 18,054人 ②主なイベント 消防・防災フェスタ、夏休み防災図書館 【当初予算における内容、計画】 年間利用者目標 4,000人 【過去2カ年度の実績】 平成28年度からの新規事業 【事業を取りまく状況等】 南海トラフ地震の発生が危惧されており、災害に負けないまちづくりを目指すためには、市民一人ひとりが災害に備える「自助」や、地域で災害に備える「共助」の取組みに対する啓発の強化を図る必要がある。	175
5. 備蓄物資整備事業	28,614	伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき非常用食料等を購入・更新し、物資及び資機材の整備を行った。 備蓄物資・資機材購入 26,315千円 防災倉庫等改修 2,299千円	175

防災施設整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
<p>1. <u>避難所等整備事業</u></p>	<p>626,329</p>	<p>○津波からの避難困難地に対する緊急避難所として、津波避難施設等の整備を実施した。</p> <p>①平成28年度現年分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村松町津波避難施設 照明設置工事</li> <li>・磯町津波避難施設 マウンド整備工事（継続費）</li> <li>・東豊浜町津波避難施設 用地買戻し・地質調査・建築設計</li> <li>・二見町今一色津波避難施設 地質調査・建築設計</li> <li>・その他避難所の整備 避難所看板</li> </ul> <p>②平成27年度から一部繰越</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二見町西津波避難施設 用地造成工事</li> </ul> <p>③平成27年度から繰越</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・磯町津波避難施設 マウンド上屋建築工事</li> <li>・二見町西津波避難施設 建築工事・防火水槽設置工事・舗装工事・監理業務</li> </ul> <p>【当初予算における計画、内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村松町津波避難施設 照明設置工事</li> <li>・磯町津波避難施設 マウンド整備工事（継続費）</li> <li>・東豊浜町津波避難施設 用地買戻し・地質調査・建築設計</li> <li>・二見町今一色津波避難施設 地質調査・建築設計</li> <li>・その他避難所の整備 避難所看板</li> </ul> <p>【過去2ヵ年の実績】</p> <p>平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大湊町津波避難施設 舗装工事・防火水槽設置工事</li> <li>・一色町津波避難施設 用地造成工事・建築工事</li> <li>・有滝町津波避難施設 建築工事</li> <li>・磯町津波避難施設 用地買戻し・マウンド設計 ・マウンド整備工事（継続費）</li> <li>・二見町西津波避難施設 用地買戻し・用地造成設計・解体工事 ・用地造成工事・建築設計</li> <li>・東豊浜町津波避難施設 用地測量</li> <li>・二見町今一色津波避難施設 用地測量</li> <li>・その他避難所の整備 外付階段設置 避難看板設置 地震自動解錠付防災ボックス設置</li> </ul>	<p>頁</p> <p>175</p>

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		平成26年度 津波避難施設整備 371,909千円 ・村松町津波避難施設 屋根設置設計・屋根設置工事 ・大湊町津波避難施設 建築工事 ・一色町津波避難施設 用地造成工事・建築設計 ・有滝町津波避難施設 用地造成工事・建築設計 ・磯町津波避難施設 用地測量・地質調査・マウンド設計 ・二見町西津波避難施設 用地測量・地質調査・用地造成設計 ・その他避難所の整備 外付階段設置 避難看板設置 小学校屋上フェンス設置 地震自動解錠付防災ボックス設置 伊勢市津波対策事業検討業務委託 (危機管理課分) 7,307千円 戸別受信機設置 178か所 (危機管理課分) 7,531千円 観光客避難所誘導看板設置 16基 (観光振興課分) 5,559千円  <b>【事業を取りまく状況等】</b> ・発生が危惧されている南海トラフ巨大地震等の災害から 市民の生命を守るため、津波避難施設等の整備が急務 である。	

### 市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 災害ボランティア支援事業	950	市と市社会福祉協議会が関係団体などと協働して運営する市災害ボランティアセンターに関して、有事の際に円滑な対応ができるよう、各種の取り組みを行った(市社会福祉協議会への負担金により実施)。	175

### 高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 災害時要援護者対策事業	436	災害時に、自分自身や家族の支援だけでは避難することが困難な方が迅速・安全に避難支援等が受けられる体制を整えるため、対象者に対し、災害時要援護者への登録を促るとともに、災害時要援護者支援ネットワーク代表者会議を開催して制度の推進を図った。 登録者(平成29年3月31日時点) 2,747人	175

監 理 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 避難対策事業	6,229	<p>土砂災害防止法に基づき、三重県が土砂災害（特別）警戒区域に指定した地域において、住民の生命、財産を守るため、土砂災害ハザードマップを作成し、住民に配布することで避難に関する周知を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>土砂災害ハザードマップ作成業務 一式 1件 土砂災害ハザードマップ印刷業務 2件</p> <p>《整備地域》 小俣町新村地内 (H28. 4. 22区域指定 (三重県)) 伊勢市宇治今在家町高麗広地内 (H28. 10. 28区域指定 (三重県))</p>	175

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 2. 事務局費

(単位 千円)

予算現額 754,904 千円  
 決算額 736,229 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
18,823			7,596	709,810

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 通学安全対策事業	28,463	<p>主要地方道伊勢南島線を通学路としている宮川中学校の生徒の通学上の安全を確保するためにスクールバスを運行した。</p> <p>また、公共交通機関がなく、徒歩での通学が不可能な高麗広地区の児童・生徒については、教育研究所の不登校対策事業とあわせ市のマイクロバスを送迎利用し、児童生徒の通学上の安全確保及び保護者の負担軽減を図った。</p> <p>さらに、遠距離通学等の児童の通学上の安全確保と保護者負担の軽減を図るため、通学定期代金の全額を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宮川中学校スクールバス運行業務委託 23,924千円</li> <li>遠距離通学等定期代助成 4,536千円</li> </ul>	177
2. 私立学校等振興助成事業	74,864	<p>○私立幼稚園就園奨励費補助金(国の補助事業)                      国の基準に基づき、私立幼稚園に在園する市内在住園児の保護者に対して世帯の所得状況に応じて入園料及び保育料の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助金支給者数 : 472人</li> <li>補助金支給額 : 61,420千円</li> </ul> <p>○私立幼稚園及び私立認定こども園保育料補助金                      市内の私立幼稚園及び私立認定こども園に在園する市内在住の4歳～5歳児の保護者に対し、保育料の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助金支給者数 : 622人</li> <li>補助金支給額 : 3,110千円</li> </ul> <p>○幼児教育育成補助金                      市内私立幼稚園及び私立認定こども園の幼稚園経営の健全化を図るため、幼稚園の運営費に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助金支給額 : 10,334千円</li> </ul>	177

## 学校統合推進室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小中学校適正規模化・適正配置推進事業	1,262	<p>小中学校の適正規模化・適正配置を推進するため、第1期に統合予定の小中学校において、保護者や地域住民に対する説明会や統合準備会の開催、統合する学校間の事前交流等を行った。</p> <p>また、伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画(案)の見直しに係る検討会を設置し、計画見直しを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合準備会だよりの発行 200千円</li> <li>・行事用バス借上、施設使用 831千円</li> <li>・検討会報償費、お茶代 153千円</li> <li>・印刷用消耗品費等 78千円</li> </ul>	177
2. <u>統合校開校準備経費</u>	24,575	<p>宮川中学校・沼木中学校統合校である伊勢宮川中学校と二見小学校・今一色小学校統合校である二見浦小学校の平成29年4月開校に伴い、統合対象校の閉校及び統合校開校に向け準備を行った。</p> <p>二見浦小学校開校に伴い、新たに運行を開始するスクールバスの発着場とするため、今一色小学校プールを解体し、整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・閉校式用及び統合校用等消耗品等 714千円</li> <li>・校舎完成及び開校式パンフレット等印刷 470千円</li> <li>・二見浦小学校開校に伴う各種修繕 899千円</li> <li>・二見小学校・今一色小学校引越業務委託 934千円</li> <li>・学校統合に伴うピアノ等移設業務委託 253千円</li> <li>・二見浦小学校校旗等備品購入費 843千円</li> <li>・閉校記念行事負担金(4校分) 3,991千円</li> <li>・伊勢宮川中学校部活動負担金 2,669千円</li> <li>・今一色小学校プール解体工事 6,443千円</li> <li>・今一色小学校プール跡地舗装工事 7,160千円</li> <li>・今一色小学校プール跡地外灯等設置 199千円</li> </ul> <p>【当初予算等における内容、計画】</p> <p>当初予算額 11,104千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式典用、統合用消耗品費 581千円</li> <li>・開校記念誌等印刷製本費 368千円</li> <li>・引越し等業務委託 1,630千円</li> <li>・統合校備品購入費 1,606千円</li> <li>・閉校記念行事負担金(4校分) 4,250千円</li> <li>・伊勢宮川中学校部活動負担金 2,669千円</li> </ul> <p>9月補正予算額 15,700千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今一色小学校プール解体及び舗装工事</li> </ul> <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成28年度新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の適正規模化・適正配置に取り組むなかで、初めての統合校2校が平成29年4月に開校を迎えた。平成31年4月には、豊浜中学校・北浜中学校統合校である桜浜中学校が開校予定である。</li> </ul>	177

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校行事開催事業	5,583	<p>子どもたちが音楽や美術・科学等に触れる機会を支援し、また、成果を発表する場を設けることにより、児童生徒の学習意欲を高めるとともに豊かな感性を養った。</p> <p>○科学創作展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容 : 児童生徒の科学的な作品や創意工夫した創作的な作品を展示し、一般に公開した。</li> <li>・委託先 : 伊勢市科学創作教育振興会</li> <li>・開催日 : 平成28年9月3日・4日</li> <li>・開催場所 : 伊勢市生涯学習センター いせトピア</li> <li>・委託料 : 218,141円</li> </ul> <p>○教育美術展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容 : 児童生徒の絵画、工作、書写作品を展示し、一般に公開した。</li> <li>・委託先 : 伊勢市教育美術展運営委員会</li> <li>・開催日 : 平成28年12月3日・4日</li> <li>・開催場所 : ハートプラザみその</li> <li>・委託料 : 256,052円</li> </ul> <p>○伊勢市中学校連合音楽演劇発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容 : 児童生徒による合唱・吹奏楽・太鼓の演奏会が行われた。</li> <li>・委託先 : 伊勢市中学校連合音楽演劇発表会</li> <li>・開催日 : 平成28年11月11日</li> <li>・開催場所 : 伊勢市観光文化会館</li> <li>・委託料 : 2,204,986円</li> </ul> <p>○伊勢まつり「小学生連合鼓笛隊パレード」「中学生吹奏楽」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容 : 平成28年10月8日・9日伊勢まつりで行なわれる予定であった、小学生による鼓笛パレード及び中学生による吹奏楽は、雨天のため中止となった。 なお、進修小学校による宇治地区鼓笛パレードは無事行われた。</li> <li>・委託先 : 伊勢まつり鼓笛・イベント実行委員会</li> <li>・開催日 : 平成28年10月17日</li> <li>・開催場所 : 進修小学校からおほらい町</li> <li>・委託料 : 1,421,420円</li> </ul> <p>○伊勢市小学生演劇鑑賞運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容 : 小学校24校6年生児童全員を対象に劇団四季の鑑賞会を行った。</li> <li>・委託先 : 伊勢市小学生演劇鑑賞運営委員会</li> <li>・開催日 : 平成28年10月6日</li> <li>・開催場所 : 伊勢市観光文化会館</li> <li>・委託料 : 1,482,775円</li> </ul>	175

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 学校教育支援事業	114,410	<p>地域人材や学生を、学習支援員・教育支援ボランティア・学校安全ボランティアとして活用することで、学習環境の整備に努め、個に応じたきめ細かな支援や指導を行い、特別支援教育の充実や確かな学力の定着を図った。ひいては、地域社会の学校教育への理解と協力を求め、開かれた学校づくりを推進した。</p> <p><b>【学習支援員】</b>  ○配置および活動状況（平成29年3月31日現在）  小学校18校 51人　うち2人複数校勤務  中学校11校 20人　うち1人複数校勤務</p> <p><b>【教育支援ボランティア】</b>  ○登録者数 162人（平成29年3月31日現在）  ○活動人数 149人（平成29年3月31日現在）  内訳（学習支援96人、学校図書館支援8人、部活動支援8人、保育活動補助30人、日本語指導4人、心の支援1人、その他2人）  ○活動回数 4,196回  他に皇學館大学生等の大学生も活動。</p> <p><b>【学校安全ボランティア】</b>  ○登録者数 658人  （小学校23校、中学校1校：各校区で随時活動）</p>	177
3. 就学指導委員会経費	147	<p>次年度就学予定児及び小中学校に在籍する児童生徒について、障がいの種類や程度等を的確に把握するとともに、その保護者等に適切な情報を提供し、観察活動・教育相談を通じ、一人ひとりに応じた就学指導を行った。</p>	177
4. 特別支援教育推進事業	408	<p>子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を行うために、特別支援教育体制整備をすすめた。専門家（臨床心理士・特別支援学校教諭・発達相談員等）による市内保幼小中への巡回相談や、教職員の研修会、保護者啓発のための講演会等を実施した。</p>	177

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 子どもたちとつくる「やさしいまち伊勢市」支援事業	2,577	<p>自然や環境、伝統文化、福祉やボランティア等に関する体験学習など、創意工夫を生かした学習活動を通して、児童・生徒が、「やさしいまち伊勢市」のまちづくりについて考え、気づき、行動する取組を支援した。また、幼稚園において地域の人とのふれあいを通じた体験を行うことで、地域のよさや愛着を感じることができるように支援した。</p> <p>①「やさしいまち伊勢市発見大賞」の実施 ユニバーサルデザインの部、発見・体験エピソード作文の部、俳句・川柳・短歌の部の3部門に分けて市内の小中学生を対象に、作品を募集した。今年度の応募総数は983点。そのうち、市長賞3点、教育長賞3点、優秀賞各部門小中学校で計6点、入賞各部門小中学校で計11点を決定した。入選作品集を作成し、入賞者の他小中学校36校、各関係機関に配布した。</p> <p>②事業推進校の取組 小学校11校、中学校4校、幼稚園1園が、児童生徒が地域の人との交流（ふれあい）や地域探検を通して、高齢者や障がい者が住みやすいまちづくりについて考え、気づき、行動する取組を展開した。</p> <p>③子ども未来会議 誰でも安心して暮らせる伊勢市のまちづくりについて、小中学校児童生徒代表が意見交流した。</p> <p>④赤ちゃんとふれあい体験等を通したいのちの学習 市内4中学校で、明照浄済会と連携したいのちの学習のプログラムを実施した。その他の中学校においても、学校独自に講師を招聘していのちの学習を進めていった。</p>	177
6. 学びのグレードアップ総合推進事業	8,753	<p>児童生徒の学力を向上させるために、学力検査を全小中学校で実施し、きめ細かな指導に生かした。研究指定校5校で教育課程一般について研究を進めた。教育課程一般の指定校においては、研究の成果を市内の全小中学校に向けて公開し、研究協議を行った。授業改善事例をまとめた報告集を作成し、関係各所に配布し、報告と成果の還元に努めた。</p>	177
7. 未来へチャレンジ！職場体験推進事業	1,503	<p>キャリア教育の一環として、働くことの意義・目的を学び、職業観・勤労観を育てるために、中学2年生を対象として3日間の職場体験学習を実施した。 職場体験学習参加生徒数：1,105名 協力事業所数：のべ366事業所</p>	177
8. いじめ防止対策推進事業	115	<p>伊勢市におけるいじめ防止等に資する対策を総合的かつ効果的に進めるため、平成27年10月に策定された「伊勢市いじめ防止基本方針」の内容について各学校に周知を図り、いじめの防止に努めた。</p> <p>また、伊勢市のいじめ問題対策を充実させていくこと、市内の関係機関団体の連携を図っていくこと、重大事態への対処の体制を充実させていくことを定めた「伊勢市いじめ防止対策推進法施行条例」の内容について各学校に対して周知を図った。</p> <p>伊勢市いじめ問題対策連絡協議会 2回開催（5月、2月） 伊勢市いじめ問題対策委員会 2回開催（7月、2月）</p>	177

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. 奨学金育英事業	4,169	国家社会に貢献する有用な人材を育成するため、学校教育法による大学・高等専門学校・高等学校に在学する学生生徒で、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学金を支給した。 県外大学：9人 県内大学：8人 公立高校：24人 私立高校：8人 公立高専（1～3年）：0人 私立高専（1～3年）：0人 県内高専（4～5年）：2人 計 51人	177
10. 非核・平和運営事業	1,113	8月6日に行われた広島平和記念式典に、各中学校から生徒代表2名（男女各1名）と、引率教員2名、指導主事2名を派遣し、平和学習を深めた。報告会を開催するとともに、広報いせ、ケーブルテレビの活用や、報告文集を作成し、市内各所で移動展示を行うなど、広く市民に平和の尊さを伝えた。	177

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 3. 教育研究所費

(単位 千円)

予算現額 237,470 千円  
決算額 226,259 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	111		34	226,114

教育研究所

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育研究研修推進経費	2,803	教育に関する今日的、将来的な課題について研究を進めるとともに、教職員・保護者・市民対象の研修講座を開催し、市内保幼小中学校の教育力向上を図った。 研究 6件 研修講座 18講座	177
2. 子どもリレーションシップ総合推進事業	46,647	「いじめ」の早期発見・早期対応・未然防止のため「子どもの人間関係づくり」の研究を行った。 全小中学校で、よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート(hyper-QU)を実施し、その結果・分析に基づいた研修会を行い、学級集団づくりを支援した。また、非常勤講師を配置し研究体制の強化を図った。  ・非常勤講師賃金 40,031千円 ・活動消耗品 41千円 ・研修会参加経費 106千円 ・hyper-QU実施委託経費 5,776千円 ・生活指導負担金 693千円	177

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. スクールサポート 事業	23,395	<p>小中学生の教育、不登校及びいじめ等の問題について、学校や保護者等からの相談に対し、教育コンサルタントが電話や面接等により対応するとともに、状況に応じ学校訪問や家庭訪問を行った。さらに、児童生徒・保護者を対象に、臨床心理士によるカウンセリングを実施し、専門的かつ継続した指導及び心のケアを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談件数 48件</li> <li>・カウンセリング 1,129件</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサルタント賃金等 8,960千円</li> <li>・臨床心理士、緊急支援員経費 14,273千円</li> <li>・活動消耗品 162千円</li> </ul>	177
4. 不登校対策ハーモ ニーハート総合推 進事業	9,649	<p>登校しぶり、ひきこもりや、学校に行きたくても行けない児童生徒の社会的に自立した学校復帰を目的に、教育支援センターNESTでは、個に応じた生活や学習の指導及び支援を行った。また、学校にも教育支援センターにも行けない児童生徒への支援を充実させるため、教職経験のある相談員2名を配置し、児童生徒、保護者及び学校の支援体制を充実させた。</p> <p>通級児童生徒数 28名 相談件数(述べて件数) 1,013件 (電話 662件、来所 179件、学校訪問 172件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員、運転手賃金等 6,733千円</li> <li>・自立支援員賃金等 1,999千円</li> <li>・活動支援ボランティア経費 217千円</li> <li>・研修会等経費 102千円</li> <li>・体験活動経費 85千円</li> <li>・活動消耗品 213千円</li> <li>・研究委託経費 300千円</li> </ul>	177
5. 小学校教育用コン ピュータ管理経費	71,095	<p>小学校教育用コンピュータの整備・管理により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、児童の情報活用能力の育成を図った。</p>	179
6. 中学校教育用コン ピュータ管理経費	34,019	<p>中学校教育用コンピュータの整備・管理により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、生徒の情報活用能力の育成を図った。</p>	179

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 4. 人権教育費

(単位 千円)

予算現額 40,206 千円  
 決算額 39,416 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				39,416

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権教育研究委託経費	678	人権教育に関わる事業の充実を図るため、人権教育の研究や研修会の開催などを伊勢市人権・同和教育研究会に事業委託し、市内各小中学校等の加盟団体にて、実践の交流・研修会の開催・人権教育のカリキュラムの研究等が行われ、成果として研究紀要が発行された。	179
2. 人権教育推進一般経費	211	人権教育の先進的な取組を学ぶために、研修会に参加し、最新の情報や資料を得た。 「小中学校人権教育授業実践事例集 (CD-ROM・各学校に1部ずつ配布)」「人権の芽 (1,100部)」を作成・印刷し、各学校へ配布するとともに活用を促すことで、人権学習の推進に努めた。	179
3. 人権教育子ども輝きプラン総合推進事業	1,514	中学校区を単位とした人権教育推進事業を中心に、各学校での取組の充実に向けて、年間を通じた計画的な取組が実施できるよう事業を展開した。 市の委託事業として6中学校区に研究指定を行い、人権教育の公開授業等を通して校区の連携強化を図った。また、全小中学校で取り組んだ人権作文をもとに、子ども人権フォーラムを実施し、学校での人権学習の推進を図った。	179

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 5. 教育集会所費

(単位 千円)

予算現額 12,805 千円  
 決算額 12,283 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				12,283

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育集会所人権教育事業	282	子ども人権スクールを開催し、市内小中学生及び高校生に人権学習の場と機会を提供した。また、小中学校への出前学習や教職員研修を実施し、人権教育の推進に努めた。	179
2. 教育集会所管理経費	12,001	教育集会所を管理運営するために、嘱託職員(4名)を配置するとともに、光熱水費・消耗品費・備品費・法定点検費等を支出し、利用者(市内小中学生等)が安全快適に利用できるように体制を整えた。	179

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 1. 小学校管理費

(単位 千円)

予算現額 492,737 千円  
 決算額 473,820 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
12,210			394	461,216

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校整備事業	28,784	小学校施設の安全・衛生面及び機能維持を図ることができた。  <b>【主な工事】</b> ・下水道接続工事（早修小） 6,167千円 ・屋内運動場床塗装改修工事（厚生小ほか2校） 2,850千円 ・特別支援教室空調設備設置工事（神社小） 1,242千円 ・防球ネット設置工事（佐八小） 3,289千円 ・トイレ改修工事（豊浜東小） 1,565千円 ・プール改修工事（豊浜西小） 7,777千円 ・太陽光発電設備改修工事（御蘭小） 4,774千円	181

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校評議員設置経費	600	学校評議員から学校運営に関する助言や地域の情報を得て、校長は学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。	181

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 2. 小学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 78,049 千円  
 決算額 75,511 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,624	151			73,736

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校教材整備経費	15,222	○一般教材備品 教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 24校(小学校全校) ・整備額 14,561,598円 ○理科教育振興法に基づく理科教材備品 科学技術教育の基盤となる小学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 4校(早修小学校ほか3校) ・整備額 464,022円 ○特別支援教育設備整備 新設または増設された特別支援学級において、障がいに対応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 4校(明倫小学校ほか3校) ・整備額 196,344円	181
2. 学校図書館充実経費	10,112	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 24校(小学校全校) ・整備額 10,112,192円	181
3. <u>要保護及び進要保護児童生徒援助事業</u>	38,281	経済的理由により、就学困難な児童に学用品費、修学旅行費、学校給食費等を給与し、必要な援助を行った。 なお、新入学児童生徒学用品費について、平成29年度新入学予定児童から、入学前の3月に支給することとした。 ・支給人数 591人 (要保護 6人、進要保護 585人) ・平成29年度入学予定者入学前支給人数 80人 (進要保護) <b>【当初予算額】</b> 扶助費 35,030,000円 <b>【過去2ヵ年度の実績】</b> ・平成27年度 支給人数 549人 (要保護 10人、進要保護 539人) ・平成26年度 支給人数 537人 (要保護 6人、進要保護 531人) <b>【事業を取りまく状況等】</b> 一人親家庭や非正規雇用者の増加により、支給人数が増加傾向にある。	181

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 3. 小学校建設費

(単位 千円)

予算現額 331,281 千円  
 決算額 4,112 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		4,000		112

学校統合推進室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 神社小学校・大湊小学校統合校整備事業	4,112	平成33年度開校に向け、統合校の設計等を行った。 ・建築、土木設計業務委託 (平成28・29年度継続費) 4,000千円 ・土地売買契約書用印紙代 112千円	181

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 1. 中学校管理費

(単位 千円)

予算現額 337,614 千円  
 決算額 263,867 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,789				260,078

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校整備事業	33,182	中学校施設の安全・衛生面及び機能維持を図ることができた。 屋上防水改修工事 (御菌中) 33,182千円	183

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校評議員設置経費	252	学校評議員から学校運営に関する助言や地域の情報を得て、校長は学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。	183

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 2. 中学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 135,920 千円  
 決算額 130,636 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,906	75			128,655

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校教材整備経費	15,839	○一般教材備品 教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 12校(中学校全校) ・整備額 13,614,800円 ○理科教育振興法に基づく理科教材備品 科学技術教育の基盤となる中学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 4校(倉田山中学校ほか3校) ・整備額 2,125,440円 ○特別支援教育設備整備 新設または増設された特別支援学級において、障がいに対応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 2校(豊浜中学校ほか1校) ・整備額 98,604円	183
2. 学校図書館充実経費	8,039	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 12校(中学校全校) ・整備額 8,039,167円	183
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	39,415	経済的理由により、就学困難な生徒に学用品費、修学旅行費、学校給食費等を給与し、必要な援助を行った。 なお、新入学児童生徒学用品費について、平成29年度新入学予定生徒から、入学前の3月に支給することとした。 ・支給人数 390人 (要保護 6人、準要保護 384人) ・平成29年度入学予定者入学前支給人数 82人 (準要保護)	183

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. <u>ALT活動事業</u>	51,387	<p>英語を母語とする青年やそれと等しい環境で英語を身につけた青年を招致し、中学校の英語科及び小学校の外国語活動等で、担当教員とともに指導に当たった。</p> <p>JETプログラムによる雇用3名と市直接雇用10名の計13名を1～2の中学校区を中心に派遣した。また、2名増員したことにより小学校だけに配置することも可能となった。</p> <p><b>【当初予算における内容・計画】</b>            当初予算額 53,854,000円            ALT 13名            (JETプログラム3名、市直接雇用10名)</p> <p><b>【過去2か年度の実績】</b>            平成27年度 44,164,508円            平成26年度 43,493,508円            ALT 11名            (JETプログラム3名、市直接雇用 8名)</p> <p><b>【事業を取りまく状況】</b>            伊勢志摩サミットが開催され、外国への興味関心がより高まっている。さらに、平成32年度から完全実施される新学習指導要領においても、小学校での外国語早期化、教科化が示され、学校におけるALTの活躍が期待されている。</p>	185
5. スクールカウンセラー活用事業	214	<p>中学校にスクールカウンセラーを配置し、生徒や保護者の教育相談を実施した。また、教職員に対する臨床心理学的な観点から適切な助言を行い効果をあげた。</p>	185

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 3. 中学校建設費

(単位 千円)

予算現額 3,244,540 千円  
 決算額 3,214,331 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
653,288	5,826	2,382,000	22,767	150,450

学校統合推進室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>豊浜中学校・北浜中学校統合校整備事業</u>	459,057	<p>平成31年度開校に向け、統合校建設予定地の造成工事等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造成工事 151,188千円</li> <li>・調整池設置工事 306,895千円</li> <li>・風塵対策工事 972千円</li> <li>・給水装置設置に係る手数料 2千円</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】                      当初予算額 340,000千円                      ・調整池設置工事費                      繰越予算額 173,900千円                      ・造成工事費</p> <p>【過去2カ年度の実績】                      平成26年度 259,695千円                      ・統合校建設予定地取得費                      ・建築、土木設計業務委託                      (平成26・27年度継続費)                      平成27年度 227,147千円                      ・建築、土木設計業務委託                      (平成26・27年度継続費)                      ・造成工事                      ・建築確認申請等手数料                      ・土地購入費(用悪水路部分)</p> <p>【事業を取りまく状況等】                      ・桜浜中学校として、平成31年4月開校予定。                      ・統合校建設予定地は航空機による騒音が生じる地域であるため、文科省に加え防衛省からも補助を受ける予定。</p>	185

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>宮川中学校・沼本 中学校統合校整備 事業</u>	2,755,274	<p>平成29年度開校に向け、統合校の建築工事を行った。また、統合校建設に伴う仮設校舎賃借、新校舎への引越業務委託、備品購入等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎、屋内運動場建設工事及び監理業務委託 (平成27・28年度継続費) 2,562,762千円</li> <li>・校舎及び屋内運動場付属棟整備等工事 145,897千円</li> <li>・仮設校舎賃借(平成26～29年度) 仮設体育館賃借(平成27～29年度) 30,067千円</li> <li>・伊勢宮川中学校校旗等備品購入費 8,307千円</li> <li>・完了検査申請等手数料 478千円</li> <li>・ネットワーク配線業務委託 3,694千円</li> <li>・引越関連業務委託等 4,069千円</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 2,330,615千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎、屋内運動場建設工事及び監理業務委託 仮設校舎賃借、引越業務委託等</li> </ul> <p>繰越予算額 440,445千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎、屋内運動場建設工事及び監理業務委託</li> </ul> <p>【過去2カ年度の実績】 平成26年度 173,999千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐力度調査業務委託</li> <li>・建築設計業務委託(平成26・27年度継続費)</li> <li>・仮設校舎賃借等</li> </ul> <p>平成27年度 588,707千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築設計業務委託(平成26・27年度継続費)</li> <li>・仮設校舎及び体育館賃借</li> <li>・校舎、屋内運動場建設工事及び監理業務委託 (平成27・28年度継続費)</li> <li>・校舎、屋内運動場解体工事等</li> </ul> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢宮川中学校として、平成29年4月に開校。</li> <li>・平成29年度に仮設校舎及び体育館撤去後に、 グラウンド整備を行う。</li> </ul>	185

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 1. 社会教育総務費

(単位 千円)

予算現額 91,930 千円  
 決算額 90,420 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				90,420

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 社会教育推進事業	385	社会教育委員兼公民館運営審議会兼生涯学習推進協議会 ・委員数 11名 ・会議 社会教育関係事業の実施状況等について、審議を行った。 また、平成28年度に福井県敦賀市で開催された第47回東海北陸社会教育研究大会の参加者による報告を行った。 ・委員研修 第47回東海北陸社会教育研究大会に参加した。 三重県社会教育委員連絡協議会主催の研修会等に参加した。	187

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 3. 文化振興費

(単位 千円)

予算現額 55,923 千円  
 決算額 52,346 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			289	52,057

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 文化芸術体験推進事業	120	子どもたちに豊かな心と感性を育むとともに、次世代への文化の継承を図るため、茶道、合唱、バレエ、演劇などの文化芸術の体験講座を実施した。 体験講座は、伊勢市文化協会の会員（茶道協会、バレエ団体等）が各学校へ出向く出前講座方式で行っている。	187
2. <u>芸術祭開催事業</u>	3,758	市民が文化芸術に親しむとともに、文化芸術活動の成果を発表する場として、市民芸能祭・美術展覧会・赤ちゃんから大人までみんなで楽しめるコンサート・市民交流茶会・短詩型文学祭など様々な文化芸術イベントを開催し、市民文化の向上を図った。 【当初予算における内容、計画】 ・当初予算額 3,792千円 【過去2カ年度の実績】 ・平成28年度新規事業 【事業を取りまく状況等】 ・市民の美術・音楽への関心度は高く、文化施設に行きたくなくなるようなイベントの実施が求められている。 ・文化芸術の鑑賞・体験及び文化活動の成果を披露する機会を提供する。 ・多様な文化芸術活動の継承と発展をめざし、優れた文化芸術を身近な場所で味わい、親しむ機会の拡充を図る。	187

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 文化財保存整備事業補助金	6,068	指定文化財等の適正な保存管理を図るため、補助金を交付した。 【平成28年度対象事業及び市補助金決算額】 ○国有形文化財木造薬師如来坐像収蔵庫修繕事業 ・補助事業者 宗教法人 明星寺 ・補助金 390千円 ○国史跡離宮院址環境整備事業 ・補助事業者 官舎神社氏子総代会 ・補助金 155千円 ○重文 神宮祭主職舎本館（旧慶光院客殿）建造物保存修理事業 ・補助事業者 宗教法人 神宮 ・補助金 5,523千円	187
4. 指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金	1,909	伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、補助金の交付を行った。 【交付先】 ・馬瀬町狂言保存会他24団体	187
5. 文化財案内板設置事業	608	市内の指定文化財や史跡等に対し、文化財案内板を設置することにより、その所在を明らかにし、来訪者への周知を図るためのものである。平成28年度は、「伝結城宗広旧跡」板面と誘導標識の新設、「河崎商人館中橋駐車場」案内標識の建替え、「船蔵跡」板面と支柱の修繕、「旧豊宮崎文庫」案内板への英語ガイド用QRコードステッカー貼付を行った。	189
6. 二見浦保存管理計画運営経費	166	平成18年に指定された国名勝「二見浦」の適切な整備、活用及び運営を行うためのものである。平成28年度は、名勝指定地内における現状変更等の取扱いを調査審議するため、名勝二見浦保存管理計画運営委員会を2回開催した。	189
7. 全市博物館構想推進経費	167	博物館等の文化資産を紹介するためのマップ「伊勢まるごと博物館」を作成し、市内博物館等で配布した。また、小学生の郷土学習に携わる小学校教員を対象に、社会科副読本に登場する偉人や史跡を現地に赴いて学ぶ「わたしたちの伊勢市フィールド講座」を開催した。	189
8. 全国大会等参加激励事業	961	全国規模の文化芸術大会の出場者に対し、激励金を交付した。また、出場をお祝いするため、庁舎に懸垂幕を掲出した。	189

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 4. 青少年対策費

(単位 千円)

予算現額 8,271 千円  
 決算額 7,813 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				7,813

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 青少年健全育成推進事業	1,711	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会の開催 平成28年8月20日(土) 「基調講演：性別って2つだけ?～知らないじゃ済まされないLGBT～」 「活動者事例発表」</li> <li>啓発活動 啓発物品の贈呈</li> <li>関係団体及び中学校区青少年健全育成協議会との連携</li> </ul>	189
2. 飯田市交流会実施事業	903	<p>伊勢市と飯田市の小学生の代表が交流し、両市の親睦を図るとともに、次代を担うリーダーを養成することを目的に、伊勢市・飯田市小学生交流会を実施した。                      日時：平成28年8月4日(木)～5日(金)                      場所：長野県飯田市内(伊勢市の小学生が訪問)                      参加児童：伊勢市小学校代表 36人                      飯田市小学校代表 27人</p>	189
3. 成人式開催事業	1,145	<p>市内の各中学校区から推薦を受けた新成人代表(26名)による「新成人のつどい実行委員会」を設立し、自ら企画・運営を行い、「新成人のつどい」を実施した。                      日時：平成29年1月8日(日)                      場所：伊勢市観光文化会館                      出席者数：1,079人(出席率85.6%)</p>	189
4. 相談センター管理運営事業	3,999	<ul style="list-style-type: none"> <li>非行少年の早期発見と指導 実施回数：531回、活動人数：1,478人 指導人数：245人(前年比△43人)</li> <li>相談活動 面接相談：2件、電話相談4件(前年比△1件)</li> <li>有害環境浄化活動 三重県の立入調査活動：10回</li> </ul>	189

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 5. 図書館費

(単位 千円)

予算現額 166,481 千円  
 決算額 165,097 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				165,097

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 図書整備経費	28,356	閲覧用図書、雑誌、視聴覚資料について、利用者のニーズや分野別のバランスをとりながら購入し、図書館利用の促進を図った。 図書 伊勢図書館 7,708冊 小俣図書館 5,226冊 雑誌 伊勢図書館 1,864冊 小俣図書館 2,081冊 視聴覚資料 伊勢図書館 34点 小俣図書館 39点	191
2. ブックスタート支援事業	1,620	赤ちゃんと保護者に「絵本」と「赤ちゃんと絵本を楽しむ体験」をプレゼントする活動。赤ちゃんと保護者が、絵本を介して、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける。対象赤ちゃんに絵本2冊とアドバイス集が入ったブックスタートパックを図書館、1歳6ヶ月児健診で配布した。 配付数 915人	191

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 6. 生涯学習費

(単位 千円)

予算現額 5,099 千円  
 決算額 4,995 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,256		509	3,230

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生涯学習推進事業	2,632	○生涯学習講座の実施 生涯学習の学習機会と学習場所を提供するため、二見・小俣・御菌の各公民館等で、生涯学習講座を開催した。  ・公民館講座内訳 二見公民館 11講座 (受講者142人) 小俣公民館 18講座 (受講者303人) 御菌公民館 15講座 (受講者230人)  ○伊勢文化サークル協会活動への助成 生涯学習サークルの集合体である、伊勢文化サークル協会の活動(自主事業及び文化祭等)に補助を行った。	191

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 放課後子ども総合 プラン推進事業	2,363	<p>地域社会の中で、放課後等に子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、「放課後子ども教室」及び「地域による土曜日等の教育支援事業」を実施した。事業実施にあたって、伊勢文化サークル協会の協力を得て、子どもたちに様々な体験・活動を提供した。</p> <p>・名称 「放課後子ども教室」 「地域による土曜日等の教育支援事業」 (伊勢市における呼称：いせ子どもチャレンジ教室)</p> <p>・実施講座数 「放課後子ども教室」35講座(受講者669人) 「地域による土曜日等の教育支援事業」10講座(受講者175人)</p>	191

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 7. 生涯学習センター費

(単位 千円)

予算現額 276,471 千円  
決算額 265,782 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	28,660	141,100	745	95,277

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>生涯学習センター</u> <u>空調設備改修事業</u>	177,237	<p>伊勢市生涯学習センターは、竣工から20年あまりを経過し、空調設備の機能不全を生じていたため、空調設備の改修を行った。</p> <p>・空調設備改修工事 177,237千円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 200,000千円 ・空調設備改修工事</p> <p>【過去2カ年度の実績】－</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・全ての空調設備が集中方式から個別方式となり、省エネ効果及び故障時のリスク分散が図られる。</p>	191

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 2. 学校保健費

(単位 千円)

予算現額 90,652 千円  
 決算額 86,780 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			17,873	68,907

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童生徒保健管理事業	77,978	学校保健安全法に基づく健康診断として、児童生徒及び幼児に対し、校医等による内科、歯科検診を実施するとともに、専門医、学校薬剤師による各種検診、検査を実施し、幼児児童生徒の健康管理に努めた。	193
2. 教職員健康管理事業	4,711	県費負担教職員を対象に定期健康診断を実施し、健康の保持増進を図った。	193

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 3. 学校給食費

(単位 千円)

予算現額 506,317 千円  
 決算額 492,164 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				492,164

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校給食管理経費	168,417	「安全でおいしい学校給食」が円滑に提供できるよう、給食調理従事者の健康管理、衛生管理等を実施し、設備の充実、食中毒の防止等に努めた。	195
2. 学校給食施設維持管理経費	3,271	学校給食が円滑に実施できるよう、施設の維持管理に努め、安定した学校給食運営を図った。	195
3. 給食施設整備経費	6,179	老朽化した大型備品の更新を行い、衛生管理を徹底した。	195
4. 中学校給食共同調理場管理経費	176,233	中学校給食共同調理場の運営・管理を行い、市内共同調理場方式実施12中学校の生徒へ、安全・安心でおいしい給食を提供した。	195
5. 食育推進事業	858	児童生徒が生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育む基礎を作ることを目的に、学校・家庭・地域が連携しそれぞれの学校・地域の特色を活かした食育の取組を実施した。	195

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 4. 体育振興費

(単位 千円)

予算現額 86,282 千円  
 決算額 77,503 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,641	74,862

国体推進課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 国民体育大会準備経費	8,234	<p>平成30年高校総体及び平成33年国民体育大会を伊勢市で開催するための準備として、開催先進市町や平成28年開催市町の視察を行った。(岡山市・天童市ほか)</p> <p>また、事業推進に向けた事務体制を整備するため事務所の設置準備を行った。</p> <p>◆決算額</p> <p>嘱託賃金等 2,166千円                      視察旅費等 1,928千円                      事務所準備経費 4,140千円</p>	197

スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. スポーツ推進委員事業	3,019	<p>各地域において、スポーツ行事、スポーツ教室等を開催し、地域におけるスポーツの普及及び振興を図るとともに、地域住民に対し指導助言を行った。また、市主催の行事についても企画立案・運営を行い、生涯スポーツの振興に貢献した。</p> <p>・委員数：61人</p>	195
2. 生涯スポーツ推進事業	5,578	<p>生涯スポーツの普及・振興のため各種の市民スポーツ行事を開催した。</p> <p>・いせスポーツフェスティバル2016                      ちびっこ超人選手権                      開催日：H28.6.26 参加者数：332人</p> <p>・いせスポーツフェスティバル2016                      ニュースポーツ体験会                      開催日：H28.10.10 参加者数：88人</p> <p>・市民ふれあいウォーキング                      開催回数：5回 参加者数：867人</p>	195
3. 総合型地域スポーツクラブ育成事業	7,920	<p>生涯スポーツ社会の実現に向けて、地域のスポーツ施設を拠点として、子どもから高齢者まですべての地域住民が、各自のニーズに沿って気軽にスポーツ活動に参加できる、地域住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成を図るとともに、各クラブにおいては、年間を通じて多くのスポーツ教室や大会等を開催した。</p> <p>・クラブ数：8クラブ 会員数：3,680人</p>	195

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. スポーツ少年団育成事業	2,509	<p>子どもたちのスポーツ活動に関する視野を広げスポーツを楽しむ子どもたちを増やすとともに、規律ある団活動を通じて、子どもたちの心身の健全な育成を図った。</p> <p>団数：40団 団員数：1,128人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第22回ダイワハウス全国少年少女野球教室開催 開催日：H28.5.8 参加者数：185人</li> </ul>	195
5. 全国大会等参加激励事業	6,773	<p>各種スポーツ大会で予選大会等を経て、全国大会に出場する個人や団体に激励金を支給している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給件数 163件</li> <li>・支給額 6,200,000円</li> <li>・主な大会 全国高校総体、国民体育大会等</li> </ul> <p>・リオデジャネイロオリンピックに本市出身の尾西美咲選手が陸上競技女子5000メートルに出場したため、小俣図書館2階ホールにおいて、パブリックビューイングを開催し、市民一体で応援した。 開催日：H28.8.16 参加者数：150人</p>	197
6. 競技スポーツ推進事業	4,883	<p>伊勢市体育協会の各競技団体が主体となって、種目普及やジュニアから大人までの競技力向上のための大会や教室を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニア育成事業：14競技14事業開催</li> <li>・競技スポーツ事業：14競技14事業開催</li> <li>・種目普及事業：9競技9事業開催</li> <li>・指導者育成事業：2競技2事業開催</li> <li>・公認スポーツ指導員資格講習負担金：5競技</li> <li>・審判員資格取得負担金：5競技</li> </ul>	197
7. 集客誘致大会開催事業	5,350	<p>全国的な各種スポーツ大会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第64回神宮奉納社会人野球JABA伊勢松阪大会 開催日：H28.9.30～10.5 参加者数：447人</li> <li>・第32回神宮奉納全日本ソフトテニス大会 開催日：H28.10.22～23 参加者数：270人</li> <li>・2016中日三重お伊勢さんマラソン（観光予算） 開催日：H28.12.3～4 当日参加者数：10,888人</li> <li>・第28回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会 開催日：H29.3.26～28 参加者数：869人</li> </ul>	197
8. 沢村栄治生誕100周年記念事業	4,189	<p>スポーツ課と文化振興課が三重県と連携して、沢村栄治生誕100周年記念事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロ野球オープン戦 ダイムスタジアム伊勢（倉田山公園野球場）で、巨人対日本ハムのオープン戦を開催し8,514人の方々に来場いただいた。 また、市内小中学生等270人を招待し、選手との交流を行った。</li> </ul>	197

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 沢村栄治生誕100周年記念事業	1,000	沢村栄治生誕100周年を記念し、沢村栄治生誕100周年記念展と山田雅人語りの世界「沢村栄治物語」を開催した。記念展は1,425人、山田雅人語りの世界は277人が観覧した。	197

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 5. 体育施設費

(単位 千円)

予算現額 312,956 千円  
決算額 292,386 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		66,400	69,182	156,804

スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 体育施設管理運営経費	190,414	伊勢市のスポーツ振興のため、各種スポーツを楽しむ市民が施設を快適に利用できるように、年間を通じて適正な運営、維持管理を行った。	197
2. 体育施設整備事業	32,061	安全で快適なスポーツ施設の充実を図るため、体育施設の老朽箇所の修繕及び改修を行い、各施設の機能修復、向上を図った。  御菌B&G海洋センタープール改修工事 25,347千円 倉田山公園野球場照明塗装工事 1,240千円 大仏山公園スポーツセンター照明設備修繕工事 2,594千円	197

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. <u>高校総体・国体施設整備事業</u>	69,911	<p>平成30年の高校総体、平成33年の国体開催に向け、大会開催にあつた施設整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢フットボールヴィレッジC・Dピッチクラブハウス新築工事設計業務委託（H29年度へ繰越） 3,429千円</li> <li>・伊勢フットボールヴィレッジCピッチ人工芝張替工事（債務負担行為）【契約額】 131,760千円 【H28年度】 52,700千円 【H29年度】 79,060千円</li> <li>・倉田山公園野球場内野スタンド防球ネット設置工事 17,211千円</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 75,818千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢フットボールヴィレッジCピッチ人工芝張替工事</li> <li>・倉田山公園野球場内野スタンド防球ネット設置工事</li> </ul> <p>【過去2カ年度の実績】 高校総体・国体に向けて平成28年度から事業開始</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢フットボールヴィレッジC・Dピッチクラブハウス新築工事については、既存のクラブハウスは、C・Dピッチから離れているため、C・Dピッチクラブハウスを整備することで、地元利用者も使用することができ、より充実した施設になる。</li> </ul>	197

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 1. 農地・農業用施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 22,047 千円  
 決算額 21,567 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	18,239		3,328	

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 農地・農業用施設災害復旧事業	21,567	平成27年9月8日～9日に発生した台風18号の豪雨により、楠部東排水機場が浸水したため、災害復旧工事を行い機能回復を図った。 ・楠部東排水機場災害復旧工事 一式	197

(款) 12. 災害復旧費 (項) 2. 公共土木施設災害復旧費

(目) 2. 河川災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 15,329 千円  
 決算額 11,949 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,965		3,200	96	688

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 河川災害復旧事業	11,949	平成27年9月9日の台風18号豪雨及び平成28年9月20日の台風16号豪雨災害により被災した箇所の施設の機能回復を図るため、復旧を行った。 (概要) 河川災害復旧 【補助分】 ①平成28年度現年分 1件 L=8.6m 矢田川右岸 ②平成27年度から一部繰越 2件 L=39.9m 古屋川左右岸 大谷川右岸 ③平成27年度から繰越 1件 L=10.6m 五十鈴川右岸	199

(款) 12. 災害復旧費 (項) 3. 文教施設災害復旧費

(目) 1. 公立学校施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 7,944 千円  
 決算額 7,942 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,774				6,168

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公立学校施設災害 復旧事業	7,942	災害により被災した施設の機能回復を図るため、復旧を進めた。 【概要】 ・特別教室棟屋上防水修繕工事 (二見中・平成28年4月29日強風) ・消防設備改修工事 (二見中・平成28年9月13日落雷) ・東側法面改修工事 (五十鈴中・平成28年9月13日大雨)	201

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 1. 元金

(単位 千円)

予算現額 4,980,456 千円  
 決算額 4,980,456 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			37,634	4,942,822

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	4,980,456	過去に借入れた市債の元金の支払いを行った(通常償還)。 ・借入利率 0.1%~4.8% ・借入年度 昭和62年度~平成26年度 ・未償還残高 52,571,530千円	201

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 2. 利子

(単位 千円)

予算現額 440,019 千円  
 決算額 439,911 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			10,483	429,428

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債利子	439,850	過去に借入れた市債の利子の支払いを行った。 ・借入利率 0.1%~4.8% ・借入年度 昭和62年度~平成27年度	201

## 【国民健康保険特別会計】

### (款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 1. 一般被保険者療養給付費

(単位 千円)

予算現額 7,961,800 千円  
 決算額 7,881,643 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				7,881,643

#### 医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養給付費	7,881,643	一般被保険者の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 520,600件 (2) 年度平均被保険者数 29,974人	221

### (款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 2. 退職被保険者等療養給付費

(単位 千円)

予算現額 272,000 千円  
 決算額 257,976 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				257,976

#### 医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等療養給付費	257,976	退職被保険者等の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 16,596件 (2) 年度平均被保険者数 799人	221

### (款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 3. 一般被保険者療養費

(単位 千円)

予算現額 62,700 千円  
 決算額 58,708 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				58,708

#### 医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養費	58,708	一般被保険者の療養費支給額 (1) 支給件数 8,437件	221

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 4. 退職被保険者等療養費

(単位 千円)

予算現額 3,600 千円  
 決算額 1,696 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				1,696

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等療養費	1,696	退職被保険者等の療養費支給額 (1) 支給件数 303件	221

(款) 2. 保険給付費 (項) 2. 高額療養費 (目) 1. 一般被保険者高額療養費

(単位 千円)

予算現額 1,112,000 千円  
 決算額 1,099,571 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				1,099,571

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者高額療養費	1,099,571	一般被保険者の高額療養費支給額 (1) 支給件数 40,564件	223

(款) 2. 保険給付費 (項) 2. 高額療養費

(目) 2. 退職被保険者等高額療養費

(単位 千円)

予算現額 48,000 千円  
 決算額 46,069 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				46,069

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等高額療養費	46,069	退職被保険者等の高額療養費支給額 (1) 支給件数 691件	223

(款) 2. 保険給付費 (項) 4. 出産育児諸費 (目) 1. 出産育児一時金

(単位 千円)

予算現額 40,400 千円  
 決算額 30,592 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				30,592

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 出産育児一時金	30,592	出産育児一時金の支給額 (1) 支給件数 75件	223

(款) 2. 保険給付費 (項) 5. 葬祭諸費 (目) 1. 葬祭費

(単位 千円)

予算現額 10,000 千円  
 決算額 9,400 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				9,400

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 葬祭費	9,400	葬祭費の支給額 (1) 支給件数 188件	223

(款) 8. 保健事業費 (項) 1. 特定健康診査等事業費

(目) 1. 特定健康診査等事業費

(単位 千円)

予算現額 161,112 千円  
 決算額 154,455 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				154,455

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 特定健康診査事業費	141,593	特定健康診査の実施 (1) 受診件数 13,304人	227
2. 特定保健指導事業費	12,862	特定保健指導の実施 (1) 動機付け支援 559人 (2) 積極的支援 38人	227

## 【後期高齢者医療特別会計】

(款) 2. 後期高齢者医療広域連合納付金

(項) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(目) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(単位 千円)

予算現額 2,823,629 千円  
 決算額 2,815,383 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				2,815,383

### 医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 後期高齢者医療広域連合負担金	2,815,383	三重県後期高齢者医療広域連合の市町負担金 ・後期高齢者医療保険料 市が徴収した保険料及び延滞金を広域連合へ納付 1,212,338千円 ・保険基盤安定制度負担金 低所得者にかかる保険料軽減分を負担 320,713千円 ・保健事業負担金 広域連合の行う保健事業経費の市分担金 20,486千円 ・事務費負担金 広域連合事務経費(共通経費)の市分担金 48,777千円 ・療養給付費負担金 伊勢市の被保険者に係る医療給付費の1/12の額 1,213,069千円	頁 239

## 【介護保険特別会計】

(款) 1. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 2. 介護保険推進費

(単位 千円)

予算現額 6,266 千円  
決算額 5,416 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				5,416

### 介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地域包括ケア推進協議会運営事業	621	本市における地域包括ケアシステムの構築を推進するため、伊勢市地域包括ケア推進協議会を開催した。	253
2. 介護保険事業計画策定事業	4,796	「伊勢市第8次老人福祉計画・第7期介護保険事業計画」計画策定業務を委託し、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施した。	253

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 介護サービス等諸費

(目) 1. 介護サービス等給付費

(単位 千円)

予算現額 12,041,236 千円  
決算額 11,798,287 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,881,712	1,708,178		3,320,735	3,887,662

### 介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護サービス等給付事業	10,511,988	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護サービス給付費負担金 支給件数 96,394件 4,935,402千円</li> <li>・地域密着型介護サービス給付費負担金 支給件数 13,707件 1,605,699千円</li> <li>・施設介護サービス給付費負担金 支給件数 14,085件 3,366,581千円</li> <li>・居宅介護福祉用具購入費負担金 支給件数 440件 11,044千円</li> <li>・居宅介護住宅改修費負担金 支給件数 376件 32,259千円</li> <li>・居宅介護サービス計画給付費負担金 支給件数 39,856件 561,003千円</li> </ul>	255

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 介護予防サービス等給付事業	568,987	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防サービス給付費負担金 支給件数 23,077件 458,702千円</li> <li>・地域密着型介護予防サービス給付費負担金 支給件数 215件 11,495千円</li> <li>・介護予防福祉用具購入費負担金 支給件数 182件 3,931千円</li> <li>・介護予防住宅改修費負担金 支給件数 269件 25,505千円</li> <li>・介護予防サービス計画費負担金 支給件数 15,711件 69,354千円</li> </ul>	255
3. 高額介護サービス等給付事業	236,967	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高額介護サービス費負担金 支給件数 23,803件 236,535千円</li> <li>・高額介護予防サービス費負担金 支給件数 399件 432千円</li> </ul>	255
4. 特定入所者介護サービス等給付事業	451,198	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定入所者介護サービス費負担金 支給件数 12,080件 450,962千円</li> <li>・特定入所者介護予防サービス費負担金 支給件数 53件 236千円</li> </ul>	257
5. 高額医療合算介護サービス費等給付事業	29,148	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高額医療合算介護サービス費負担金 支給件数 1,079件 28,995千円</li> <li>・高額医療合算介護予防サービス費負担金 支給件数 26件 153千円</li> </ul>	257

(款) 3. 地域支援事業費 (項) 1. 地域支援事業費 (目) 1. 介護予防事業費

(単位 千円)

予算現額 8,905 千円  
決算額 7,705 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,001	1,001		2,226	2,477

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防普及啓発事業	3,451	65歳以上の高齢者を対象に介護予防講演会、すこやか教室(老人クラブ)等を開催し、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。4,363人の参加があった。	257
2. 介護予防強化事業	1,720	本年度中に70歳を迎える元気な高齢者1,569人に対し介護予防BOOKを配布した。また、運動・認知・口腔・栄養改善等の総合的な介護予防に関する講座や特別講演会を開催し知識の普及に努め、延べ390人の参加があった。健康チェックコーナーは3,769人の利用があった。	257

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 運動器機能向上事業	484	65歳以上の元気な高齢者を対象に運動器機能の向上のため、ストレッチ体操や筋力トレーニング等に関する講座を開催し、515人の参加があった。	257
4. 認知症予防事業	727	65歳以上の元気な高齢者を対象に脳活性化教室を開催し、認知機能の活性化と予防の啓発を行った。540人の参加があった。	257

### 地域包括ケア推進課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防把握事業	681	要介護状態となるおそれのある対象者の早期発見と、介護予防についての啓発を行なうために、心身の状態を確認するための「いきいきチェック」を要介護認定を受けていない75歳の人に郵送し、対象者の把握を行なった。	257

### (款) 3. 地域支援事業費 (項) 1. 地域支援事業費

#### (目) 2. 包括的支援事業・任意事業費

(単位 千円)

予算現額 176,568 千円  
決算額 163,630 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
68,536	34,268			60,826

### 介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護用品支給事業	25,372	介護保険において要介護4・5に認定された高齢者等(施設入所者を除く)に対し、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド、紙パンツ、清拭剤、ドライシャンプーの購入費用の一部をクーポン券により補助した。 支給者数 615人	259
2. 介護相談員派遣事業	3,853	通所サービスや施設サービスを提供している事業所を介護相談員が2人1組で訪問し、利用者から不満や要望などを聞き取り、利用者・事業所・事務局との橋渡しを行った。 介護相談員 9名 延べ活動日数 808日	259
3. 介護給付費等費用適正化事業	3,054	利用者へ給付費通知書を発送することで、適切な介護サービスの利用を促した。 発送回数 4回	259

## 地域包括ケア推進課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地域包括支援センター運営事業	68,043	地域包括支援センターを委託し、保健・医療・福祉の連携の拠点のさらなる充実と、高齢者の生活を総合的に支える地域包括ケア体制の実現にむけ、高齢者の支援体制の強化・充実を図った。	257
2. 在宅介護支援事業	6,300	在宅の高齢者や要介護高齢者の介護者に対し、在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、当該高齢者及びその介護者のニーズに対応した保健福祉サービスが総合的に受けられるよう関係機関との連絡調整を行った。	259
3. 地域包括ケア事業	8,956	高齢者が住み慣れた地域で生活を続けるために、高齢者虐待防止と権利擁護の啓発および在宅支援に関する関係者の連携の強化等に取り組み、地域包括ケアシステムの構築と推進を行った。	259
4. 生活支援体制整備事業	10,191	地域包括ケアシステムの構築のため、地域の支え合い体制の推進を目的に生活支援コーディネーターを配置するとともに、共助・互助の取り組みの推進のため、くらし応援サービス従事者養成研修及び生活支援サポーター養成講座を開催した。	259
5. 認知症施策事業	427	認知症の早期発見、早期治療をすすめ、地域で安心した生活を送り続けることができるよう認知症初期集中支援チームにおいて早期対応を行うとともに、認知症の正しい理解を深め、家族や周囲が適切な対応を行うことができるよう「認知症あんしんガイドブック」(認知症ケアパス)を作成し周知を行った。	259
6. 在宅支援連携推進事業	119	在宅生活を支援する医療・保健・介護・福祉等の専門職の連携の推進を目的に、在宅支援ネットワークの構築を行ない、地域包括ケアシステムの推進を行なった。	259
7. 食の自立支援事業	4,725	65歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、食の確保が困難な世帯に属する方に対し、栄養のバランスがとれた食事を定期的に提供するとともに安否確認を行い、要介護状態への進行の予防等を行い、高齢者の福祉増進を図った。	259
8. 徘徊SOSネットワーク事業	111	認知症などで徘徊のおそれのある方の情報を事前に登録することで、早期発見、早期保護に役立てるために、高齢者の安心、安全な生活の支援を行なった。	259

高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 高齢者住宅等安心 確保事業	9,398	高齢者世話付住宅（市営リバーサイドせせらぎ）に居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応などのサービスを提供することにより、自立して安全かつ快適な在宅生活を営むことができるよう支援した。	259
2. 成年後見制度利用 支援事業	385	成年後見制度の利用が有効と認められるにも関わらず、申し立てを行う者が四親等以内の親族にいない場合、市長の権限による申し立てを行うとともに、必要経費を助成することにより、成年後見制度の利用促進を図った。また、制度の周知及び啓発を図るため、講演会等でパンフレットを配布した。	259

## 【観光交通対策特別会計】

(款) 1. 観光交通対策事業費 (項) 1. 管理費 (目) 1. 管理費

(単位 千円)

予算現額 679,497 千円  
 決算額 623,092 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			564,357	58,735

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 駐車場管理運営経費	342,095	<p>神宮周辺では、交通渋滞が頻繁に発生しており、来訪された方だけでなく、地域住民の生活にも支障をきたしている。このため、内宮周辺駐車場の駐車場収入により交通誘導や情報発信、パーク&amp;バスライドなどの交通対策を行い観光振興や地域住民の生活環境の改善を図った。</p> <p>【駐車場使用料収入】 558,150,700円                      【利用台数】 944,501台</p>	277

## 平成28年度 都市計画税充当状況

都市計画税は、「都市計画法」に基づいて実施する都市計画事業の財源として課税する目的税であり、本市では一般会計の歳出において下表のとおり各事業に充当した。

(単位:千円)

事業名	都市計画税 充当対象 経費決算額	財源内訳				一般財源のうち 都市計画税 充当額
		国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	
街路・道路整備事業	2,549	0	0	0	2,549	1,840
高向小俣線整備事業(交付金)(旧小俣分)	1,452	0	0	0	1,452	
高向小俣線整備事業(交付金)(旧御園分)	1,097	0	0	0	1,097	
公債費(都市計画事業分)	628,695	0	0	0	628,695	453,677
旧伊勢分	405,641	0	0	0	405,641	
旧二見 H18借入以降分 (茶屋25号線、二見浦交通広場)	9,058	0	0	0	9,058	
旧小俣 H18借入以降分 (下卯起宮川駅野依橋線)	69,538	0	0	0	69,538	
旧御園 H18借入以降分 (八日市場高向線ほか1線、秋葉山高向線、高向神田線、高向西公園)	144,458	0	0	0	144,458	
下水道整備事業	1,352,066	0	0	0	1,352,066	975,674
公共下水道事業繰出金(建設改良事業費)	33,857	0	0	0	33,857	
公共下水道事業繰出金(地方債償還金・旧伊勢分)	1,079,340	0	0	0	1,079,340	
" (地方債償還金・旧二見 H18借入以降分)	55,948	0	0	0	55,948	
" (地方債償還金・旧小俣 H18借入以降分)	92,578	0	0	0	92,578	
" (地方債償還金・旧御園 H18借入以降分)	90,343	0	0	0	90,343	
合 計	1,983,310	0	0	0	1,983,310	1,431,191

## 【費目別不納欠損の状況】

※上段( )書は平成27年度実績値

(単位 人、円)

費目	事由	対象人数	不納欠損額	所管課
○一般会計				
市税				
市民税		(389)	(10,242,184)	課税課(収納推進課)
		226	17,935,553	
	消滅時効	169	4,372,152	
	処分執行停止の継続	24	6,145,218	
	無財産等徴収不能	33	7,418,183	
固定資産税		(553)	(44,440,086)	課税課(収納推進課)
		432	73,644,479	
	消滅時効	382	13,880,971	
	処分執行停止の継続	21	24,917,865	
	無財産等徴収不能	29	34,845,643	
軽自動車税		(487)	(2,667,300)	課税課(収納推進課)
		335	2,209,450	
	消滅時効	300	1,629,000	
	処分執行停止の継続	20	323,350	
	無財産等徴収不能	15	257,100	
都市計画税		(553)	(8,497,816)	課税課(収納推進課)
		432	14,290,214	
	消滅時効	382	2,692,633	
	処分執行停止の継続	21	4,833,571	
	無財産等徴収不能	29	6,764,010	
分担金及び負担金				
保育所保育料		(31)	(2,244,610)	こども課
		20	1,542,520	
	消滅時効	20	1,542,520	
	無財産等徴収不能	0	0	
諸収入				
一時保育負担金		(0)	(0)	こども課
	消滅時効	4	107,100	
保育所休日保育保護者負担金		(0)	(0)	こども課
	消滅時効	5	187,500	
保育所主食代負担金		(0)	(0)	こども課
	消滅時効	2	1,000	
児童扶養手当過払い返還金		(0)	(0)	こども課
	消滅時効	1	10,000	
子ども手当過払い返還金		(0)	(0)	こども課
	消滅時効	1	130,000	
生活保護法第63条返還金		(0)	(0)	生活支援課
	消滅時効	9	7,854,248	
生活保護法第78条返還金		(0)	(0)	生活支援課
	消滅時効	2	555,996	
一般会計 計		(2,014)	(68,159,496)	
		1,469	118,468,060	

費 目	事 由	対 象 人 数	不 納 欠 損 額	所 管 課
<b>○国民健康保険特別会計</b>				
国民健康保険料				
国民健康保険料		(629)	(61,415,960)	医療保険課
		486	52,342,456	
	消滅時効	486	52,342,456	
国民健康保険税				
国民健康保険税		(5)	(581,100)	医療保険課
		4	364,800	
	消滅時効	4	364,800	
国民健康保険特別会計 計		(634)	(61,997,060)	
		490	52,707,256	
<b>○後期高齢者医療特別会計</b>				
後期高齢者医療保険料				
後期高齢者医療保険料		(25)	(1,399,989)	医療保険課
		24	921,952	
	消滅時効	24	921,952	
<b>○介護保険特別会計</b>				
保険料				
介護保険料		(298)	(9,513,963)	介護保険課
		188	5,765,708	
	消滅時効	188	5,765,708	

## 平成28年度 地方消費税交付金(社会保障財源化分)充当事業

○地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

(歳入)地方消費税交付金(社会保障財源化分) 8.9 億円

(歳出)社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 191 億円

### 【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】

事業名	経費	財源内訳						
		特定財源				一般財源		
		国支出金	県支出金	市債	その他	地方消費税交付金(社会保障財源化分)	その他	
社会福祉	障害者福祉事業	2,599,779	1,189,154	573,220	0	36,443	135,713	665,249
	高齢者福祉事業	323,248	0	4,711	0	29,163	12,942	276,432
	児童福祉事業	5,836,157	1,913,301	624,354	0	571,589	185,741	2,541,172
	父母子福祉事業	550,959	187,443	0	0	0	0	363,516
	生活保護扶助事業	2,071,754	1,497,535	60,420	0	0	15,607	498,192
	その他社会福祉事業	832,223	522,535	18,591	0	9,072	25,367	256,658
	小計	12,214,120	5,309,968	1,281,296	0	646,267	375,371	4,601,218
社会保険	介護保険特別会計繰出金	1,565,812	11,007	5,504	0	0	47,641	1,501,660
	国民健康保険特別会計繰出金	853,394	124,645	403,875	0	0	28,523	296,351
	小計	2,419,206	135,652	409,379	0	0	76,164	1,798,011
保健衛生	後期高齢者医療特別会計繰出金	1,554,268	0	240,534	0	0	66,912	1,246,822
	医療費支給事業	840,990	0	341,994	0	0	19,897	479,099
	医療提供体制確保事業	102,501	0	0	0	9,273	28,475	64,753
	病院事業繰出金	1,181,902	0	0	0	7,940	229,940	944,022
	疾病予防対策事業	326,123	0	3,840	0	1	66,855	255,427
	健康増進対策事業	313,252	20,166	7,392	0	3,243	15,520	266,931
	母子保健推進事業	160,000	9,702	5,156	0	1,768	7,688	135,686
	小計	4,479,036	29,868	598,916	0	22,225	435,288	3,392,739
合計	19,112,362	5,475,488	2,289,591	0	668,492	886,823	9,791,968	

## 平成 28 年度入湯税の使途状況について

入湯税は、地方税法第 701 条の規定により、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興（観光施設の整備を含む。）に要する費用に充てることを目的とした地方税です。

伊勢市では、平成 28 年度の入湯税全額を観光振興に係る経費に充てています。

(単位：千円)

区分	歳出決算額	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	うち充当額
観光振興	555,916	0	0	0	14,531	541,385	25,467